SONY

BSデジタルハイビジョンチューナー内蔵 ブルーレイディスクレコーダー BDZ-S77

3-076-965-**03**(1)

Blu-ray Disc™

BSデジタルハイビジョンチューナー内蔵
ブルーレイディスクレコーダー

BDZ-S77

取扱説明書（操作編）

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「接続と準備」編、「安全のために」をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

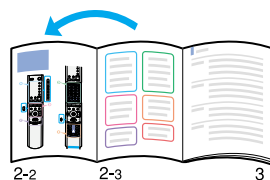
本書の読みかた

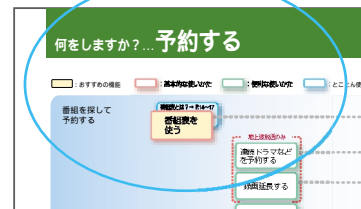
「何をしますか？」（ページガイド）（☞6ページ）の読みかた

本書では目次以外に、**「何をしますか？」（ページガイド）を使って、目的からページを探すことができます。**

「何をしますか？」は、次の6つの項目に分かれています。

それぞれの項目から行いたい操作を選び、「何をしますか？」にしたがって進むと、操作を説明したページを探すことができます。

操作の内容を説明したページをご覧になるときは、「リモコン概要」（☞2-2ページ）のページを開いたままにして、ボタンの位置などを確認しながら本機を操作すると便利です。

1 目的を決める

2 目的から探す

3 見つかりました！

この取扱説明書での放送の表記について

地上波放送

従来のNHKや民放各局のテレビ放送（VHF/UHF）です。地上にある電波塔や中継塔から放送信号が送られるため地上波と呼びます。

BS（またはBSデジタル）放送

2000年12月に本放送を開始したBSデジタル放送です。
例：BS放送、BSチャンネル、BSテレビ、BSラジオ、BSデータなど

BSアナログ放送

従来からのBSアナログチューナー内蔵テレビやビデオで受信できるBSアナログ放送の4チャンネル（NHK衛星第一／第二、NHKハイビジョン、WOWOW）と、独立音声ラジオ放送（St. GIGA）です。
例：BSアナログ放送、BSアナログチューナー内蔵テレビ、BSアナログチューナー内蔵ビデオなど

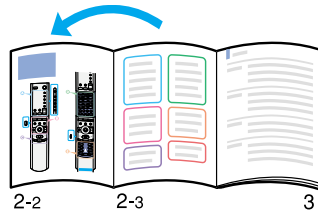
この取扱説明書では次の記号を使っています

記号	意味
BD	Blu-ray Disc（ブルーレイ ディスク）（以下、BD）で使える機能です。
BS	BSで使える機能です。
TV	地上波で使える機能です。
DVD	DVDビデオで使える機能です。
CD	音楽CDで使える機能です。

本書内のイラストについて

本書で使われているイラストや画面は、実際のものと異なる場合があります。

リモコン概要

このページを開いたまま、他のページを見ることができます。

裏面の**開ボタン**を押すと、ロックが解除され、開けるようになります

A 表示・切り換え操作部

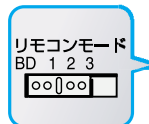
B 画面操作部

C 再生操作部

TV操作部（側面）

F

D 数字ボタン・録画操作部

開ボタン（裏面）を押すと上部のロックが解除されます

E 再生機能部

下部のカバーは手でスライドして開きます

ボタンカバー内部

ご注意

リモコン上部を開くときは、必ず**開ボタン**を押してください。無理に開けようとすると、破損する場合があります。

A 表示・切り換え操作部

(開／閉)： フロント扉を下げてトレイを開ける／トレイを閉めてフロント扉を上げる（☞19、137ページ）

(電源)：本機の電源を入れる

(映像切換)：映像を切り換える（☞90ページ）

(音声切換)：音声を切り換える*（☞84ページ）

(字幕切換)：字幕を切り換える（☞93ページ）

(時間表示)：再生経過時間や残り時間などを表示する（☞54ページ）

(画面表示)：番組のタイトルや音声情報などを表示する（☞54ページ）

(d（連動データ））：データ放送を表示する（☞97ページ）

(Gガイド)：地上波番組表（Gガイド）を表示する（☞17ページ）

(BS)：BS放送チャンネルに切り換える（☞21ページ）

(地上)：地上波放送チャンネルに切り換える（☞21ページ）

(チャンネル＋／－)：チャンネルを変える*（☞27ページ）

B 画面操作部

(システムメニュー)：システムメニュー画面を表示する（☞43ページ）

(タイトルリスト)：タイトルリストを表示する（☞56ページ）

(番組表)：番組表を表示する（☞15ページ）

(カーソルモード)：カーソルモードとページモードを切り換える（☞16ページ）

(番組説明)：番組の詳細情報を表示する（16ページ）

(ツール)：ツールを表示する（☞17ページ）

(戻る)：1つ前の画面に戻る（☞48ページ）

(ジョイスティック／決定)： カーソルを動かして項目を選んだり、操作を決定する（☞15ページ）

(ズーム ＋／－)：番組表や予約リストの表示を拡大／縮小する（☞15ページ）

C 再生操作部

(ワープサーチ)：ディスクの早戻し再生／早送り再生や、スロー再生、コマ送り再生、ワープモード時に再生場面を探す（☞53ページ）

(再生)：再生する*（☞53ページ）

(再生一時停止)：再生を一時停止する（☞53ページ）

(再生停止)：再生を停止する（☞53ページ）

D 数字ボタン・録画操作部

(10キー)：3桁のチャンネル番号を入力するときに使う（☞30ページ）

(クリア)：入力した番号を取り消す（☞134ページ）

(入力切換)：本機の入力端子につないだ他機器に切り換える（☞26ページ）

1～12(数字／ダイレクト選局ボタン)：
BSデジタルのチャンネルを選んだり、数字を入力する*（☞29ページ）

／／／(カラーボタン)：データ放送番組などで使う（☞96ページ）

(録画モード)：録画モードを切り換える（☞18ページ）

(録画)：録画する（☞19ページ）

(録画一時停止)：録画を一時停止する（☞19ページ）

(録画停止)：録画を停止する（☞19ページ）

E 再生機能部

／(頭出し)：再生中にタイトルやチャプター、曲を進める／戻す（☞53ページ）

－／＋(インデックス－／＋)：インデックス番号を選ぶ（☞70ページ）

(書込)：インデックス番号を付ける（☞71ページ）

(消去)：インデックスを消す（☞71ページ）

(トップメニュー)：タイトルメニューを表示する（DVD専用）（☞124ページ）

(メニュー)：DVDのメニューを表示する（DVD専用）（☞124ページ）

(リターン)：1つ前の画面に戻る（DVD専用）（☞124ページ）

F TV操作部

(TV電源)：テレビの電源を入れる

(入力切換)：テレビの入力を切り換える

(音量＋／－)：テレビの音量を変える

(チャンネル＋／－)：テレビのチャンネルを変える*

リモコンモード

(リモコンモード)：リモコンモードを変える

* 凸点（突起）が付いています（数字ボタンは「5」のみ、チャンネルボタンは「＋」のみ）。操作の目印としてお使いください。

目次

番組表で番組を選ぶ

録画する

予約する

録画した番組（タイトル）を見る

次のページにつづく ➔

目次（つづき）

番組を見る

BSデジタルの機能

BDの機能

何をしますか？… 録画する

：おすすめの機能
：基本的な使いかた
：便利な使いかた
：とことん使うには
ここで説明します
今見ている番組を録画する
番組表とは？→ P.14~17
番組表を使う
P.21
BDの残量を確認する
P.100
第2映像/音声/データを録画する
P.32
画質や音質を調整する
P.82
録画ボタンを使う
P.19
クイックタイマーを使う
P.20
ツールを使う
P.27
チャンネルを変えて録画する
番組表とは？→ P.14~17
番組表を使う
P.25
チャンネル＋/－ボタンを使う
P.27
BSデジタル放送のみ
ダイレクトキーを使う
P.29
チャンネル番号を入力する
P.30
録画モードを切り換える
P.18
BSデジタル放送のみ
有料番組を録画する
P.86
視聴年齢制限付き番組を録画する
P.89
ダビングする
ビデオからダビング
P.136
デジタルビデオカメラからダビング
P.137
他のBDからダビング
P.145

何をしますか？… 予約する

：おすすめの機能
：基本的な使いかた
：便利な使いかた
：とことん使うには
ここで説明します
番組を探して予約する
番組表とは？→ P.14~17
番組表を使う
P.36
地上波放送のみ
連続ドラマなどを予約する
P.38
録画延長する
P.40
検索機能を使う
P.76
語句(キーワード)を登録する
P.80
第2映像/音声/データを予約する
P.44
画質や音質を調整する
P.82
地上波放送・ライン入力のみ
日時を指定して予約する
P.42
BSデジタル放送のみ
有料番組を予約する
P.86
視聴年齢制限付き番組を予約する
P.89
予約を確認する
P.48
予約を変更する
P.49
予約を取り消す
P.50
予約が重なったら
P.51
BDの残量を確認する
P.100

何をしますか？… 録画したタイトルを見る

：おすすめの機能　：基本的な使いかた　：便利な使いかた　：とことん使うには

ここで説明します

録画したタイトルを見る

項目			ページ
タイトルリストを表示する			P.55
	キーワードやジャンルで探して再生する		P.65
	マークで探して再生する		P.57
	日付で探して再生する		P.57
	すべてのディスクから探して再生する		P.62
		サムネイルタイトルを使う	P.60
再生ボタンを押す			P.53
	再生を止めたところから見る		P.106
		画質や音質を調整する	P.82

再生しながら場面を探す

項目		ページ
再生の速さを変える		P.67
	ワープモードを使う	P.68
	インデックスサーチを使う	P.70

映像/音声/データを選ぶ
P.85

字幕を切り換える
P.93

視聴年齢制限を解除する
P.89

マルチビューのタイトルを見る
P.90

5.1チャンネルサラウンドで聞く
「接続と準備」編の「音声について」

何をしますか？… DVDを見る/CDを聞く

：おすすめの機能　：基本的な使いかた　：便利な使いかた　：とことん使うには

ここで説明します

ダビングする

ビデオからダビング …… P.136

デジタルビデオカメラからダビング …… P.137

他のBDからダビング …… P.145

いらないタイトルを消去する

編集をする前に→ P.106

1つのタイトルを削除する …… P.108

複数のタイトルを一度に削除する …… P.109

タイトルを編集する

編集をする前に→ P.106

タイトル名を変更する …… P.113

1つのタイトルを分割する …… P.118

2つのタイトルを結合する …… P.111

マークを設定する …… P.114

いらない場面を消去する …… P.116

消去プロテクトを設定/解除する …… P.120

サムネイルを変更する …… P.115

バーチャルタイトルを作成して編集する

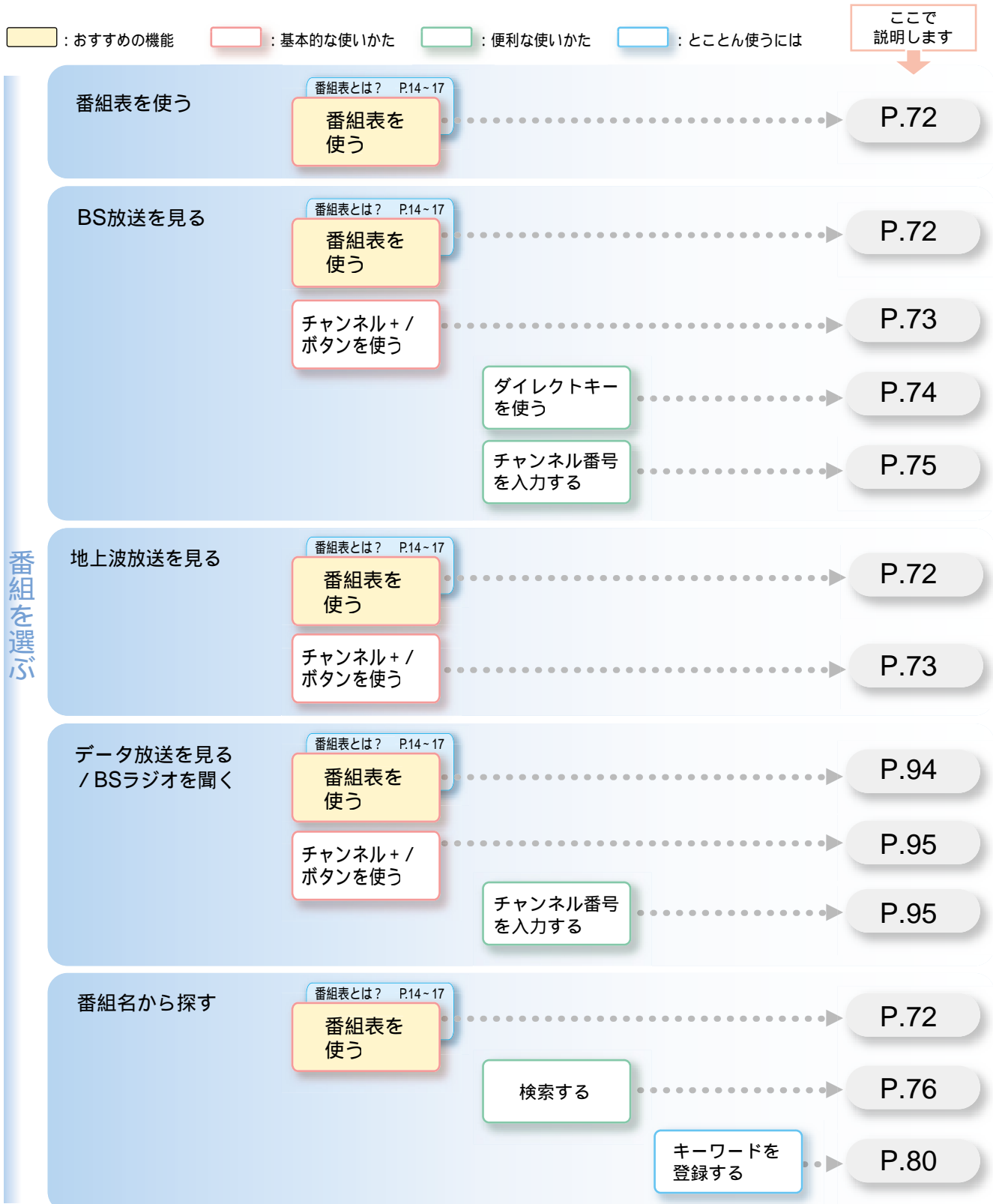
…… P.107

タイトルリストを編集する

編集をする前に→ P.106

タイトルリストの表示順を変更する …… P.109

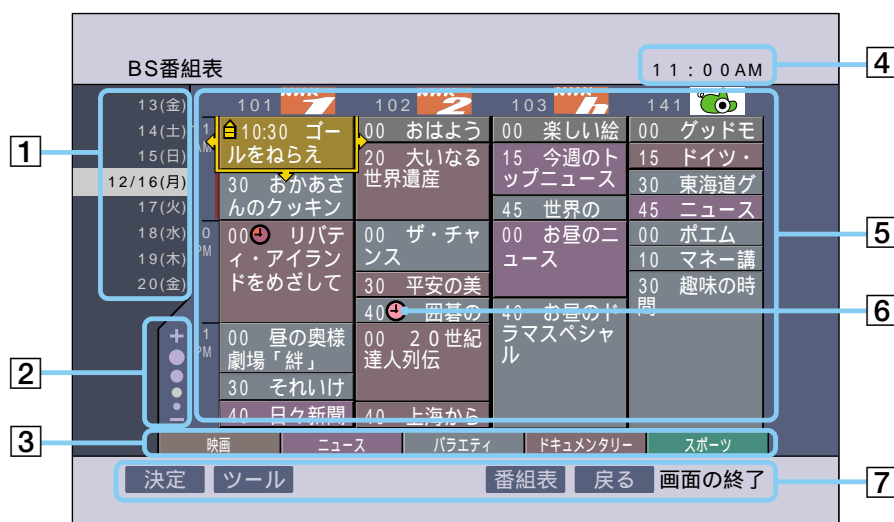
：おすすめの機能
：基本的な使いかた
：便利な使いかた
：とことん使うには
ここで
説明します
インデックスを使う
インデックス番号を付ける・インデックスを消去する
P.71
インデックスサーチで頭出しする
P.70
ブルーレイディスクを管理する
BD内の情報を見る
P.100
BDに名前を付ける
P.101
BDをロックする
P.102
BD内のタイトルをすべて消去する
P.104
BDをフォーマット(初期化)する
P.105

何をしますか？… 番組を見る

：おすすめの機能
：基本的な使いかた
：便利な使いかた
：とことん使うには
ここで
説明します
番組を選ぶ
BSデジタル放送のみ
有料番組放送を見る
P.86
視聴年齢制限付き
番組を見る
P.89
地上波放送録画中
にBS放送を見る
P.73
お知らせを見る
P.98
緊急放送を見る
P.149
他の機器からの映像
を見る
P.135
番組を楽しむ
BSデジタル放送のみ
映像を切り換える
字幕放送を見る
P.92
字幕を
切り換える
P.93
マルチビュー
放送を見る
P.90
5.1チャンネルサラウンド
で音声を楽しむ
「接続と準備」編の
「音声について」
映像/音声/データ
を選ぶ
P.85
連動データを見る
dボタンを使う
P.96
二か国語放送を聞く
P.84
画質や音質を調整する
P.82

番組表とは？

番組表を使って、番組の録画や録画予約をしたり、見たい番組を探したり、番組の情報を見たりすることができます。
BS番組表についてはこのページ、地上波番組表（Gガイド）については17ページをご覧ください。

BSデジタル放送の番組表の画面

BSデジタル放送の番組表を、新聞のテレビ欄のように表示できます。
番組表のデータは、最長8日分（BSラジオ放送は3日分、BSデータ放送は2日分）まで表示されます。

1 **放送日**
現在見ている番組表の日付を表示します。

2 **ズーミング段階表示**
ズーミング段階を表示します。ズーミング段階は4段階あります（☞16ページ）。

3 **ジャンル**
番組のジャンル情報を色分けで表示します。
5種類まで設定できます（☞16ページ）。

4 **現在時刻**
現在の時刻を表示します。

5 **放送局名、放送開始時刻、番組名**
放送予定の番組を表示します。◎を使ってカーソルを移動したり、
▤で拡大／縮小することができます。

6 **マーク**
マークには以下の種類があります。
：録画予約（全録画）している番組です。
：録画予約（部分録画）している番組です。
：録画中の番組です。
MV：マルチビュー放送です。
HD：ハイビジョン放送（HD）です。

7 **操作ガイド**
画面で行う操作に使うボタンを表示します。

ご注意

番組は予告なく変更されることがあります。

BS番組表から番組を選ぶ（カーソルモード）

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

カーソルモードでは、番組単位でカーソルを移動させることができます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 番組表（Ⓑ）を押す。

地上波番組表が表示されたときは、BS（Ⓐ）を押して、BS番組表に切り換えます。

番組表を消すには

番組表を押します。

3 決定（Ⓑ）を▲/▼/◀/▶に動かして、拡大表示したい番組にカーソルを合わせる。

決定を▲/▼に動かすと時間軸方向に、◀/▶に動かすとチャンネル軸方向にカーソルを移動できます。

チャンネル軸

時間軸

4 ズーム＋（＋）（Ⓑ）を押す。

番組表のズーミング3段階目が表示されます。

2チャンネル、2時間分が表示されます。

さらに詳しい情報を見るにはズーム＋（＋）を押し、戻るにはズーム－（－）を押します。

5 決定の真ん中を押す。

サブメニューが表示されます。

番組を見るには

72ページをご覧ください。

録画予約するには

21ページをご覧ください。

ご注意

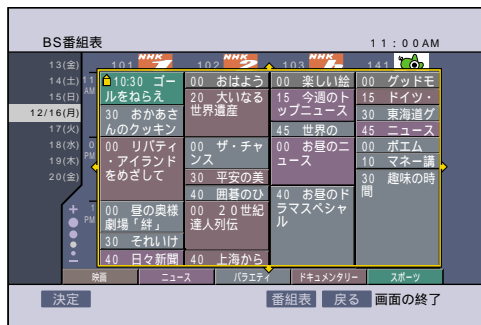
- 休止中のチャンネルは番組表に表示されません。
- 詳しい情報のない番組もあります。
- 放送時間が短い番組は、1段階目から3段階目の間は表示されないものがあります。

番組表とは？（つづき）

BS番組表をページ単位で表示する（ページモード）

カーソルモードからページモードにすると、時間軸方向やチャンネル軸方向にページ単位で移動できます。
ページモードのときは、番組を選んだり、拡大／縮小することはできません。

1 カーソルモード（B）を押します。

ページモードに切り換わります。

2 決定（B）を↑/↓/←/→に動かして、ページを切り換える。

ご注意

- 一度番組表を消したあと、もう一度番組表を表示したときはカーソルモードで表示されます。
- ページモードでは、番組説明（B）を押しても番組の詳細情報は表示されません。

ページモードをやめるには

決定の真ん中またはカーソルモードを押します。

BS番組表を拡大して表示する（ズーミング）

番組表の番組欄は4段階で拡大／縮小します。本書では、拡大／縮小することを「ズーミング」と呼びます。
＋ズーム（＋）（B）を押すたびに拡大され、ズーム－（－）を押すと縮小されます。
各ズーミング段階で表示されるチャンネル数、表示時間枠とカーソルの選択範囲は以下の通りです。

ズーミング	表示チャンネル数	表示時間枠	カーソルの選択範囲
1段階目	8チャンネル	24時間分	4チャンネル／3時間分
2段階目	4チャンネル	3時間分	1番組
3段階目	2チャンネル	2時間分	1番組
4段階目	1チャンネル	1時間分	1番組

ちょっと一言

ズーミング2段階目以降では、番組説明を押すと選択されている番組の詳細情報が表示されます。

BS番組表のジャンルの色を変更する

番組表に表示されるジャンルの色を変更できます。
出荷時には、「音楽」、「映画」、「スポーツ」の3ジャンルに色が設定されています。この3ジャンルの色を変えたり、さらに別の2ジャンルに色を追加で設定することができます。

1 **番組表を表示しているときにツール（B）を押して、ツールを表示する。**

2 **［ジャンル表示設定］を選び、決定の真ん中を押す。**

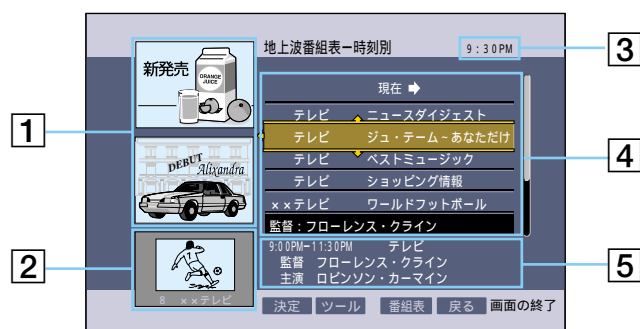
3 **変更したいジャンルまたは［未設定］を選び、決定の真ん中を押す。**

4 **ジャンルを選び、決定の真ん中を押す。**

5 **［確定］を選び、決定の真ん中を押す。**

「ジャンルの色が重なっています」と表示されたら

1つのジャンルが異なる2つ以上の色に設定されています。どちらか一方のジャンルの色を変えるか、「設定しない」を選んでください。

地上波放送の番組表（Gガイド）の画面

1 **パネル広告**
広告が表示されます。パネル広告を選ぶと、説明が表示される広告もあります。

2 **番組画面**
番組表を表示するときに選んでいた放送局の番組の画面です。

3 **現在日時**

4 **番組名とテキスト広告**
放送予定の番組を表示します。放送局の広告が表示される場合もあります。

5 **番組説明**
カーソルで選んでいる番組の説明が表示されます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 番組表（B）を押す。

「地上波番組データ受信中」と表示された場合は、少しお待ちください。

BS番組表が表示されたときは、地上（A）を押して、地上波番組表に切り換えます。

3 決定（B）を↑/↓/←/→に動かして番組にカーソルを合わせる。

番組表の種類を変えるには

ツール（B）を押してツールを表示し、決定を↑/↓に動かして［番組表一覧］を選びます。

地上波番組表の種類

地上波番組表には次の種類があります。

チャンネル別	チャンネル別に約2日分のすべての番組を表示します。一部の番組は約8日分まで表示されます。
時刻別	時刻別に約2日分の番組を表示します。放送時間が30分以下の番組は表示されないことがあります。
ジャンル別	放送局が指定したスポーツ、ドラマなどのジャンル別に約8日分の番組を表示します。ジャンルが設定されていない番組は表示されません。
トピックス	放送局からのお知らせや便利な情報などを表示します。記載される内容は定期的に変更されます。

ちょっと一言

Gガイド（A）を押すと、時刻別番組表を表示することができます。

ご注意

- 地上波番組表データの受信中は、地上波番組表は表示されません。
- 地上波番組表では、カーソルモードは使えません。
- 詳しい情報のない番組もあります。
- 地上波番組表が正しく受信されていても、放送局の都合により番組が変更されることがあります。

G-GUIDEはジェムスター社の登録商標です。
G-GUIDEシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。
ジェムスター社は、Gガイドシステムが供給する放送番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。ジェムスター社は、Gガイドシステムに関する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

地上波番組表（EPG）についてのご注意

- 「接続と準備」が終わってから地上波番組表データの受信が終了するまでに、1日程度かかることがあります。地上波番組表データの受信/更新中は、地上波番組表は空欄になります。
- お住まいの地域や電波状況によっては、地上波番組表データを受信できない場合があります。また、気象条件などにより、地上波番組表データを受信/更新できないこともあります。これらの場合、地上波番組表は空欄になります。
- 本機の日付と時刻が正しく設定されていないと、地上波番組表データを受信/更新できません。
- 放送局側の都合により、番組の内容や放送時間が変更になることがあります。本機での予約は、放送局側の都合による変更には対応できません。
- 引越しした場合は、受信する放送局が同じであっても、最適な地上波番組表データの受信のために必ず「接続と準備」をやり直してください。

録画モードを選ぶ

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

映像を録画するときにモードを選んで、録画可能時間、画質などを設定できます。放送によって設定できるモードが異なります。

録画モード（Ⓓ）を押して録画モードを選ぶ。

録画モードを押すたびに、録画モードが次のように変わります。

BS放送

DR→HR→SR→LR→DR→...

地上波放送またはライン入力

HR→SR→LR→HR→...

録画可能時間（23GBディスク使用時）

放送	モード[1]			
	DR	HR	SR	LR
地上波放送	×	約3時間	約6時間	約12時間
BS:HD[2]放送	約2時間	約3時間	約6時間	約12時間[3]
BS:SD[2]放送	約4時間	約3時間	約6時間	約12時間
BS:マルチビュー[2]放送	約2時間	約3時間	約6時間	約12時間[4]

1) DR=ダイレクトモード（BSデジタル放送のすべての信号を記録する）
HR=高画質モード
SR=標準モード
LR=長時間モード

2) HD=High Definition
SD=Standard Definition
マルチビュー=マラソン中継で、トップ集団、二番手集団、三番手集団を同時に表示するなど、複数の映像を一画面に表示する。

3) SD（525i）に変換して録画されるため、画質はSD放送相当になります。

4) 選択した一画面のみが録画されます。

ちょっと一言

- 工場出荷時の録画モードの設定は次のとおりです。
  BS放送：DRモード
  地上波放送またはライン入力：HRモード
- 録画モードは、ツールの［録画設定］で変えることもできます。

ご注意

- 表中の録画可能時間はあくまでも目安です。実際の録画可能時間は放送によって異なります。録画する前に「ディスク情報」画面でBDの残量をご確認ください（☞100ページ）。
- BS放送の場合、録画モードをHR、SR、LRのいずれかに設定した場合、番組連動データは録画されません。また、音声は2つ、字幕は1つまでしか録画できません。
- 録画中に録画モードを変えることはできません。
- HD放送をHR、SR、LRのいずれかで録画した場合、録画した画質はHDと同等にはなりません。
- BSのSD放送をHRモードで録画した場合は、DRで録画した場合よりは短くなります。

録画ボタンで録画する

大切な録画の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

本機を使用中、万一不具合により録画・録音されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

操作に使用するボタンの位置について

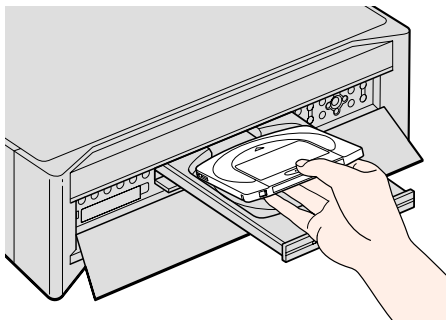
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。

5 ＋/－（Ⓐ）で録画したい番組のチャンネルに合わせる。

6 録画（Ⓓ）を押す。

設定されている録画モードで録画が始まります。録画モードを変えたいときは、録画を始める前に録画モードを押して選びます。詳しくは、「録画モードを選ぶ」（☞18ページ）をご覧ください。

録画を停止するときは、録画停止（Ⓓ）を押します。

（再生停止）（Ⓒ）を押しても録画を止めることはできません。

ちょっと一言

ツールで［ディスク情報］を選ぶと、ディスク残量などの情報を見ることができます（☞100ページ）。

ご注意

- 録画を押しても、録画するまでにしばらく時間がかかります。
- 録画中、録画一時停止中は録画モードを変えることはできません。
- 連続で12時間以上録画することはできません。
- 録画は、録画停止を押して録画を停止するまで行われます。
- 次の場合、録画は停止します。
  – 録画中に番組の一部が有料になったとき
  – BDに空き時間（ディスク残量）がなくなったとき
- 録画予約をしていても、録画中は予約録画は始まりません。
- BS放送のラジオ放送やデータ放送を録音・録画することはできません。
- BS放送の録画中に、本機で他のチャンネルを見ることはできません。地上波放送の録画中にBS放送を見ることはできます（☞73ページ）。

録画を一時停止するには

録画一時停止（Ⓓ）を押します。

一時停止を解除して、再び録画を続けるには、録画一時停止または録画（Ⓓ）を押します。（再生一時停止）（Ⓒ）を押しても、録画の一時停止や停止解除はできません。

次のページにつづく

録画ボタンで録画する（つづき）

クイックタイマーを使うには

録画を押して録画を開始したあと、録画を終了するまでの時間を30分単位で設定できます。

録画を押すたびに、以下のように終了時間を変更できます。

0：30（30分後）→1：00（1時間後）→1：30（1時間30分後）→2：00（2時間後）→（以降、30分単位で増加）→6：00（6時間後）→元のカウンター表示（クイックタイマーオフ）→0：30（30分後）→...

ご注意

- クイックタイマーを使って録画しているときは、予約録画は始まりません。
- ディスク残量が6時間未満のときは、クイックタイマーの設定時間も6時間未満になります。

「追加購入」と表示されたら（BS放送のみ）

番組には有料信号が含まれている場合があります（☞149ページ）。

「ディスクの残量が足りません」と表示されたら

録画するためのBDのディスク残量が足りません。新しいBDを挿入するか、BD内の不要なタイトルを削除してください（☞108ページ）。

「ディスクロック」と表示されたら

ディスクを読み込むことができません（☞102ページ）。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら

誤消去防止つまみが開いています（☞165ページ）。

「年齢制限」画面が表示されたら（BS放送のみ）

暗証番号を入力する必要があります（☞89ページ）。

画質を調整するには

「画質や音質を調整する」（☞82ページ）をご覧ください。

著作権について

- 録画するとき
  著作権保護のための信号が入っている放送やソフトを録画すると、テレビ画面に警告が表示され、録画が停止します。
  著作権保護のための信号が記録されている放送を予約録画すると、録画動作は行われません。
  BSデジタル放送や別売りのデジタルCSチューナーで番組をご視聴の場合、番組に録画防止機能（コピーガード）がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。
- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

番組表から録画する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

番組表を使って、本機で今見ている番組を録画します。番組が終了すると、自動的に録画が終了します。

1 **リモコンの［開/閉 ⏏］（Ⓐ）を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

2 **BDをトレイにのせる。**

3 **もう一度［開/閉 ⏏］を押して、トレイを閉じる。**

4 **［番組表］（Ⓑ）を押して番組表を表示し、今見ている番組にカーソルを合わせる。**

BSデジタル放送の番組表を見たいときは［BS］（Ⓐ）を、地上波放送の番組表を見たいときは［地上］（Ⓐ）を押します。

番組表について詳しくは、「番組表とは？」（☞14～17ページ）をご覧ください。

例：BSデジタル放送の番組表

5 **［決定］（Ⓑ）の真ん中を押す。**

サブメニューが表示されます。

6 **［決定］を↑/↓に動かして［録画予約］を選び、［決定］の真ん中を押して決定する。**

「録画予約設定」画面が表示されます。

録画の設定を変更する場合は、［修正］を選びます（☞次ページ）。
［いいえ］を選ぶと、録画設定が取り消され、番組表に戻ります。

番組表から録画する（つづき）

7 を←/→に動かして［はい］を選び、の真ん中を押して決定する。

「録画予約手続が完了しました」と表示され、録画が始まります。
番組が終わったら、自動的に停止します。

ちょっと一言

- 番組の途中で録画を停止するときは、録画停止（D）を押します。
- ツールを使うと、番組表を表示しなくても、今見ている番組を録画できます（☞27ページ）。

ご注意

- 連続で12時間以上録画することはできません。
- 次の場合、録画は停止します。
  – 録画中に番組の一部が有料となったとき
  – BDに空き時間（ディスク残量）がなくなったとき
- BS放送のラジオ放送やデータ放送を録音・録画することはできません。
- 「録画予約」での録画は一時停止できません。
- BS放送の録画中に、本機で他のチャンネルを見ることはできません。地上波放送の録画中にBS放送を見ることはできます（☞73ページ）。

録画の設定を変えるには

1 「録画予約設定」画面を表示させ、を←/→に動かして［修正］を選び、の真ん中を押して決定する。

2 必要に応じて設定を変更する。

各設定の変更のしかたについてはそれぞれのページをご覧ください。
- 「モード」→「録画モードを選んで録画する」の手順9と10（☞24ページ）
- 「マーク」→「タイトルにマークを付ける」（☞114ページ）
- 「詳細設定」→「「DR」モード以外で第2映像や第2音声を録画する」の手順3と4（☞34ページ）
- 「毎回録画」→「地上波放送の連続番組を予約する（毎回録画）」（☞38ページ）
- 「延長」→「地上波放送の番組延長に対応して予約する」（☞40ページ）

3 変更したら、を←/→に動かして［確定］を選び、の真ん中を押して決定する。

「追加購入」と表示されたら（BS放送のみ）

番組には有料信号が含まれている場合があります（☞149ページ）。

「重複確認」と表示されたら

録画が他の予約と重なっています（☞149ページ）。

「ディスクの残量が足りません」と表示されたら

録画するためのBDのディスク残量が足りません。新しいBDを挿入するか、BD内の不要なタイトルを削除してください（☞108ページ）。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら

誤消去防止つまみが開いています（☞165ページ）。

「年齢制限」画面が表示されたら（BS放送のみ）

暗証番号を入力する必要があります（☞89ページ）。

画質を調整するには

「画質や音質を調整する」（☞82ページ）をご覧ください。

録画モードを選んで録画する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」(☞2-2ページ)に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの 開/閉 (Ⓐ) を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度 開/閉 を押して、トレイを閉じる。**

5 **番組表 (Ⓑ) を押して番組表を表示し、録画したい番組にカーソルを合わせる。**

BSデジタル放送の番組表を見たいときは BS (Ⓐ)を、地上波放送の番組表を見たいときは 地上 (Ⓐ)を押します。
番組表について詳しくは、「番組表とは?」(☞14〜17ページ)をご覧ください。

例:BSデジタル放送の番組表

6 **決定 (Ⓑ) の真ん中を押す。**

サブメニューが表示されます。

7 **決定 を↑/↓に動かして[録画予約]を選び、決定 の真ん中を押して決定する。**

「録画予約設定」画面が表示されます。

「暗証入力」と表示されたら(BS放送のみ)

選んだ番組は視聴年齢制限付きの番組で、暗証番号を入力する必要があります(「視聴年齢制限を解除する」(☞89ページ))。視聴年齢制限を解除しない場合は、録画できません。

「購入手続・番組購入」と表示されたら(BS放送のみ)

選んだ番組は有料です。録画するには番組を購入する必要があります(「有料番組を視聴/録画/予約する」(☞86ページ))。
購入しない場合は、録画できません。

次のページにつづく

番組表から録画する（つづき）

8 **◎を←/→に動かして［修正］を選び、◎の真ん中を押して決定する。**

「録画予約修正」画面が表示されます。

9 **◎を←/→に動かして［モード］を選ぶ。**

10 **◎を↑/↓に動かして録画モードを選ぶ。**

11 **◎を↑/↓/←/→に動かして［確定］を選び、◎の真ん中を押して決定する。**

「録画予約手続が完了しました」と表示され、録画が始まります。
番組が終わったら、自動的に停止します。

ちょっと一言

番組の途中で録画を停止するときは、録画停止■（D）を押します。

ご注意

- 連続で12時間以上録画することはできません。
- 次の場合、録画は停止します。
  - 録画中に番組の一部が有料となったとき
  - BDに空き時間（ディスク残量）がなくなったとき
- BS放送のラジオ放送やデータ放送を録音・録画することはできません。
- 「録画予約」での録画は一時停止できません。
- BS放送の録画中に、本機で他のチャンネルを見ることはできません。地上波放送の録画中にBS放送を見ることはできます（☞73ページ）。

「追加購入」と表示されたら（BS放送のみ）

番組には有料信号が含まれている場合があります（☞149ページ）。

「重複確認」と表示されたら

録画が他の予約と重なっています（☞149ページ）。

「ディスクの残量が足りません」と表示されたら

録画するためのBDのディスク残量が足りません。新しいBDを挿入するか、BD内の不要なタイトルを削除してください（☞108ページ）。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら

誤消去防止つまみが開いています（☞165ページ）。

「年齢制限」画面が表示されたら（BS放送のみ）

暗証番号を入力する必要があります（☞89ページ）。

画質を調整するには

「画質や音質を調整する」（☞82ページ）をご覧ください。

違うチャンネルの番組を番組表から録画する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

ここでは、番組表を使ってチャンネルを選んで録画する方法を説明します。
番組表を使わないでチャンネルを選んで録画する方法については、「チャンネル+/−ボタンで選ぶとき」（☞27ページ）、「BSチャンネルをBSダイレクトキーで選ぶとき」（☞29ページ）、「BSチャンネルを3桁のチャンネル番号で選ぶとき」（☞30ページ）をご覧ください。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。**

5 **番組表（Ⓑ）を押して番組表を表示し、録画したい番組にカーソルを合わせる。**

BSデジタル放送の番組表を見たいときはBS（Ⓐ）を、地上波放送の番組表を見たいときは地上（Ⓐ）を押します。
番組表について詳しくは、「番組表とは？」（☞14〜17ページ）をご覧ください。

例：BSデジタル放送の番組表

6 **決定（Ⓑ）の真ん中を押す。**

サブメニューが表示されます。

7 **決定を↑/↓に動かして［録画予約］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「録画予約設定」画面が表示されます。

「暗証入力」と表示されたら（BS放送のみ）

選んだ番組は視聴年齢制限付きの番組で、暗証番号を入力する必要があります（「視聴年齢制限を解除する」（☞89ページ））。視聴年齢制限を解除しない場合は、録画できません。

「購入手続・番組購入」と表示されたら（BS放送のみ）

選んだ番組は有料です。録画するには番組を購入する必要があります（「有料番組を視聴／録画／予約する」（☞86ページ））。
購入しない場合は、録画できません。

次のページにつづく

8 決定を←/→に動かして［はい］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「録画予約手続が完了しました」と表示され、録画が始まります。
番組が終わったら、自動的に停止します。
録画の設定を変更する場合は、［修正］を選びます（☞22ページ）。
［いいえ］を選ぶと、録画設定が取り消され、放送画面に戻ります。

ちょっと一言

- 番組の途中で録画を停止するときは、録画停止（D）を押します。
- 他機器からの映像を録画するときは、入力切換（D）を繰り返し押して他機器を接続した入力に切り換えてください。
詳しくは、「他の機器からの映像を録画／ダビングする」（☞136ページ）をご覧ください。

ご注意

- 連続で12時間以上録画することはできません。
- 次の場合、録画は停止します。
  – 録画中に番組の一部が有料となったとき
  – BDに空き時間（ディスク残量）がなくなったとき
- BS放送のラジオ放送やデータ放送を録音・録画することはできません。
- 「録画予約」での録画は一時停止できません。
- BS放送の録画中に、本機で他のチャンネルを見ることはできません。地上波放送の録画中にBS放送を見ることはできます（☞73ページ）。

「追加購入」と表示されたら（BS放送のみ）

番組には有料信号が含まれている場合があります（☞149ページ）。

「重複確認」と表示されたら

録画が他の予約と重なっています（☞149ページ）。

「ディスクの残量が足りません」と表示されたら

録画するためのBDのディスク残量が足りません。新しいBDを挿入するか、BD内の不要なタイトルを削除してください（☞108ページ）。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら

誤消去防止つまみが開いています（☞165ページ）。

「年齢制限」画面が表示されたら（BS放送のみ）

暗証番号を入力する必要があります（☞89ページ）。

画質を調整するには

「画質や音質を調整する」（☞82ページ）をご覧ください。

ツールを使って録画する

チャンネル+/−ボタンで選ぶとき

操作に使用するボタンの位置について

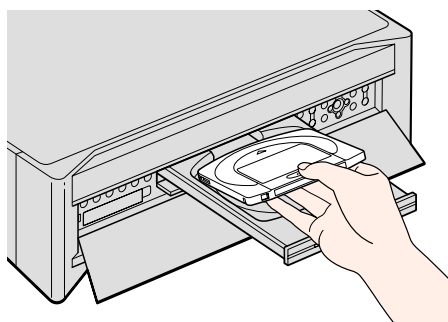
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」(☞2-2ページ)に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開/閉(Ⓐ)を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度開/閉を押して、トレイを閉じる。

5 +/−(Ⓐ)を押して、録画したい番組のチャンネルに合わせる。

地上波放送を見るときは

地上(Ⓐ)を押してから+/−を押します。

BS放送を見るときは

BS(Ⓐ)を押してから+/−を押します。

BSラジオ放送とBSデータ放送は録画できません。

ご注意

「セットアップ」画面で映らないように設定されているチャンネルは表示されません。詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「不要なチャンネルをとばす」または「不要なBSチャンネルをとばす」をご覧ください。

6 ツール(Ⓑ)を押す。

ツールが表示されます。

7 決定(Ⓑ)を▲/▼に動かして[番組録画]を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「録画予約設定」画面が表示されます。

「暗証入力」と表示されたら(BS放送のみ)

選んだ番組は視聴年齢制限付きの番組で、暗証番号を入力する必要があります(「視聴年齢制限を解除する」(☞89ページ))。視聴年齢制限を解除しない場合は、録画できません。

「購入手続・番組購入」と表示されたら(BS放送のみ)

選んだ番組は有料です。録画するには番組を購入する必要があります(「有料番組を視聴/録画/予約する」(☞86ページ))。

購入しない場合は、録画できません。

次のページにつづく

8 ◎を←/→に動かして［はい］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

「録画予約手続が完了しました」と表示され、録画が始まります。
番組が終わったら、自動的に停止します。
録画の設定を変更する場合は、［修正］を選びます（☞22ページ）。
［いいえ］を選ぶと、録画設定が取り消され、放送画面に戻ります。

ちょっと一言

- 番組の途中で録画を停止するときは、録画停止(D)を押します。
- 他機器からの映像を録画するときは、入力切換(D)を繰り返し押して他機器を接続した入力に切り換えてください。
詳しくは、「他の機器からの映像を録画／ダビングする」（☞136ページ）をご覧ください。

ご注意

- 連続で12時間以上録画することはできません。
- 次の場合、録画は停止します。
  – 録画中に番組の一部が有料となったとき
  – BDに空き時間（ディスク残量）がなくなったとき
- BS放送のラジオ放送やデータ放送を録音・録画することはできません。
- 「録画予約」での録画は一時停止できません。
- BS放送の録画中に、本機で他のチャンネルを見ることはできません。地上波放送の録画中にBS放送を見ることはできます（☞73ページ）。

「追加購入」と表示されたら（BS放送のみ）

番組には有料信号が含まれている場合があります（☞149ページ）。

「重複確認」と表示されたら

録画が他の予約と重なっています（☞149ページ）。

「ディスクの残量が足りません」と表示されたら

録画するためのBDのディスク残量が足りません。新しいBDを挿入するか、BD内の不要なタイトルを削除してください（☞108ページ）。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら

誤消去防止つまみが開いています（☞165ページ）。

「年齢制限」画面が表示されたら（BS放送のみ）

暗証番号を入力する必要があります（☞89ページ）。

画質を調整するには

「画質や音質を調整する」（☞82ページ）をご覧ください。

BSチャンネルをBSダイレクトキーで選ぶとき

操作に使用するボタンの位置について

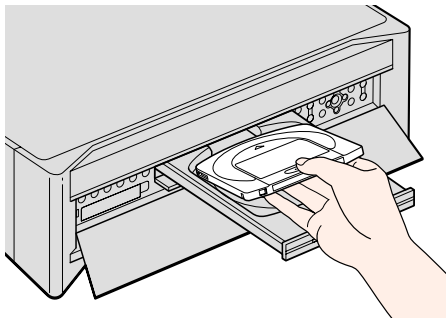
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。**

5 **1～12（Ⓓ）を押して、録画したい番組を表示する。**

ちょっと一言

各ボタンに登録されているチャンネルを変更するには、別冊の「接続と準備」編の「リモコンに好みのBSチャンネルを登録する（ダイレクト選局設定）」をご覧ください。

6 **ツール（Ⓑ）を押す。**

ツールが表示されます。

7 **決定（Ⓑ）を↑/↓に動かして［番組録画］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「録画予約設定」画面が表示されます。

「暗証入力」と表示されたら

選んだ番組は視聴年齢制限付きの番組で、暗証番号を入力する必要があります（「視聴年齢制限を解除する」（☞89ページ））。視聴年齢制限を解除しない場合は、録画できません。

「購入手続・番組購入」と表示されたら

選んだ番組は有料です。録画するには番組を購入する必要があります（「有料番組を視聴／録画／予約する」（☞86ページ））。
購入しない場合は、録画できません。

8 **決定を←/→に動かして［はい］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「録画予約手続が完了しました」と表示され、録画が始まります。
番組が終わったら、自動的に停止します。
録画の設定を変更する場合は、［修正］を選びます（☞22ページ）。
［いいえ］を選ぶと、録画設定が取り消され、放送画面に戻ります。

次のページにつづく

ツールを使って録画する（つづき）

ちょっと一言

- 番組の途中で録画を停止するときは、録画停止（D）を押します。
- 他機器からの映像を録画するときは、入力切換（D）を繰り返し押して他機器を接続した入力に切り換えてください。詳しくは、「他の機器からの映像を録画／ダビングする」（☞136ページ）をご覧ください。

ご注意

- 連続で12時間以上録画することはできません。
- 次の場合、録画は停止します。
  – 録画中に番組の一部が有料となったとき
  – BDに空き時間（ディスク残量）がなくなったとき
- BS放送のラジオ放送やデータ放送を録音・録画することはできません。
- 「録画予約」での録画は一時停止できません。
- BS放送の録画中に、本機で他のチャンネルを見ることはできません。地上波放送の録画中にBS放送を見ることはできます（☞73ページ）。

「追加購入」と表示されたら

番組には有料信号が含まれている場合があります（☞149ページ）。

「重複確認」と表示されたら

録画が他の予約と重なっています（☞149ページ）。

「ディスクの残量が足りません」と表示されたら

録画するためのBDのディスク残量が足りません。新しいBDを挿入するか、BD内の不要なタイトルを削除してください（☞108ページ）。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら

誤消去防止つまみが開いています（☞165ページ）。

「年齢制限」画面が表示されたら

暗証番号を入力する必要があります（☞89ページ）。

BSチャンネルを3桁のチャンネル番号で選ぶとき

操作に使用するボタンの位置について

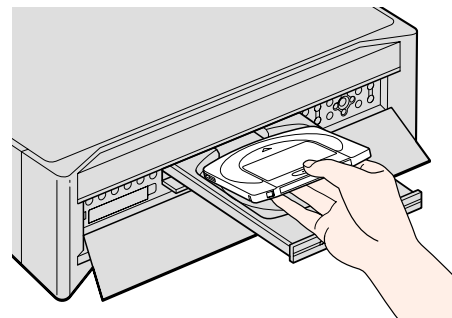
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているA B C D Eのブロックを参照します。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開／閉（A）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。

5 10キー（D）と 1 ～ 10（D）を押して、録画したい番組のチャンネル番号を入力する。

10キーを押すと、画面右上に「BS---」と表示されます。「BS---」が消える前に 1 ～ 10 を押して、100の位から順に入力します。

例）202チャンネルを見るとき

10キー → 2 → 10 → 2

の順に押す。

「BS---」が消えた場合は、もう一度 10キー を押してください。

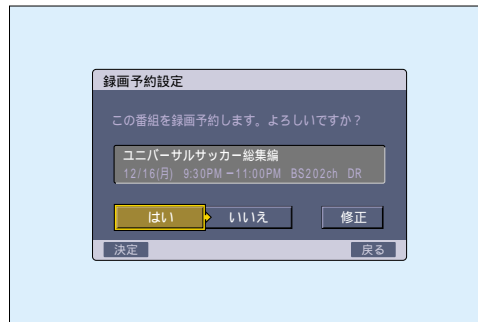
3桁入力したあとに 12（確定）を押すと、チャンネルが変わります。

ご注意

1 ～ 10 で入力したチャンネル番号がない場合、チャンネルは変わりません。

6 ツール（B）を押す。

ツールが表示されます。

7 決定（B）を↑/↓に動かして［番組録画］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「録画予約設定」画面が表示されます。

「暗証入力」と表示されたら

選んだ番組は視聴年齢制限付きの番組で、暗証番号を入力する必要があります（「視聴年齢制限を解除する」（☞89ページ））。視聴年齢制限を解除しない場合は、録画できません。

「購入手続・番組購入」と表示されたら

選んだ番組は有料です。録画するには番組を購入する必要があります（「有料番組を視聴／録画／予約する」（☞86ページ））。

購入しない場合は、録画できません。

8 決定を←/→に動かして［はい］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「録画予約手続が完了しました」と表示され、録画が始まります。

番組が終わったら、自動的に停止します。

録画の設定を変更する場合は、［修正］を選びます（☞22ページ）。

［いいえ］を選ぶと、録画設定が取り消され、放送画面に戻ります。

ちょっと一言

- 番組の途中で録画を停止するときは、録画停止（D）を押します。
- 他機器からの映像を録画するときは、入力切換（D）を繰り返し押して他機器を接続した入力に切り換えてください。詳しくは、「他の機器からの映像を録画／ダビングする」（☞136ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

ツールを使って録画する（つづき）

ご注意

- 連続で12時間以上録画することはできません。
- 次の場合、録画は停止します。
  – 録画中に番組の一部が有料となったとき
  – BDに空き時間（ディスク残量）がなくなったとき
- BS放送のラジオ放送やデータ放送を録音・録画することはできません。
- 「録画予約」での録画では一時停止できません。
- BS放送の録画中に、本機で他のチャンネルを見ることはできません。地上波放送の録画中にBS放送を見ることはできます（☞73ページ）。

「追加購入」と表示されたら

番組には有料信号が含まれている場合があります（☞149ページ）。

「重複確認」と表示されたら

録画が他の予約と重なっています（☞149ページ）。

「ディスクの残量が足りません」と表示されたら

録画するためのBDのディスク残量が足りません。新しいBDを挿入するか、BD内の不要なタイトルを削除してください（☞108ページ）。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら

誤消去防止つまみが開いています（☞165ページ）。

「年齢制限」画面が表示されたら

暗証番号を入力する必要があります（☞89ページ）。

BS放送の第2映像や第2音声、第2データなどを録画する

BD

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

録画モードが「DR」のときは、録画したい番組の映像や音声、データはすべて録画されます。個別に選択することはできません。録画モードが「HR」、「SR」、「LR」のときには映像を1つ、音声を2つまで選べます。第2データを録画することはできません。
マルチビュー放送（☞90ページ）の場合は、ビューごとに音声やデータを設定できます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの 開／閉 ⏏（Ⓐ）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度 開／閉 を押して、トレイを閉じる。

5 番組表（B）を押して番組表を表示し、今見ている番組にカーソルを合わせる。

地上波番組表が表示されたときは、BS（A）を押して、BS番組表に切り換えます。
番組表について詳しくは、「番組表とは？」（☞14〜17ページ）をご覧ください。

6 決定（B）の真ん中を押す。

サブメニューが表示されます。

7 決定を↑/↓に動かして［録画予約］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「録画予約設定」画面が表示されます。

「暗証入力」と表示されたら

選んだ番組は視聴年齢制限付きの番組で、暗証番号を入力する必要があります（「視聴年齢制限を解除する」（☞89ページ））。視聴年齢制限を解除しない場合は、録画できません。

「購入手続・番組購入」と表示されたら

選んだ番組は有料です。録画するには番組を購入する必要があります（「有料番組を視聴／録画／予約する」（☞86ページ））。
購入しない場合は、録画できません。

8 決定を←/→に動かして［はい］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

録画モードを「DR」に設定している場合、録画が始まります。
「DR」以外の場合は、「「DR」モード以外で第2映像や第2音声を録画する」（☞次ページ）をご覧ください。

BS放送の第2映像や第2音声、第2データなどを録画する（つづき）

「DR」モード以外で第2映像や第2音声を録画する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

録画モードが「HR」、「SR」、「LR」の場合、映像を1つ、音声を2つまで選ぶことができます。

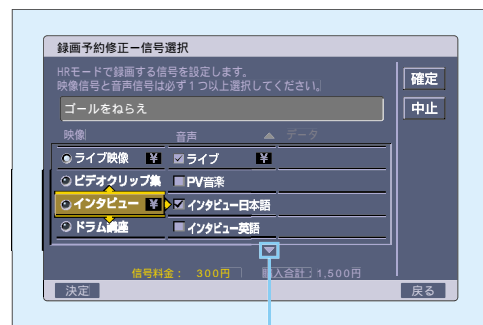
1 「BS放送の第2映像や第2音声、第2データなどを録画する」（☞前ページ）の手順1〜7を行う。

「録画予約設定」画面が表示されます。

2 ◎を←/→に動かして［修正］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

「録画予約修正」画面が表示されます。

3 ◎を↑/↓/←/→に動かして［詳細設定］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

「予約録画修正ー信号選択」画面が表示されます。

項目がすべて表示されない場合は、▼が表示されます。

現在設定されている項目には◉/☑が付いています。
項目がすべて表示できない場合は、▼が表示されます。◎を↓に動かして表示します。

ちょっと一言

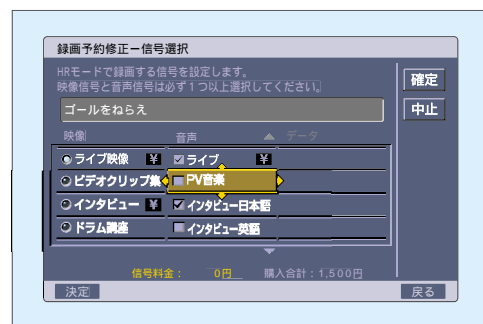
マルチビュー放送（☞90ページ）のときは、◎を↑/↓/←/→に動かして設定を変えたいビュー（「主」、「副1」、「副2」のいずれか）を選び、◎の真ん中を押します。

4 ◎を↑/↓/←/→に動かして録画したい映像や音声、データの設定を選び、◎の真ん中を押して決定する。

有料信号には¥マークが付いています。
カーソルで有料信号を選んでいる場合、画面下部にある「信号料金」に金額が表示されます。◎の真ん中を押して◯が◉に変わると、この金額は、購入合計金額に加算されます。

カーソルで有料信号を取り消しても、購入合計金額が変わらないときは

複数の信号をパックにしている場合、パックに含まれる有料信号を取り消しても、購入合計金額は変わりません。このような場合、すべての信号を取り消してから、再度録画したい信号を選び直してください。購入概算金額を見るには「購入概算額を見る」(☞88ページ)をご覧ください。

「録画モードをDRに変更する必要があります」と表示されたら

録画モードが「HR」、「SR」、「LR」のときには映像を1つ、音声を2つまでしか選べません。複数の映像およびデータを選択する場合は、録画モードを「DR」に変更してから、「録画モードを選ぶ」(☞18ページ)の設定をやり直すか、設定を変更してください。

5 [決定]を↑/↓/←/→に動かして[確定]を選び、[決定]の真ん中を押して決定する。

「録画予約修正」画面に戻ります。
[中止]を選ぶと、録画設定が取り消され、番組表に戻ります。

6 [決定]を←/→に動かして[確定]を選び、[決定]の真ん中を押して決定する。

録画が始まります。

ご注意

- 連続で12時間以上録画することはできません。
- 次の場合、録画は停止します。
  – 録画中に番組の一部が有料となったとき
  – BDに空き時間(ディスク残量)がなくなったとき
- BS放送のラジオ放送やデータ放送を録音・録画することはできません。
- 「録画予約」での録画は一時停止できません。
- BS放送の録画中に、本機で他のチャンネルを見ることはできません。地上波放送の録画中にBS放送を見ることはできます(☞73ページ)。

「追加購入」と表示されたら

番組には有料信号が含まれている場合があります(☞149ページ)。

「重複確認」と表示されたら

録画が他の予約と重なっています(☞149ページ)。

「ディスクの残量が足りません」と表示されたら

録画するためのBDのディスク残量が足りません。新しいBDを挿入するか、BD内の不要なタイトルを削除してください(☞108ページ)。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら

誤消去防止つまみが開いています(☞165ページ)。

「年齢制限」画面が表示されたら

暗証番号を入力する必要があります(☞89ページ)。

番組表から予約する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

番組表で簡単に予約ができます。
番組表で予約すると、選んだ番組の日時と放送局が自動的に設定されます。また、予約設定中に録画モードも選べます。
本機では、他の予約方法と合わせて、30番組まで予約できます。
番組表や日時指定で予約したときは、あとから設定した予約が優先されますが、予約の優先順位はあとで変更できます（☞51ページ）。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの［開／閉］（Ⓐ）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度［開／閉］を押して、トレイを閉じる。

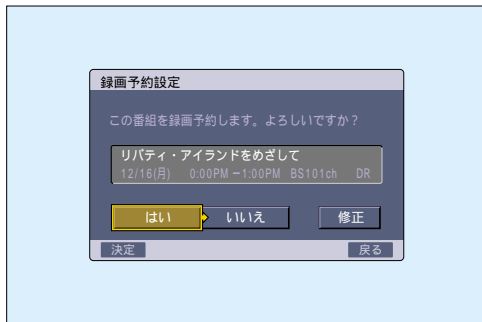
5 ［番組表］（Ⓑ）を押して番組表を表示し、予約したい番組にカーソルを合わせる。

BSデジタル放送の番組表を見たいときは［BS］（Ⓐ）を、地上波放送の番組表を見たいときは［地上］（Ⓐ）を押します。
番組表について詳しくは、「番組表とは？」（☞14〜17ページ）をご覧ください。

例：BSデジタル放送の番組表

6 ［決定］（Ⓑ）の真ん中を押す。

サブメニューが表示されます。

7 ◎を↑/↓に動かして［録画予約］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

「録画予約設定」画面が表示されます。

「暗証入力」と表示されたら（BS放送のみ）

選んだ番組は視聴年齢制限付きの番組で、暗証番号を入力する必要があります（「視聴年齢制限を解除する」（☞89ページ））。視聴年齢制限を解除しない場合は、録画できません。

「購入手続・番組購入」と表示されたら（BS放送のみ）

選んだ番組は有料です。録画するには番組を購入する必要があります（「有料番組を視聴／録画／予約する」（☞86ページ））。

購入しない場合は、録画できません。

8 ◎を←/→に動かして［はい］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

「録画予約手続きが完了しました」と表示され、予約が完了します。

録画の設定を変更する場合は、［修正］を選びます。詳しくは「録画の設定を変えるには」をご覧ください（このページ）。

［いいえ］を選ぶと、録画設定が取り消され、番組表に戻ります。

9 本機の電源を切る。

ちょっと一言

- 番組の途中で録画を停止するときは、録画停止■（Ⓓ）を押します。
- 番組表を表示中に、サブメニューで録画停止することもできます。

ご注意

- 連続で12時間以上録画することはできません。
- 次の場合、録画は停止します。
  – 録画中に番組の一部が有料となったとき
  – BDに空き時間（ディスク残量）がなくなったとき
- BS放送のラジオ放送やデータ放送を録音・録画することはできません。
- 「録画予約」での録画は一時停止できません。
- BS放送の録画中に、本機で他のチャンネルを見ることはできません。地上波放送の録画中にBS放送を見ることはできます（☞73ページ）。

録画の設定を変えるには

1 「録画予約設定」画面を表示させ、◎を←/→に動かして［修正］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

2 必要に応じて設定を変更する。

各設定の変更のしかたについてはそれぞれのページをご覧ください。

- 「モード」→「録画モードを選んで録画する」の手順9と10（☞24ページ）
- 「マーク」→「タイトルにマークを付ける」（☞114ページ）
- 「詳細設定」→「「DR」モード以外で第2映像や第2音声を予約する」の手順3と4（☞46ページ）
- 「毎回録画」→「地上波放送の連続番組を予約する（毎回録画）」（☞38ページ）
- 「延長」→「地上波放送の番組延長に対応して予約する」（☞40ページ）

3 変更したら、◎を←/→に動かして［はい］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

予約する

番組表から予約する（つづき）

「追加購入」と表示されたら（BS放送のみ）
番組には有料信号が含まれている場合があります（☞149ページ）。

「重複確認」と表示されたら
録画が他の予約と重なっています（☞149ページ）。

「ディスクの残量が足りません」と表示されたら
録画するためのBDのディスク残量が足りません。新しいBDを挿入するか、BD内の不要なタイトルを削除してください（☞108ページ）。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら
誤消去防止つまみが開いています（☞165ページ）。

「年齢制限」画面が表示されたら（BS放送のみ）
暗証番号を入力する必要があります（☞89ページ）。

画質を調整するには
「画質や音質を調整する」（☞82ページ）をご覧ください。

再生中に「まもなく予約録画の開始時刻です」と表示されたら
約5分後に録画が始まります。再生を止め、録画用のBDを挿入してください。開始時刻を過ぎてから再生を止めた場合、録画されない場合があります。

地上波放送の連続番組を予約する（毎回録画）

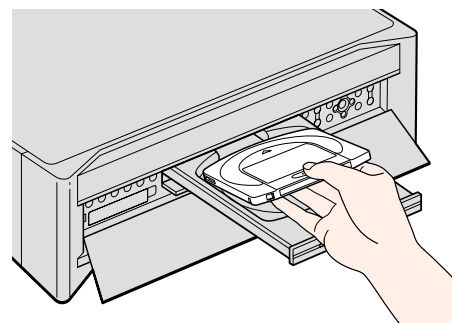
BD

操作に使用するボタンの位置について
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

連続ドラマなど毎週や毎日放送される番組の時間を指定して予約できます。
本機では、他の予約方法と合わせて30番組まで予約できます。

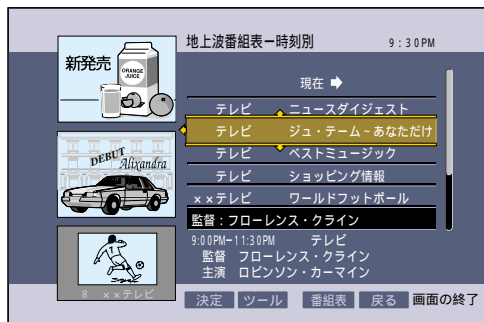
1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。
本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開/閉（Ⓐ）を押す。
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度開/閉を押して、トレイを閉じる。

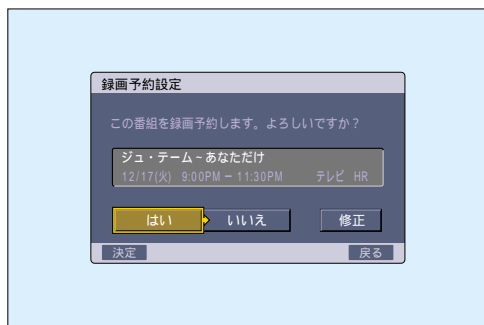
5 番組表（Ⓑ）を押して番組表を表示し、予約したい番組にカーソルを合わせる。

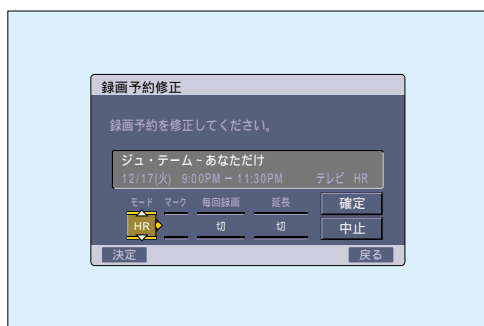
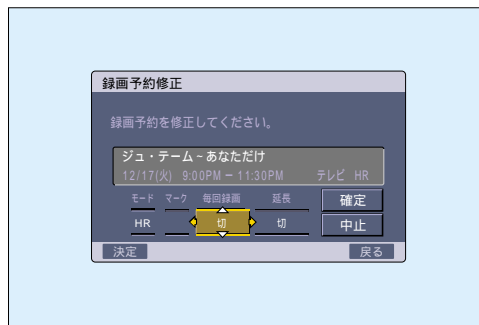
BS番組表が表示されたときは、地上（Ⓐ）を押して、地上波番組表に切り換えます。

番組表について詳しくは、「番組表とは？」（☞14〜17ページ）をご覧ください。

6 決定（Ⓑ）の真ん中を押す。

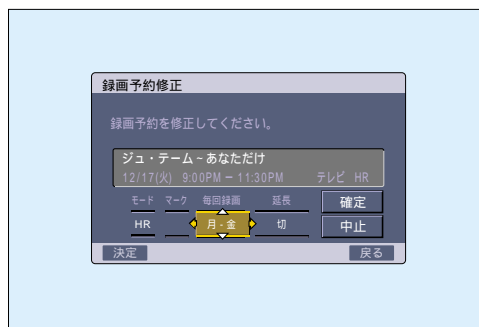
サブメニューが表示されます。

7 決定を↑/↓に動かして［録画予約］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「録画予約設定」画面が表示されます。

8 決定を←/→に動かして［修正］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「録画予約修正」画面が表示されます。

9 決定を←/→に動かして「毎回録画」を選ぶ。

10 決定を↑/↓に動かして、曜日を選ぶ。

曜日が次のように変わります。

切→ 毎（火）→ 月ー金→ 月ー土→ 毎日 → 切...

11 決定を↑/↓/←/→に動かして［確定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「録画予約手続きが完了しました」と表示され、予約が完了します。

12 本機の電源を切る。

予約する

地上波放送の連続番組を予約する（毎回録画）（つづき）

「重複確認」と表示されたら

録画が他の予約と重なっています（☞149ページ）。

「ディスクの残量が足りません」と表示されたら

録画するためのBDのディスク残量が足りません。新しいBDを挿入するか、BD内の不要なタイトルを削除してください（☞108ページ）。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら

誤消去防止つまみが開いています（☞165ページ）。

画質を調整するには

「画質や音質を調整する」（☞82ページ）をご覧ください。

再生中に「まもなく予約録画の開始時刻です」と表示されたら

約5分後に録画が始まります。再生を止め、録画用のBDを挿入してください。開始時刻を過ぎてから再生を止めた場合、録画されない場合があります。

地上波放送の番組延長に対応して予約する

BD

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

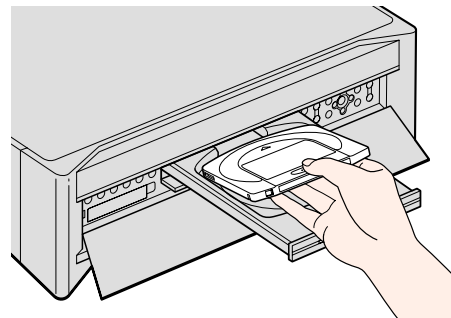
スポーツ中継の延長などで、予約した番組が繰り下がって放送されそうなとき、あらかじめ録画終了時間を延長できます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

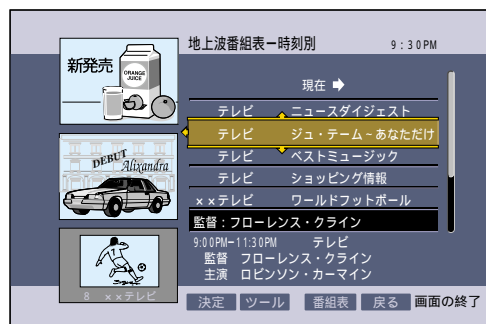
本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

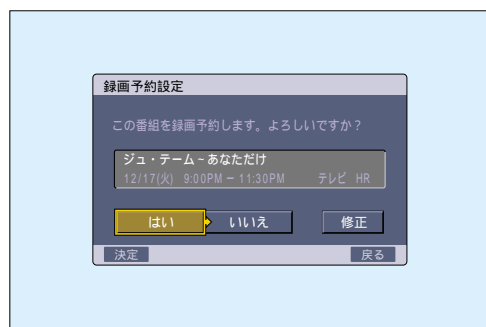
3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。

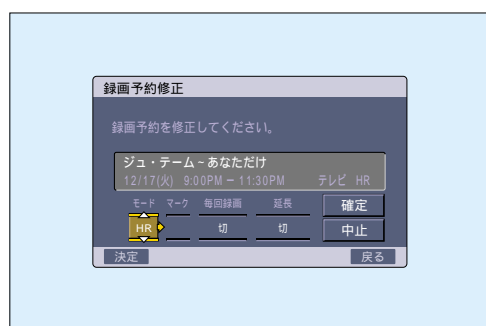
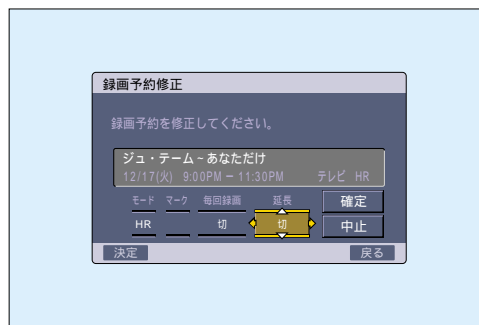
5 番組表（B）を押して番組表を表示し、予約したい番組にカーソルを合わせる。

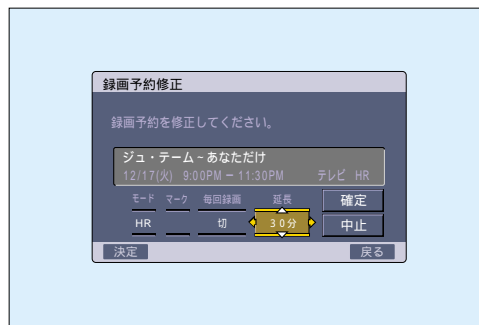
BS番組表が表示されたときは、地上（A）を押して、地上波番組表に切り換えます。
番組表について詳しくは、「番組表とは？」（☞14〜17ページ）をご覧ください。

6 決定（B）の真ん中を押す。

サブメニューが表示されます。

7 決定を↑/↓に動かして［録画予約］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「録画予約設定」画面が表示されます。

8 決定を←/→に動かして［修正］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「録画予約修正」画面が表示されます。

9 決定を←/→に動かして「延長」を選ぶ。

10 決定を↑/↓に動かして、延長時間を選ぶ。

延長時間が次のように変わります。
切→ 10分→ 20分→ 30分→ 40分→ 50分→ 60分→ 切→...

11 決定を↑/↓/←/→に動かして［確定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「録画予約手続きが完了しました」と表示され、予約が完了します。

12 本機の電源を切る。

ちょっと一言

地上波番組表から予約した番組は、録画中でも地上波番組表から録画延長ができます。録画延長する場合は、地上波番組表で録画している番組を選び、決定の真ん中を押してサブメニューを表示し、「録画延長」を選びます。

予約する

地上波放送の番組延長に対応して予約する（つづき）

「重複確認」と表示されたら

録画が他の予約と重なっています（☞149ページ）。

「ディスクの残量が足りません」と表示されたら

録画するためのBDのディスク残量が足りません。新しいBDを挿入するか、BD内の不要なタイトルを削除してください（☞108ページ）。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら

誤消去防止つまみが開いています（☞165ページ）。

画質を調整するには

「画質や音質を調整する」（☞82ページ）をご覧ください。

再生中に「まもなく予約録画の開始時刻です」と表示されたら

約5分後に録画が始まります。再生を止め、録画用のBDを挿入してください。開始時刻を過ぎてから再生を止めた場合、録画されない場合があります。

地上波放送またはライン入力を日時指定して予約する

BD

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1か月先まで日時を指定して、地上波放送またはライン入力で接続したCSチューナーなど他機器からの映像を録画予約することができます。

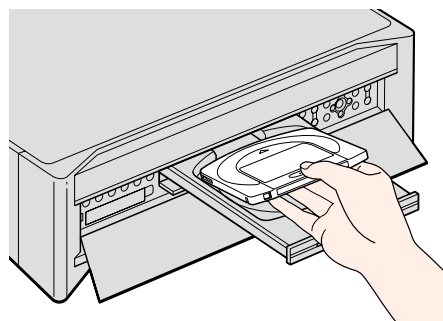
本機では、他の予約方法と合わせて30番組まで予約できます。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの［開／閉 ⏏］（Ⓐ）を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 もう一度 開／閉 ⏏ を押して、トレイを閉じる。

5 システムメニュー（B）を押す。

システムメニュー画面が表示されます。

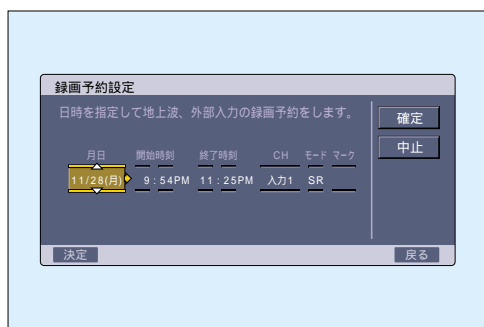
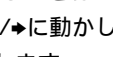
6 決定（B）を↑/↓に動かして［予約リスト］を選び、決定の真ん中を押す。

「予約リスト」画面が表示されます。

7 ツール（B）を押す。

ツールが表示されます。

8 決定を↑/↓に動かして［録画予約（日時指定）］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「録画予約設定」画面が表示されます。

9 決定を↑/↓に動かして項目を設定する。

1 決定を←/→に動かして「月日」を選び、「月日」を設定し、→に動かす。

毎日または毎週同じ番組を予約するときは、決定を↓に動かして選びます。

今日（10/23）→ 毎日→ 月ー土→ 月ー金→ 毎（土）→ ...→ 毎（日）→ 1か月先の日（11/22）→ ...→ 今日（10/23）

間違えたときは

決定を←に動かして、設定しなおします。

途中でやめるときは

決定を↑/↓/←/→に動かして［中止］を選び、決定の真ん中を押します。

2 決定を↑/↓に動かして「開始時刻」を設定し、決定を→に動かす。

3 決定を↑/↓に動かして「終了時刻」を設定し、決定を→に動かす。

4 決定を↑/↓に動かして「CH（チャンネル）」を設定し、決定を→に動かす。

地上波放送のチャンネル番号とライン入力から選びます。

ライン入力から選ぶには

「入力1」または「入力2」を選びます。

5 決定を↑/↓に動かして「モード」を設定し、決定を→に動かす。

ご注意

地上波放送やライン入力の録画の場合、DRモードは選べません（「録画モードを選ぶ」（☞18ページ））。

6 決定を↑/↓に動かして「マーク」を設定する。

「マーク」について詳しくは、114ページをご覧ください。

地上波放送またはライン入力を日時指定して予約する（つづき）

10 **を↑/↓/←/→に動かして［確定］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「録画予約手続きが完了しました」と表示され、「予約リスト」画面に戻ります。

11 **本機の電源を切る。**

ご注意

本機では、Gコードを使って予約することはできません。

「重複確認」と表示されたら

録画が他の予約と重なっています（☞149ページ）。

「ディスクの残量が足りません」と表示されたら

録画するためのBDのディスク残量が足りません。新しいBDを挿入するか、BD内の不要なタイトルを削除してください（☞108ページ）。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら

誤消去防止つまみが開いています（☞165ページ）。

画質を調整するには

「画質や音質を調整する」（☞82ページ）をご覧ください。

再生中に「まもなく予約録画の開始時刻です」と表示されたら

約5分後に録画が始まります。再生を止め、録画用のBDを挿入してください。開始時刻を過ぎてから再生を止めた場合、録画されない場合があります。

BS放送の第2映像や第2音声、第2データなどを予約する

BD

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

録画モードが「DR」のときは、録画したい番組の映像や音声、データはすべて録画されます。個別に選択することはできません。録画モードが「HR」、「SR」、「LR」のときには映像を1つ、音声を2つまで選べます。第2データを録画することはできません。
マルチビュー放送（☞90ページ）の場合は、ビューごとに音声やデータを設定できます。
本機では、他の予約方法と合わせて30番組まで予約できます。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開/閉（Ⓐ）を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 もう一度 開／閉 を押して、トレイを閉じる。

5 番組表 (B) を押して番組表を表示し、予約したい番組にカーソルを合わせる。

地上波番組表が表示されたときは、BS (A) を押して、BS番組表に切り換えます。

番組表について詳しくは、「番組表とは？」（☞14～17ページ）をご覧ください。

6 決定 (B) の真ん中を押す。

サブメニューが表示されます。

7 決定 を↑/↓に動かして［録画予約］を選び、決定 の真ん中を押して決定する。

「録画予約設定」画面が表示されます。

「暗証入力」と表示されたら

選んだ番組は視聴年齢制限付きの番組で、暗証番号を入力する必要があります（「視聴年齢制限を解除する」（☞89ページ））。視聴年齢制限を解除しない場合は、録画できません。

「購入手続・番組購入」と表示されたら

選んだ番組は有料です。録画するには番組を購入する必要があります（「有料番組を視聴／録画／予約する」（☞86ページ））。

購入しない場合は、録画できません。

8 決定 を←/→に動かして［はい］を選び、決定 の真ん中を押して決定する。

録画モードを「DR」に設定している場合、録画が始まります。

「DR」以外の場合は、「「DR」モード以外で第2映像や第2音声を予約する」（☞次ページ）をご覧ください。

9 本機の電源を切る。

BS放送の第2映像や第2音声、第2データなどを予約する（つづき）

「DR」モード以外で第2映像や第2音声を予約する

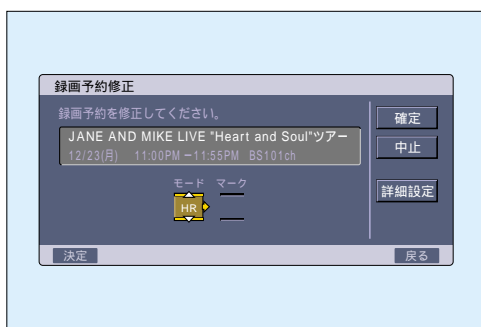
操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

録画モードが「HR」、「SR」、「LR」の場合、映像を1つ、音声を2つまで選ぶことができます。

1 「BS放送の第2映像や第2音声、第2データなどを予約する」（☞前ページ）の手順1〜7を行う。

「録画予約設定」画面が表示されます。

2 ◎を←/→に動かして［修正］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

「録画予約修正」画面が表示されます。

3 ◎を↑/↓/←/→に動かして［詳細設定］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

「録画予約修正ー信号選択」画面が表示されます。

一度に表示しきれない場合は、▼が表示されます。

現在設定されている項目には☑が付いています。
項目がすべて表示できない場合は、▼が表示されます。◎を↓に動かして表示します。

ちょっと一言

マルチビュー放送（☞90ページ）のときは、◎を↑/↓/←/→に動かして設定を変えたいビュー（「主」、「副1」、「副2」のいずれか）を選び、◎の真ん中を押します。

4 ◎を↑/↓/←/→に動かして録画したい映像や音声、データの設定を選び、◎の真ん中を押して決定する。

有料信号には¥マークが付いています。
カーソルで有料信号を選んでいる場合、画面下部にある「信号料金」に金額が表示されます。◎の真ん中を押して●が◉に変わると、この金額は、購入合計金額に加算されます。

カーソルで有料信号を取り消しても、購入合計金額が変わらないときは

複数の信号をパックにしている場合、パックに含まれる有料信号を取り消しても、購入合計金額は変わりません。このような場合、すべての信号を取り消してから、再度録画したい信号を選び直してください。購入概算金額を見るには「購入概算額を見る」(☞88ページ)をご覧ください。

「録画モードをDRに変更する必要があります」と表示されたら

録画モードが「HR」、「SR」、「LR」のときには映像を1つ、音声を2つまでしか選べません。複数の映像を選択する場合は、録画モードを「DR」に変更してから、「録画モードを選ぶ」(☞18ページ)設定をやり直すか、設定を変更してください。

5 (決定)を↑/↓/←/→に動かして[確定]を選び、(決定)の真ん中を押して決定する。

「録画予約修正」画面に戻ります。

[中止]を選ぶと、録画設定が取り消され、番組表に戻ります。

6 (決定)を↑/↓/←/→に動かして[確定]を選び、(決定)の真ん中を押して決定する。

「録画予約手続きが完了しました」と表示され、予約が完了します。

7 本機の電源を切る。

ご注意

- 連続で12時間以上録画することはできません。
- 次の場合、録画は停止します。
  – 録画中に番組の一部が有料となったとき
  – BDに空き時間(ディスク残量)がなくなったとき
- BS放送のラジオ放送やデータ放送を録音・録画することはできません。
- 「録画予約」での録画は一時停止できません。
- BS放送の録画中に、本機で他のチャンネルを見ることはできません。地上波放送の録画中にBS放送を見ることはできます(☞73ページ)。

「追加購入」と表示されたら

番組には有料信号が含まれている場合があります(☞149ページ)。

「重複確認」と表示されたら

録画が他の予約と重なっています(☞149ページ)。

「ディスクの残量が足りません」と表示されたら

録画するためのBDのディスク残量が足りません。新しいBDを挿入するか、BD内の不要なタイトルを削除してください(☞108ページ)。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら

誤消去防止つまみが開いています(☞165ページ)。

「年齢制限」画面が表示されたら

暗証番号を入力する必要があります(☞89ページ)。

画質を調整するには

「画質や音質を調整する」(☞82ページ)をご覧ください。

再生中に「まもなく予約録画の開始時刻です」と表示されたら

約5分後に録画が始まります。再生を止め、録画用のBDを挿入してください。開始時刻を過ぎてから再生を止めた場合、録画されない場合があります。

予約を確認する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」(☞2-2ページ)に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 システムメニュー(Ⓑ)を押す。

システムメニュー画面が表示されます。

3 決定(Ⓑ)を↑/↓に動かして[予約リスト]を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「予約リスト」画面が表示されます。

●:録画される予約

●:全部または一部が録画されない予約

(Ⓑ)で予約リストのズーミング1段階目〜3段階目の表示を切り換えることができます。

予約リストを消すには

戻る(Ⓑ)を押します。

予約リストに◘が表示されたときは

予約が重なっているため、優先順位の低い予約番組の一部またはすべてが録画できないことがあります。いずれかの予約を取り消すか、優先順位を変更してください(☞51ページ)。

予約リストを日付順や優先順に並べ替えるには

予約リストは、予約が行われる日付順や、設定した優先順に並べ替えることができます。優先順について詳しくは、「重なった予約の優先順位を変更する」(☞51ページ)をご覧ください。

決定を←に動かして「日付」、「優先」の欄に移動し、決定を↑/↓に動かして[日付]または[優先]を選びます。決定を→に動かすか決定の真ん中を押すと、予約リストを並べ替えることができます。

カーソルは、並び替えを行う前にカーソルを合わせていた番組の位置にあります。

予約番組の詳細情報を表示するには

確認したい番組を選んでいるときに、番組説明(Ⓑ)を押します。

「予約詳細情報」画面が表示されます。

もう一度押すと画面が消えます。

ちょっと一言

サブメニューで[予約詳細]を選んでも「予約詳細情報」画面が表示されます。「予約詳細情報」画面を消すには、もう一度サブメニューを表示し、[詳細を閉じる]を選びます。

戻るを押して「予約詳細情報」画面を消すこともできます。

ご注意

詳細情報のない番組もあります。

予約を変更する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **システムメニュー（Ⓑ）を押す。**

システムメニュー画面が表示されます。

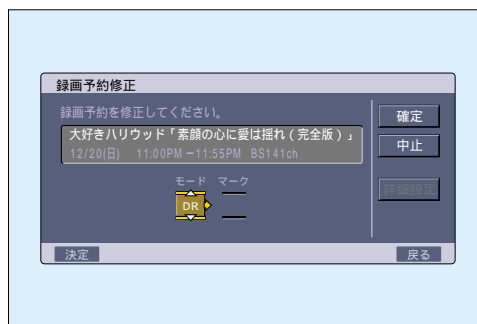
3 **決定（Ⓑ）を↑/↓に動かして［予約リスト］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「予約リスト」画面が表示されます。

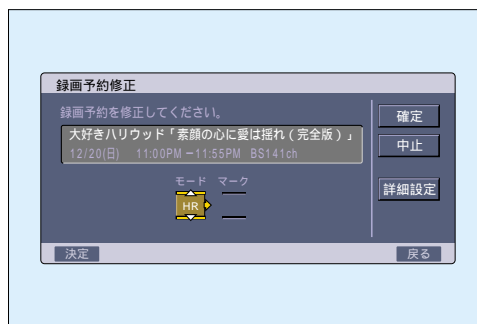
4 **決定を↑/↓に動かして、変更したい予約を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

サブメニューが表示されます。

5 **決定を↑/↓に動かして［予約修正］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「録画予約修正」画面が表示されます。

ちょっと一言

「予約詳細情報」画面で決定の真ん中を押してサブメニューを表示し、［予約修正］を選んで、「予約修正」画面を表示することもできます（「予約番組の詳細情報を表示するには」（☞前ページ））。

6 **決定を↑/↓/←/→に動かして項目を変更する。**

1 **決定を←/→に動かして、変更したい項目を選ぶ。**

2 **決定を↑/↓に動かして、設定を変更する。**

間違えたときは

決定を間違えた項目に動かして、変更します。

途中でやめるときは

決定を↑/↓/←/→に動かして［中止］を選び、決定の真ん中を押します。

他の項目も変更するには、手順1と2を繰り返し行います。

ちょっと一言

録画モードを「DR」に設定した場合、第2映像など、すべての信号が録画されますが、「DR」以外の場合は映像1つ、音声2つまでしか選べません。

7 **決定を↑/↓/←/→に動かして［確定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

予約が変更されて、「予約リスト」画面に戻ります。

［中止］を選ぶと、録画設定が取り消され、「予約リスト」画面に戻ります。

予約する

予約を取り消す

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **システムメニュー（Ⓑ）を押す。**

システムメニュー画面が表示されます。

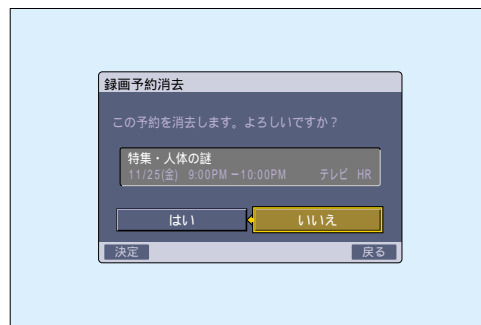
3 **決定（Ⓑ）を↑/↓に動かして［予約リスト］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「予約リスト」画面が表示されます。

4 **決定を↑/↓に動かして、番組を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

サブメニューが表示されます。

5 **決定を↑/↓に動かして［予約消去］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「録画予約消去」画面が表示されます。

［いいえ］を選ぶと、予約消去を行わずに「予約リスト」画面に戻ります。

6 **決定を←/→に動かして［はい］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

予約が消去されて、「予約リスト」画面に戻ります。

ご注意

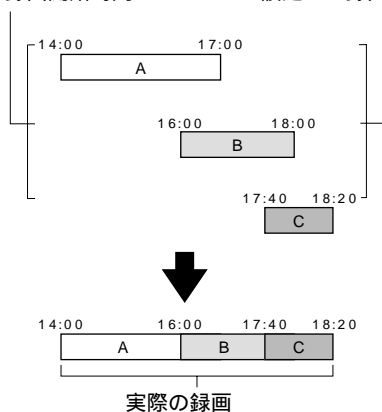
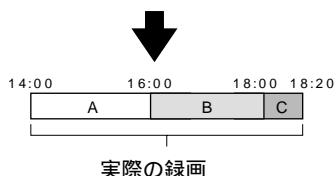
取り消した予約をもとに戻すことはできません。予約し直してください（☞36ページ）。

重なった予約の優先順位を変更する

本機では、予約が重なった場合、録画の「優先順位」にしたがって録画します。
「優先順位」は、予約を設定した順番に、新しいものが高くなるように設定されます。
BSデジタル放送などで、自動的に番組が延長されたり、開始時間が変更になったときや、予約が重なった場合、優先順位が高いものが録画され、低いものは録画されなかったり、途中からまたは途中までしか録画されないということも起こります。
優先順位は有料番組であるかどうかに関わらず設定されます。重要な録画の場合は、優先順位を確認し、必要に応じて優先順位を変更してください。

予約が重なったときは

番組表や日時指定で予約したときは、あとから設定した予約が優先されます。

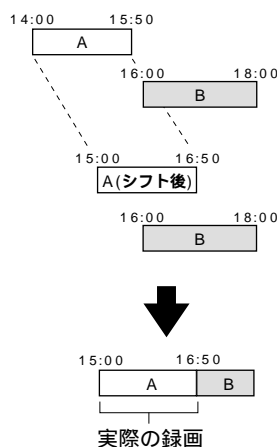
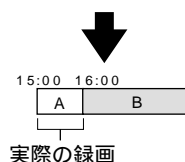
例：番組A、B、Cの順に予約した場合
→　番組Bが始まったら番組Bの録画が始まり、番組Cが始まったら番組Cの録画が始まります。

番組Bの優先順位を番組Cよりも高くすると、番組Bは設定した録画終了時間まで録画されます。

ちょっと一言
録画中に予約優先順位を変えることもできます。

ご注意
予約が重なっている場合、前の予約録画が終了してから次の予約録画が始まるときに、あとから始まる予約の最初の約40秒間が録画されません。

重複している番組を確認するには

予約リストでは、録画時間が重なっている番組を確認することはできません。
複数の番組の録画時間が重なっているかどうか確認するには、まず確認したい番組を選び、◎(B)の真ん中を押してサブメニューを表示します。サブメニューの中から［重複確認］を選び、◎の真ん中を押して「重複確認」画面を表示します。
選んだ番組の録画時間が他の番組の録画時間と重なっているかどうか確認することができます。

BS放送の番組開始時間が遅くなったときは

番組の開始時間が遅くなって、別の予約の録画開始時間と重なった場合、優先順位の高い番組の設定時間が優先されます。
例：番組Aの優先順位が高い場合

ここで、番組Bの優先順位を番組Aよりも高くすると、番組Bの録画は設定した録画開始時間に始まります。

ちょっと一言
番組表から予約した場合や日時指定予約で予約した番組は、あとから設定した予約が優先されます。

ご注意
一方の予約終了時刻ともう一方の予約開始時刻が同じ場合、優先度の低いほうの予約が約40秒間録画されない場合があります。

予約する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **システムメニュー（Ⓑ）を押す。**

システムメニュー画面が表示されます。

3 **（Ⓑ）を↑/↓に動かして［予約リスト］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「予約リスト」画面が表示されます。

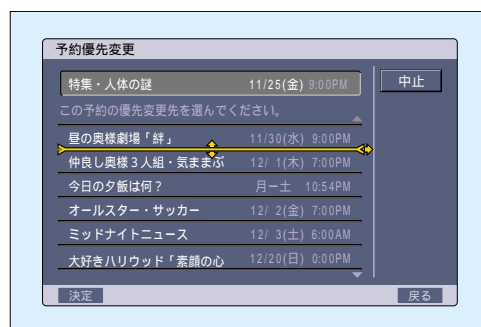
4 **を←に動かして「表示順」欄にカーソルを移動し、を↓に動かして［優先］を選び、の真ん中を押して決定する。**

表示順が変わります。

5 **を↑/↓に動かして、番組を選び、の真ん中を押して決定する。**

サブメニューが表示されます。

6 **を↑/↓に動かして［優先変更］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「予約優先変更」画面が表示されます。

7 **を↑/↓に動かして、番組の移動先を選び、の真ん中を押して決定する。**

番組を挿入したい位置に⇔を移動します。

の真ん中を押すと移動が完了します。

番組の優先順位は、リストの上にいくほど高くなります。

［中止］を選ぶと、優先順位の変更を行わずに「予約リスト」画面に戻ります。

BDを再生する

操作に使用するボタンの位置について

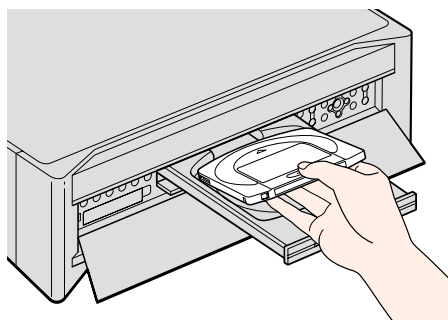
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開/閉（Ⓐ）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度開/閉を押して、トレイを閉じる。

5 ►（Ⓒ）を押す。

再生が始まります。

基本的な機能と操作ボタンは以下の通りです。

機能	操作
停止する	■（Ⓒ）を押す
一時停止する	‖（Ⓒ）を押す
一時停止したあと再生する	‖または►を押す
再生中のタイトルを頭出しする	⏮（Ⓔ）を押す
次のタイトルを頭出しする	⏭（Ⓔ）を押す
早送りする	再生中に（ワープ）（Ⓒ）を右に傾ける
早戻しする	再生中に（ワープ）を左に傾ける
スロー再生する	再生一時停止中に（ワープ）を左または右に1秒以上傾けます。通常の再生に戻すときは、►を押します。
コマ送りする	再生一時停止中に（ワープ）を左または右に短く傾けます。再生方向にコマ送りするときは短く右に傾け、逆方向にコマ送りするときは短く左に傾けます。 くり返し傾けると、連続してコマ送りします。 通常の再生に戻すときは、►を押します。
ディスクを取り出す	開/閉を押す

ちょっと一言

早送りや早戻しの速度を変えるには、67ページをご覧ください。

画質や音質を調整するには

見るタイトルの画質や音質を調整することができます。詳しくは、「画質や音質を調整する」（☞82ページ）をご覧ください。

「ディスクロック」と表示されたら

ディスクを読み込むことができません（☞102ページ）。

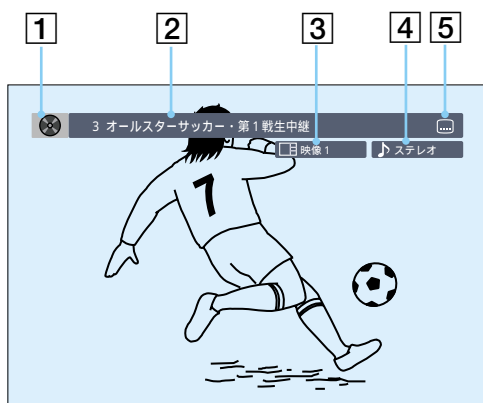
画面表示について

操作に使用するボタンの位置について

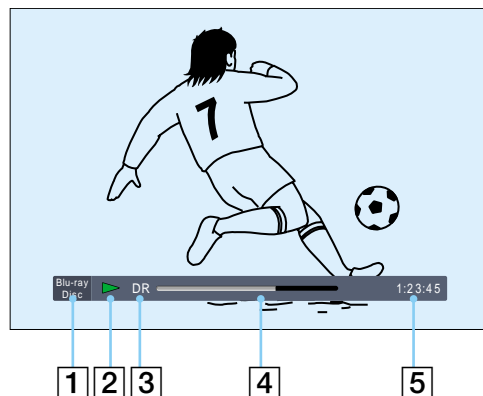
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

「セットアップ」画面で自動画面表示を「入」（別冊の「接続と準備」編参照）にしている場合は、再生が始まると、番組のタイトルや音声情報などの番組情報が表示されます。一定時間を過ぎると表示が消えます。
「セットアップ」画面で、自動画面表示を「切」にしている場合は、画面表示◯（Ⓐ）と時間表示◯（Ⓐ）を押すと、表示が切り換わります。自動画面表示の設定について詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「自動画面表示機能を使う」をご覧ください。

画面表示◯を押します。

番組情報が表示されます。

1 再生表示
2 番組名
3 映像情報表示
4 音声情報表示
5 アイコン（連動データ放送、マルチビュー放送、字幕放送のときにアイコンを表示）

もう一度画面表示◯を押します。

時間情報が表示されます。もう一度押すと、表示が消えます。

1 ディスク種別表示
2 操作モード（録画／再生／早送り／早戻し／スロー／コマ送り）表示
3 録画モード表示
4 録画／再生位置インジケーター
5 カウンター（時間表示◯を押して、「経過時間」表示と「残り時間」表示とを切り換えることができます。）

ちょっと一言

番組情報や時間情報を表示しているときに、番組表、システムメニュー画面、ツールなどを表示すると、番組情報と時間情報の表示は消えます。

タイトルリストから再生する

録画したタイトルを探すには、以下の2通りがあります。

- **タイトルリストを使う**（☞56ページ）
  録画したタイトルはすべてタイトルリストに表示されます。タイトルリストを拡大／縮小したり、録画した日付順、タイトル順、マーク順に並べ替えてタイトルを探すことができます。
- **タイトルをキーワードやジャンルを使って探す**（☞58ページ）
  キーワードやジャンルで検索して、検索結果の一覧表示からタイトルを探すことができます。

1 **表示順選択（☞57ページ）**

2 **タイトル一覧**
タイトルの状態によって、以下のマークが表示されます。
NEW このタイトルはまだ一度も再生されていません。
▶ このタイトルは再生中です。
● このタイトルは録画中です。
バーチャルタイトルです（106ページ）。

3 **ディスク名**

4 **ディスク容量**
全ディスク容量のうち、ユーザー書き込み容量（使用可能容量）が何GBあるかを表示します。

5 **ズーミング段階表示**
ズーミング段階を表示します。ズーミング段階は3段階あります。

6 **操作ガイド**
画面で行う操作に使うボタンを表示します。

次のページにつづく

タイトルリストから再生する（つづき）

操作に使用するボタンの位置について

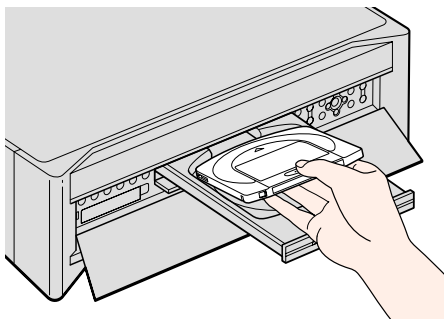
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。**

5 **タイトルリスト（Ⓑ）を押す。**

カーソルモードでタイトルリストが表示されます。

6 **決定（Ⓑ）を↑/↓に動かして、タイトルを選び、決定の真ん中を押して決定する。**

サブメニューが表示されます。

7 **決定を↑/↓に動かして［再生］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

再生が始まります。

手順6でタイトルを選び、再生（Ⓒ）を押して再生を始めることもできます。

再生を停止するときは、停止（Ⓒ）を押します。

ちょっと一言

- システムメニュー画面を表示してから、［タイトルリスト］を選び決定の真ん中を押してタイトルリストを表示することもできます。
- 手順6でサブメニューを表示し、［タイトル詳細］を選べば、番組詳細情報が見られます。
- 再生を停止する場合、決定の真ん中を押してサブメニューを表示し、［再生停止］を選んでから決定の真ん中を押します。

ご注意

他社のBD機で録画したBDを本機に入れた場合、本機のタイトルリストには以下が表示されない場合があります。

- 番組の情報（タイトルや詳細情報）
- 録画モード
- チャンネル番号
- 入力ソース（地上波放送、BS放送など）
- 放送局名
- マーク

タイトルリストを消すには

タイトルリストを押します。

システムメニュー（Ⓑ）を押すと、タイトルリストが消え、システムメニュー画面が表示されます。

タイトルリストの表示順を変えるには

タイトルリストの左側にある「表示順」欄を使って、タイトルリストの表示順を変えることができます。「表示順」欄では、番号順、日付順、タイトル順、マーク順から選ぶことができます。

1 ◎を←に動かす。

タイトルリストの左側にある「表示順」欄に移動します。

2 ◎を↑/↓に動かして表示順を選び、◎の真ん中を押す。

選んだ表示順によってタイトルリストが並べ替えられます。

表示順	タイトルリストの表示順
番号	録画時、番組ごとに記録されるタイトル番号順（録画される順）。小さい番号から順に表示されます。リストでタイトル順を変えた場合、番号もそれに合わせて変わります。
日付	録画した日付順。新しい日付から順に表示されます。日付の設定されていないタイトルはリストの一番下に表示されます。
タイトル	タイトルの名前順。タイトルが同じ場合は、タイトル番号が小さい方が上に表示されます。タイトル名のないタイトルはリストの一番下に表示されます。
マーク （☞114ページ）	タイトルに付けたマークの優先順。マークが同じ場合は、タイトル番号が小さい方が上に表示されます。マークのないタイトルはリストの一番下に表示されます。

ちょっと一言

別冊の「接続と準備」編で、「セットアップ」の「連続再生」を「入」に設定した場合、表示順に関係なく、タイトル番号順に再生されます。

タイトルリストを拡大するには

（B）を押してタイトルリストのズーミングを切り換えることができます。

ズーム（＋）を押してタイトルリストをズーミング2段階目または3段階目に拡大すると、より詳細な情報を表示することができます。ズーム（－）を押すと戻ります。

ズーミング別に、1画面内に表示されるタイトル数とタイトル情報は以下の通りです。

ズーミング	タイトル数	タイトル情報
1段階目	8タイトル	タイトル番号、番組タイトル、録画日、マーク
2段階目	4タイトル	タイトル番号、番組タイトル、録画日、録画開始時間、録画時間、録画モード、放送局名（BS放送の場合は、放送局ロゴ）、マーク
3段階目	2タイトル	タイトル番号、番組タイトル、録画日、録画開始時間、録画時間、録画モード、放送局名（BS放送の場合は、放送局ロゴ）、マーク、番組詳細表示

ご注意

カーソルが「表示順」欄にあるときは、ズーミングできません。

ページモードでタイトルリストを見るには

カーソルモード（B）を押してタイトルリストをページモードにすると、◎を↑/↓に動かしてタイトルリストをページ単位で移動することができます。

1つのページに表示されるタイトル数はズーミングの段階によって異なります。

ページモードのときは、タイトルを選んだり、拡大／縮小することはできません。

ご注意

- 一度タイトルリストを消したあと、もう一度タイトルリストを表示したときはカーソルモードで表示されます。
- タイトル数が1ページ未満の場合は、ページモードで◎を↑/↓に動かしてもページ移動はできません。

ページモードをやめるときは

◎の真ん中またはカーソルモードを押します。

録画した番組（タイトル）を見る

番組（タイトル）をキーワードやジャンルから探して再生する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているA B C D Eのブロックを参照します。

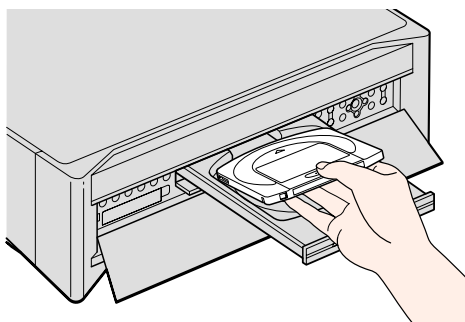
ここでは、例として「ユニバーサルサッカー」という語句を含むタイトルを検索します。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開/閉（A）を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

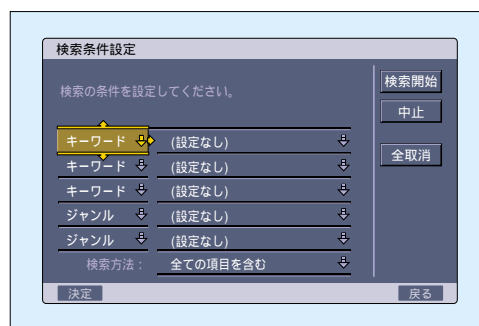
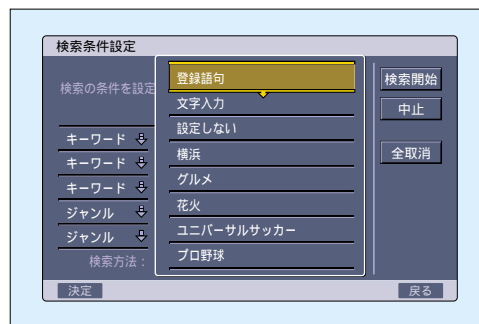
3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度開/閉を押して、トレイを閉じる。**

5 **タイトルリストまたはサムネイルタイトル画面で、ツール（B）を押す。**

- タイトルリストを表示するにはタイトルリスト（B）を押します。
- サムネイルタイトル画面を表示するにはシステムメニュー（B）を押してから、［サムネイルタイトル］を選び、決定（B）の真ん中を押します。

ツールが表示されます。

6 **決定（B）を↑/↓に動かして［タイトル検索］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「検索条件設定」画面が表示されます。

7 **決定を↑/↓/←/→に動かして［キーワード］を選び、決定を→に動かして決定の真ん中を押して決定する。**

検索項目の一覧が表示されます。

ちょっと一言

［キーワード］を［ジャンル］に変えたり、［ジャンル］を［キーワード］に変えることもできます。
［キーワード］または［ジャンル］を選んで決定の真ん中を押して決定し、続けて決定を↑/↓に動かして［ジャンル］または［キーワード］を選んで決定の真ん中を押します。

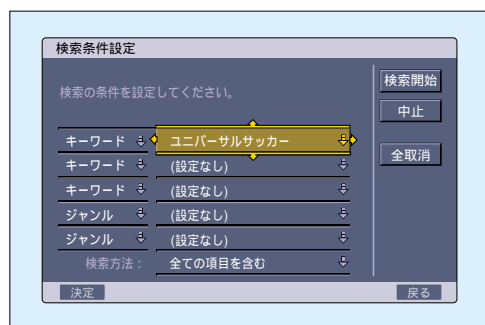
ジャンルを使って検索するには

1 **を↑/↓/←/→に動かして［ジャンル］を選び、を→に動かしての真ん中を押して決定する。**

大ジャンルの一覧が表示されます。中ジャンルがある項目を選んだ場合は、中ジャンルも表示されます。

2 **を↑/↓に動かして大ジャンルを選ぶか、を→に動かしてから↑/↓に動かして中ジャンルを選び、の真ん中を押して決定する。**

手順9以降を行ってください。

8 を↑/↓に動かして［ユニバーサルサッカー］を選び、の真ん中を押して決定する。

検索項目一覧にないときは

下記のいずれかを行います。

- 語句を入力して探す

1 **を↑/↓に動かして［文字入力］を選び、の真ん中を押して決定する。**

2 **「ユニバーサルサッカー」と入力する。**

文字の入力のしかたについては、「文字入力のしかた」（☞130ページ）をご覧ください。

- 登録語句から探す

1 **を↑/↓に動かして［登録語句］を選び、の真ん中を押して決定する。**

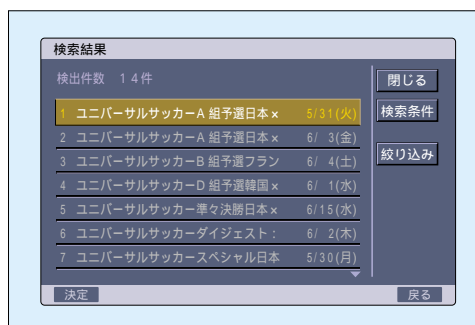
2 **を↑/↓に動かして［ユニバーサルサッカー］を選び、の真ん中を押して決定する。**

出荷時には、登録語句はありません。事前に登録しておくことをおすすめします（☞80ページ）。

9 を↑/↓に動かして「検索方法」を選び、の真ん中を押して決定する。

検索方法の一覧が表示されます。

10 を↑/↓に動かして、検索方法を選び、の真ん中を押して決定する。

11 を↑/↓/←/→に動かして［検索開始］を選び、の真ん中を押して決定する。

「検索結果」画面が表示されます。

12 検索結果に表示されるタイトルをもとに、見たいタイトルを探す。

「検索結果」画面を消すには、［閉じる］を選びます。

ちょっと一言

検索条件を変更することができます。詳しくは、「検索条件を変更するには」（☞80ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

タイトルリストから再生する（つづき）

検索条件を確認するには

検索結果が表示されたあとで、検索条件を確認することができます。「検索結果」画面で、［検索条件］を選ぶと「検索設定確認」画面が表示されます。

検索条件を追加して検索するには

検索結果で検出したタイトルが多すぎる場合などのとき、検索条件を増やして検索し直すことができます。「検索結果」画面で、［絞り込み］を選ぶと「検索条件設定」画面が表示されます。条件を追加して検索します。

サムネイルタイトルから再生する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 **テレビと本機の電源を入れ、本機からの映像が表示されるよう、テレビの入力を切り換える。**

2 **リモコンの［開／閉 ⏏］（Ⓐ）を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度［開／閉 ⏏］を押して、トレイを閉じる。**

5 システムメニュー（B）を押す。

システムメニュー画面が表示されます。

6 決定（B）を↑/↓に動かして［サムネイル*タイトル］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

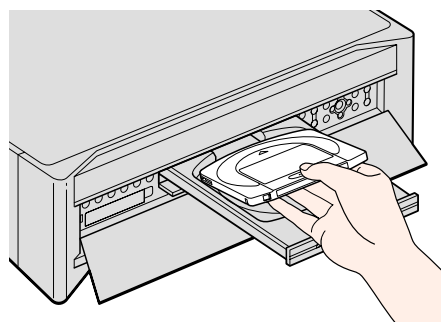
サムネイルタイトル画面が表示されます。

* サムネイルとは、実際の映像を小さくした画像のことです。

7 サムネイルを見ながら、決定を↑/↓に動かしてタイトルを選び、決定の真ん中を押して決定する。

サブメニューが表示されます。

8 決定を↑/↓に動かして［再生］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

再生が始まります。

再生を停止するときは、■（C）を押すか、ツールの［再生停止］を選んでから決定の真ん中を押します。

ちょっと一言

サムネイルは変更できます（☞115ページ）。

ご注意

- サムネイルが表示されるまでは、時間がかかる場合があります。
- 録画されたタイトルやBDによっては、サムネイルが表示されない場合があります。
- サムネイルタイトル画面を表示中に予約録画が始まると、画面が自動的に閉じます。
- テレビによっては、上下のタイトル表示が一部欠ける場合があります。

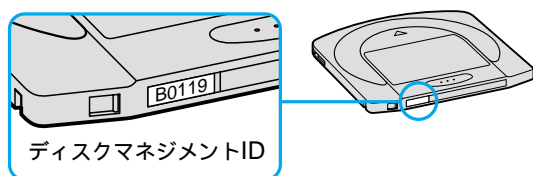
ライブラリーリストから再生する

本機では、BDカートリッジ上に表示されているディスクマネジメントIDを識別して、最大100枚までのBDの情報を本体内に記憶します。その情報をライブラリーリストとして一覧表示することができます。ライブラリーリストでは、各BDの情報（ディスクマネジメントIDやディスク名、残量、録画されたタイトル名、録画日時など）を表示します。本機に入っていないBDでもこれらの情報をライブラリーリスト画面で確認することができ、再生したいタイトルを探すのに便利です。

ご注意

本機以外の機器で録画したBDでは、ライブラリーリストに情報が表示されない場合があります。

ディスクマネジメントIDとは

BDのカートリッジ上に表示されている5桁のIDです。ライブラリーリスト上に表示されるので、本機にBDを入れなくても、再生したいタイトルが入ったBDカートリッジを容易に探すことができます（本機以外の機器で録画したBDでは、ディスクマネジメントIDが表示されない場合があります）。

次の方法で検索できます。

- **ライブラリーリスト／タイトルリストを使う**
  ディスクマネジメントIDやディスク名、ディスク残量（☞100ページ）はライブラリーリストに表示されます。ライブラリーリストはディスク名順、ディスク残量の多い順に並べ替えることができます。また、録画したタイトルはそれぞれのディスクのタイトルリストとして表示されます（最大100タイトル）。
- **タイトルを検索する**
  キーワードやジャンルで検索して、検索結果の一覧表示からタイトルを探すことができます。検索対象は、ライブラリーリストに登録されているすべてのタイトルです。

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

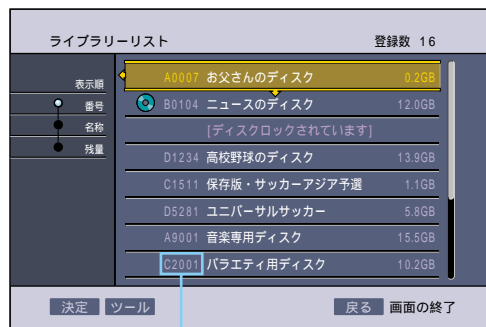
1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 システムメニュー（Ⓑ）を押す。

システムメニュー画面が表示されます。

3 （B）を↑/↓に動かして［ライブラリーリスト］を選び、の真ん中を押して決定する。

「ライブラリーリスト」画面が表示されます。

ちょっと一言

BDのカートリッジにディスクマネジメントIDの表示がなくても、ライブラリーリスト上ではそのディスク固有の番号が表示されます。ディスクマネジメントIDの表示がないBDの場合は、ライブラリーリスト上で番号を確認してカートリッジに書いておくと便利です。

4 を↑/↓に動かして、ディスクを選び、の真ん中を押して決定する。

サブメニューが表示されます。

5 を↑/↓に動かして［タイトルリスト］を選び、の真ん中を押して決定する。

「タイトルリスト」画面が表示されます。

6 を↑/↓に動かして、タイトルを選び、の真ん中を押して決定する。

サブメニューが表示されます。

7 を↑/↓に動かして［再生］を選び、の真ん中を押して決定する。

選んだタイトルが本機に入れてあるBDに録画されているときは

再生が始まります。

選んだタイトルが本機に入っていないBDに録画されているときは

ディスク名を示す画面が表示されます。本機に入れてあるBDを取り出し、選んだタイトルが録画されているBDを本機に入れると、自動的に再生が始まります。

ご注意

- 本機に記憶されるディスクの情報は、最大100枚です。
- ディスクには200タイトルまで記録できますが、本機に記憶されるタイトルは、1ディスクにつき最大100タイトル（バーチャルタイトルを含む）です。タイトルリストに表示されるタイトルも最大100タイトルです。
- 本機以外の機器を使って編集、消去したタイトルは、「対応するタイトルがありません」と表示され、再生できないことがあります。

ライブラリーリストの表示順を変えるには

ライブラリーリストの左側にある「表示順」欄を使って、ライブラリーリストの表示順を変えることができます。「表示順」欄では、ディスクマネジメントID順（「番号」）、ディスク名順（「名称」）、ディスク残量順（「残量」）から選ぶことができます。

1 を←に動かす。

ライブラリーリストの左側にある「表示順」欄に移動します。

2 を↑/↓に動かして表示順を選び、の真ん中を押す。

選んだ表示順にライブラリーリストが並べ替えられます。

ライブラリーリストから再生する（つづき）

「表示順」欄	ライブラリーリストの表示順
番号	あらかじめ記録されているディスクマネジメントID順。番号が小さいほどリストの上の方に表示されます。
名称	ディスクの名前順。ディスク名のないタイトルはリストの一番下に表示されます。
残量	ディスクの残量順。ディスク残量が多いほど上の方に表示されます。

ディスク情報の登録のしかたを変えるには

本機が記憶しているディスクの枚数が100枚を超えた場合の登録のしかたを変更することができます。
[上書き登録する] を選ぶと、使用した時期が最も古いディスクの情報が消去され、新しいディスクを記憶します。[上書き登録しない] を選ぶと、新しいディスクを記憶しません。

1 ライブラリーリスト画面で ツール(B)を押してツールを表示する。

2 を↑/↓に動かして、[登録モード設定] を選び、の真ん中を押して決定する。
「リスト登録モード設定」画面が表示されます。

3 を←/→に動かして、[上書き登録する] または [上書き登録しない] を選び、の真ん中を押して決定する。
確認画面が表示されてから、ライブラリーリスト画面に戻ります。

ディスクの情報を削除するには

ライブラリーリスト画面に表示されるディスク情報を削除することができます。

ライブラリーリストからディスク情報を削除する

1 ライブラリーリスト画面で削除したいディスク情報を選び、の真ん中を押してサブメニューを表示する。

2 を↑/↓に動かして、[リスト登録削除] を選び、の真ん中を押して決定する。
「リスト登録削除」画面が表示されます。

3 を←/→に動かして、[はい] を選び、の真ん中を押して決定する。
選んだディスクの情報が消去され、ライブラリーリストに表示されなくなります。

複数のディスク情報をまとめて削除する

1 ライブラリーリスト画面で ツール(B)を押してツールを表示する。

2 を↑/↓に動かして、[リスト登録選択削除] を選び、の真ん中を押して決定する。
「リスト登録選択削除」画面が表示されます。

3 を↑/↓に動かして、削除したいディスク情報を選び、の真ん中を押して決定する。
選んだディスクのチェックボックスにチェックがつきます。

4 を↑/↓/←/→に動かして、[削除一覧] を選び、の真ん中を押して決定する。
「リスト登録選択削除ー削除一覧」画面が表示されます。

5 を↑/↓/←/→に動かして、[確定] を選び、の真ん中を押して決定する。
「リスト登録選択」の確認画面が表示されます。

6 を←/→に動かして、[はい] を選び、の真ん中を押して決定する。
選んだディスクの情報が削除され、ライブラリーリストに表示されなくなります。

ちょっと一言
- ライブラリーリストから削除した情報は、BDを本機に入れると再び表示されるようになります。
- 手順3のあとで [確定] を選ぶと、削除が確定し、そのあとの手順を省略することができます。

ご注意
ディスクロックされているディスクは、ライブラリーリストでディスクマネジメントIDのみ表示されます。

番組（タイトル）をキーワードから探して再生する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

タイトル名や録画日時などから録画したタイトルを検索することができます。まだ再生していないタイトルだけに絞って探すこともできます。
ここでは、例として「ユニバーサルサッカー」というタイトルを含む番組を検索してみます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 システムメニュー（Ⓑ）を押す。

システムメニュー画面が表示されます。

3 決定（Ⓑ）を↑/↓に動かして［ライブラリーリスト］を選び、決定の真ん中を押す。

「ライブラリーリスト」画面が表示されます。

4 ツール（Ⓑ）を押す。

ツールが表示されます。

5 決定を↑/↓に動かして［タイトル検索］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

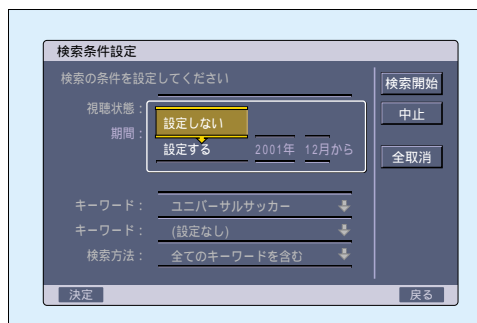
「検索条件設定」画面が表示されます。

6 決定を↑/↓に動かして「視聴状態」を選び、決定の真ん中を押して決定する。

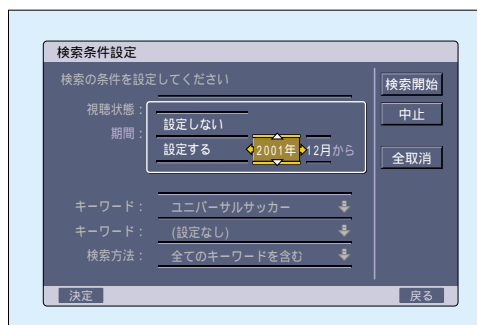
7 決定を↑/↓に動かして視聴条件を選び、決定の真ん中を押して決定する。

再生していないタイトルだけを探したい場合は、［未視聴］を選びます。

8 決定を↑/↓に動かして「期間（から）」を選び、決定の真ん中を押して決定する。

録画した日付の範囲を指定します。

9 決定を↑/↓/←/→に動かして「年」の項目を選び、決定を↑/↓に動かして「年」を選んでから、決定を→に動かす。

カーソルが「月」に移動します。

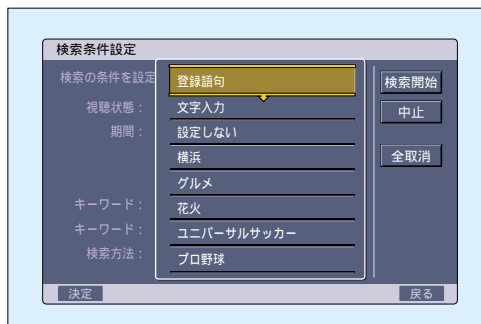
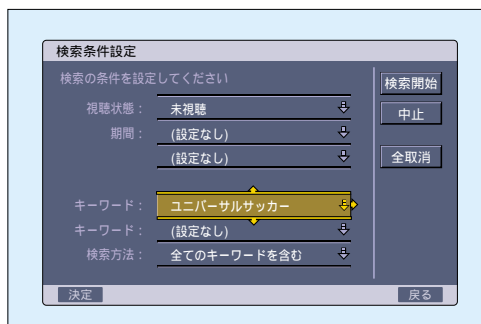
次のページにつづく

ライブラリーリストから再生する（つづき）

10 **を←/→に動かして「月」の項目を選び、を↑/↓に動かして「月」を選んでから、の真ん中を押す。**

11 **を↑/↓に動かして「期間（まで）」を選び、の真ん中を押して決定する。**

手順9～11にしたがって、「年」と「月」を指定します。

12 **を↑/↓に動かして「キーワード」を選び、の真ん中を押して決定する。**

検索項目の一覧が表示されます。

13 **を↑/↓に動かして［ユニバーサルサッカー］を選び、の真ん中を押して決定する。**

検索項目一覧にないときは

下記のいずれかを行います。

- **キーワードを入力して探す**

  1 **を↑/↓に動かして［文字入力］を選び、の真ん中を押して決定する。**

  2 **「ユニバーサルサッカー」と入力する。**

  文字の入力のしかたについては、「文字入力のしかた」（☞130ページ）をご覧ください。

- **キーワードから探す**

  1 **を↑/↓に動かして［登録語句］を選び、の真ん中を押して決定する。**

  2 **を↑/↓に動かして［ユニバーサルサッカー］を選び、の真ん中を押して決定する。**

14 **を↑/↓に動かして「検索方法」を選び、の真ん中を押して決定する。**

検索方法の一覧が表示されます。

15 **を↑/↓に動かして、検索方法を選び、の真ん中を押して決定する。**

16 **を↑/↓/←/→に動かして［検索開始］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「検索結果」画面が表示されます。

17 ◎を↑/↓に動かして、タイトルを選び、◎の真ん中を押して決定する。

サブメニューが表示されます。

18 ◎を↑/↓に動かして［再生］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

選んだタイトルが本機に入れてあるBDに録画されているときは

再生が始まります。

選んだタイトルが本機に入れていないBDに録画されているときは

ディスク名を示す画面が表示されます。
本機に入れてあるBDを取り出し、選んだタイトルが録画されているBDを本機に入れると、自動的に再生が始まります。

手順17でタイトルを選び、▶(C)を押して再生を始めることもできます。

ちょっと一言

- 「日付（から）」（A）と「日付（まで）」（B）のどちらか一方だけを入力しても検索されます。また、「日付（から）」の日付のほうが、「日付（まで）」より新しくても検索されます。
  - A<Bのとき：AからBまでの期間に録画したタイトルを検索します。
  - A>Bのとき：Bまでの期間に録画したタイトルと、A以降に録画したタイトルを検索します。
- 検索のキーワードは、タイトル名のみで有効です。

ご注意

- 本機に記憶されるディスクの情報は、最大100枚です。また、記憶されるタイトルは、1ディスクにつき最大100タイトル（バーチャルタイトルを含む）です。
- 本機以外の機器を使って編集、消去したタイトルは、「対応するタイトルがありません」と表示され、再生できないことがあります。
- タイトル名が長い場合は、タイトル名のすべてを記憶できません。記憶されなかった部分の語句では検索できません。

見たい場面を探す

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているA B C D Eのブロックを参照します。

再生中に◂◂(ワープ)▸▸(C)を右に傾けると、早送りします。◂◂(ワープ)▸▸を左に傾けると、早戻しします。画面を見ながら場面を探すことができます。

再生の速さを変えるには

再生中に◂◂(ワープ)▸▸をくり返し傾けると、再生の速さが変わります。3種類の速さから選べます。通常の再生に戻すには、▶(C)を押します。

画像の速さ	操作
早送り再生*	10倍速：◂◂(ワープ)▸▸を短く右に傾けます。 30倍速：◂◂(ワープ)▸▸を短く2回右に傾けます。 120倍速：◂◂(ワープ)▸▸を短く3回右に傾けます。 ◂◂(ワープ)▸▸を1秒以上右に傾けたままにすると、傾けている間だけ早送り再生します。◂◂(ワープ)▸▸を真ん中に戻すと通常の再生に戻ります。

次のページにつづく

見たい場面を探す（つづき）

画像の速さ	操作
早戻し再生*	10倍速：ワープを短く左に傾けます。 30倍速：ワープを短く2回左に傾けます。 120倍速：ワープを短く3回左に傾けます。 ワープを1秒以上左に傾けたままにすると、傾けている間だけ早戻し再生します。ワープを真ん中に戻すと通常の再生に戻ります。

* リモコンの電池の消耗をおさえたいときは、連続早送り／早戻し再生をおすすめします。

スロー再生／コマ送りするには

画像の速さ	操作
スロー	再生一時停止中にワープを左または右に1秒以上傾けます。 通常の再生に戻すときは、▶を押します。
コマ送り	再生一時停止中にワープを左または右に短く傾けます。 くり返し傾けると、連続してコマ送りします。 通常の再生に戻すときは、▶を押します。

すばやく見たい場面にとばす（ワープモード）

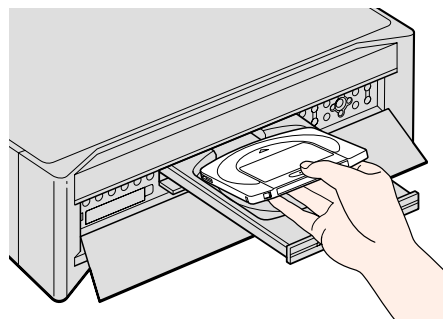
操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

ワープモードを使うと、再生中のタイトル内ですばやく場面を移動できます。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**
本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開／閉 ⏏（Ⓐ）を押す。**
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度開／閉 ⏏を押して、トレイを閉じる。**

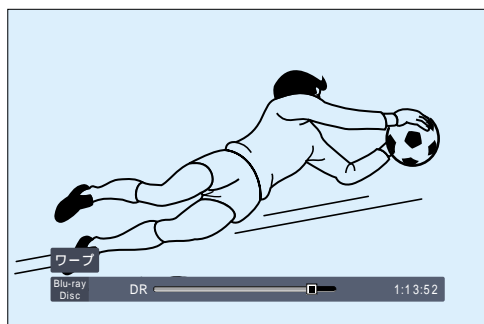
5 再生中または一時停止中に［ワープ］（ⓒ）を押す。

ワープモードになり、画面下部にバーとワープインジケーター（現在位置を表示する四角）が表示されます。
再生中の場合、画面は一時停止します。

6 ［ワープ］を左右に傾けて、見たい場面の位置までワープインジケーターを動かす。

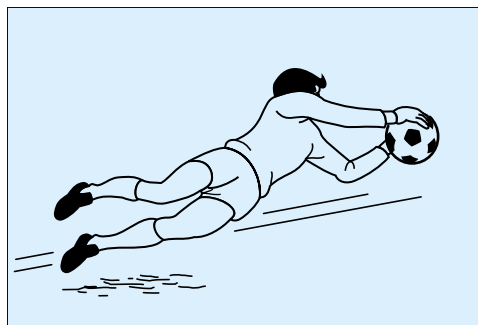
バー上のワープインジケーターは場面のおおよその位置を表示します。

7 見たい場面の位置まで来たら、［ワープ］を離す。

ワープインジケーターを止めた位置の場面が一時停止で表示されます。

場面を選び直すには

［ワープ］を傾けて、選び直します。

8 ［ワープ］を押す。

再生が始まります。

ご注意

ワープインジケーターは、バーの右端または左端まで移動すると止まります。

ワープモードを途中でやめるには

［ワープ］または［再生］（ⓒ）を押します。押した場面から再生が始まります。

インデックス番号で頭出しする

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

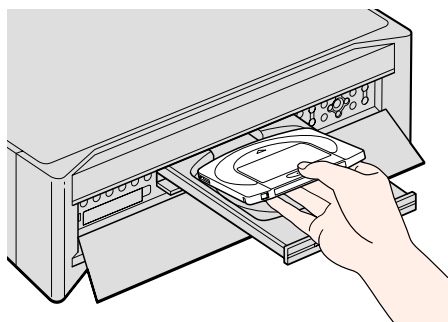
タイトル内にインデックス番号がある場合、インデックス番号を選んで頭出しをすることができます。インデックス番号の付けかたについて詳しくは、「インデックス番号を付けるには」（☞次ページ）をご覧ください。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

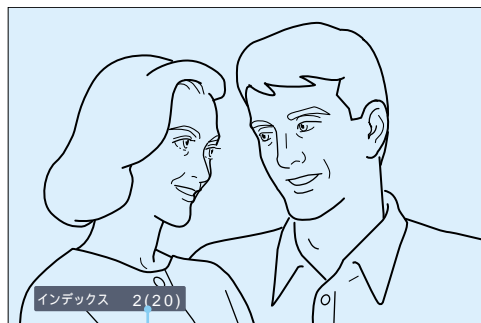
本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。

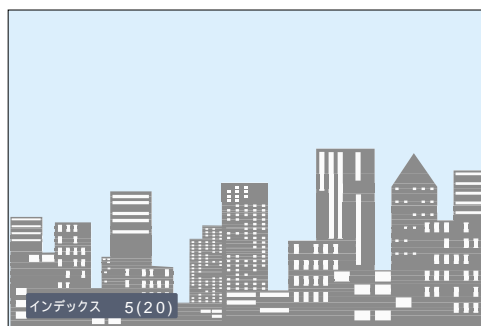
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。

5 再生中または一時停止中に－／＋（インデックス）（Ⓔ）を押す。

インデックス番号が表示されます。

インデックス番号（20個のうちの2番目のインデックス）

6 －／＋を押して、見たい場面を選ぶ。

次のインデックス番号を選びたいときは＋を押し、1つ前のインデックス番号を選びたいときは－を押します。

場面が少しの間一時停止したあと、再生が始まります。
インデックス番号の表示は5秒後に消えます。

ちょっと一言

1つ目のインデックスは、自動的にタイトルの先頭に付きます。

手動でインデックス番号を追加／消去する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

インデックス番号で頭出しするには、あらかじめインデックス番号を付ける必要があります。

インデックス番号を付けるには

再生／再生一時停止中または録画／録画一時停止中に書込み(Ⓔ)を押します。画面上に「インデックス書き込み」が表示され、5秒で消えます。

インデックスを消去するには

再生中に－／＋(インデックス)(Ⓔ)を押して、インデックス番号を選びます。5秒間のインデックス表示中に消去(Ⓔ)を押すと、「インデックス消去」が表示され、インデックスが消去されます。

ちょっと一言

1タイトルに付けられるインデックスは最大98個です。BD1枚に付けられるインデックスは最大1000個です。ただし、ディスクの使いかたによっては、付けられるインデックスの数が異なる場合があります。

ご注意

タイトルの先頭のインデックスは消去できません。

番組表から番組を選ぶ

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」(☞2-2ページ)に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

ここでは番組表を使ってチャンネルを変える方法を説明します。
番組表を使わないでチャンネルを変える方法については、「チャンネル+/−ボタンで選局する」(☞次ページ)、「BSチャンネルをダイレクトキーで選局する」(☞74ページ)、「BSチャンネルを3桁のチャンネル番号で選局する」(☞75ページ)をご覧ください。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 番組表(Ⓑ)を押して番組表を表示し、見たい番組にカーソルを合わせる。

BSデジタル放送の番組表を見たいときはBS(Ⓐ)を、地上波放送の番組表を見たいときは地上(Ⓐ)を押します。
番組表について詳しくは、「番組表とは?」(☞14〜17ページ)をご覧ください。

例:BSデジタル放送の番組表

3 決定(Ⓑ)の真ん中を押す。

サブメニューが表示されます。

4 決定を↑/↓に動かして[選局]を選び、決定の真ん中を押して決定する。

番組が表示されます。

ちょっと一言

- 放送が終了した番組を選ぶと、選んだ番組が放送されていたチャンネルが選局されます。
- 他機器からの映像を見るときは、入力切換(Ⓓ)をくり返し押して他機器を接続した入力に切り換えてください。
  詳しくは、「他の機器からの映像を見る」(☞135ページ)をご覧ください。

ご注意

BS放送の録画中に、本機で他のチャンネルを見ることはできません。地上波放送の録画中にBS放送を見ることはできます(☞73ページ)。

「年齢制限」画面が表示されたら(BS放送のみ)

暗証番号を入力する必要があります(☞89ページ)。

「有料番組」と表示されたら(BS放送のみ)

選んだ番組は有料番組です(☞86ページ)。

画質や音質を調整するには

「画質や音質を調整する」(☞82ページ)をご覧ください。

チャンネル＋/－ボタンで選局する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 ＋/－（Ⓐ）を押して見たい番組を探す。

地上波放送を見るときは

地上（Ⓐ）を押してから＋/－を押します。

BS放送を見るときは

BS（Ⓐ）を押してから＋/－を押します。

ご注意

「セットアップ」画面で映らないように設定されているチャンネルは表示されません。詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「不要なチャンネルをとばす」または「不要なBSチャンネルをとばす」をご覧ください。

ご注意

BS放送の録画中に、本機で他のチャンネルを見ることはできません。地上波放送の録画中にBS放送を見ることはできます（☞73ページ）。

「年齢制限」画面が表示されたら（BS放送のみ）

暗証番号を入力する必要があります（☞89ページ）。

「有料番組」と表示されたら（BS放送のみ）

選んだ番組は有料番組です（☞86ページ）。

画質や音質を調整するには

「画質や音質を調整する」（☞82ページ）をご覧ください。

緊急放送の表示が出たときは（BS放送のみ）

149ページをご覧ください。

地上波放送を録画中にBS放送を見るには（BSモニター）

地上波放送を本機で録画しながら、BS放送を見ることができます。

1～12（Ⓓ）を押して、見たいBSチャンネルに切り換えてください。

BSチャンネルをダイレクトキーで選局する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの 1 ～ 12 （Ⓓ）を押して、見たい番組を表示する。

ちょっと一言

各ボタンの設定を変更するには、別冊の「接続と準備」編の「リモコンに好みのBSチャンネルを登録する（ダイレクト選局設定）」をご覧ください。

ご注意

BS放送の録画中に、本機で他のチャンネルを見ることはできません。地上波放送の録画中にBS放送を見ることはできます（☞73ページ）。

「年齢制限」画面が表示されたら

暗証番号を入力する必要があります（☞89ページ）。

「有料番組」と表示されたら

選んだ番組は有料番組です（☞86ページ）。

画質や音質を調整するには

「画質や音質を調整する」（☞82ページ）をご覧ください。

緊急放送の表示が出たときは

149ページをご覧ください。

BSチャンネルを3桁のチャンネル番号で選局する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」(☞2-2ページ)に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 [10キー](Ⓓ)と[1]～[10](Ⓓ)を押して、見たい番組のチャンネル番号を入力する。

[10キー]を押すと、画面右上に「BS---」と表示されます。「BS---」が消える前に[1]～[10]を押して、100の位から順に入力します。

「BS---」が消えた場合は、もう一度[10キー]を押して、チャンネル番号を入力してください。

3桁入力したあとに[12](確定)(Ⓓ)を押すと、入力が確定され、チャンネルが変わります。

ご注意

- BS放送の録画中に、本機で他のチャンネルを見ることはできません。地上波放送の録画中にBS放送を見ることはできます(☞73ページ)。
- [1]～[10]で入力したチャンネル番号がない場合、チャンネルは変わりません。

「年齢制限」画面が表示されたら

暗証番号を入力する必要があります(☞89ページ)。

「有料番組」と表示されたら

選んだ番組は有料番組です(☞86ページ)。

画質や音質を調整するには

「画質や音質を調整する」(☞82ページ)をご覧ください。

緊急放送の表示が出たときは

149ページをご覧ください。

キーワードやジャンルで検索して番組を探す

BS TV

キーワードやジャンルを使って、番組を簡単に探すことができます。
キーワードは登録語句の中から選んだり、その場で入力することができます。語句は、番組表から選び出して登録できます。
ジャンルは、大分類の中に中分類があります。

例：BSデジタル放送の場合

1 **放送の種類と時間帯の設定**
放送の種類と時間帯を選びます。タイトル検索では、これらの項目は表示されません。

2 **キーワード／ジャンル選択**
キーワードを使って検索するか、ジャンルを使って検索するかを選びます。5個すべてをキーワード、またはジャンルに設定することもできます。

3 **検索方法設定**
設定した検索条件のすべて一致、または部分一致で検索するかを設定します。

4 **ボタン**
検索開始：設定した検索条件で検索を開始します。
中止：検索を中止して元の画面に戻ります。設定した条件は保存されません。
全取消：設定した条件をすべて元に戻します。

5 **検索条件設定**
キーワード：キーワードを選びます。登録語句から選ぶか、入力します。設定しないこともできます。
ジャンル：大分類と中分類に分類されたジャンルを選びます。設定しないこともできます。

6 **操作ガイド**
画面で行う操作に使うボタンを表示します。

ちょっと一言
登録語句は、出荷時は設定されていません。よく使う語句は、先に登録することをおすすめします（☞80ページ）。

ご注意
- 番組表のデータを受信していないときは検索はできません。
- 番組表で非表示にしている放送局の番組は検索できません。

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」(☞2-2ページ) に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

キーワードを使った検索で、項目が一致する番組の一覧を見ることができます。
ここでは、例として「BSテレビ放送で夜8時に放送されるユニバーサルサッカー」の番組を検索してみます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 番組表(Ⓑ) を押して番組表を表示する。

地上波番組表が表示されたときは、BS(Ⓐ)を押して、BS番組表に切り換えます。
番組表について詳しくは、「番組表とは？」(☞14〜17ページ) をご覧ください。

例：BSデジタル放送の番組表

ちょっと一言

地上波放送の番組を検索するときは、地上(Ⓐ)を押して地上波番組表に切り換えます。

3 ツール(Ⓑ) を押す。

ツールが表示されます。

4 決定(Ⓑ) を↑/↓に動かして［番組検索］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「検索条件設定」画面が表示されます。

例：BSデジタル放送の番組表

5 決定を↑/↓に動かして「放送」(入力信号) を選び、決定の真ん中を押して決定する。

放送の設定の一覧が表示されます。

例：BSデジタル放送の番組表

検索をやめるには、［中止］を選びます。
設定項目をすべて元の状態に戻すには、［全取消］を選びます。

6 決定を↑/↓に動かして［BSテレビ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

例：BSデジタル放送の番組表

次のページにつづく

キーワードやジャンルで検索して番組を探す（つづき）

7 **を↑/↓に動かして「時間帯」を選び、の真ん中を押して決定する。**

時間帯の一覧が表示されます。

例：BSデジタル放送の番組表

8 **を↑/↓に動かして［夜 5:00PM- 0:00AM］を選び、の真ん中を押して決定する。**

例：BSデジタル放送の番組表

9 **を↑/↓に動かして［キーワード］または［ジャンル］を選び、の真ん中を押して決定する。**

ここでは、［キーワード］を選びます。
検索項目の一覧が表示されます。

例：BSデジタル放送の番組表

ジャンルを使って検索するには

［ジャンル］を選びます。
大ジャンルの一覧が表示されます。
中ジャンルがある項目を選んだ場合は、中ジャンルも表示されます。
を↑/↓に動かしてジャンルを選び、の真ん中を押します。続けて、手順11以降を行ってください。

10 **を↑/↓に動かして［ユニバーサルサッカー］を選び、の真ん中を押して決定する。**

例：BSデジタル放送の番組表

検索項目一覧にないときは

下記のいずれかを行います。

- 語句を入力して探す

1 **を↑/↓に動かして［文字入力］を選び、の真ん中を押して決定する。**

2 **「ユニバーサルサッカー」と入力する。**

文字の入力のしかたについては、「文字入力のしかた」（☞130ページ）をご覧ください。

- 登録語句から探す

1 **を↑/↓に動かして［登録語句］を選び、の真ん中を押して決定する。**

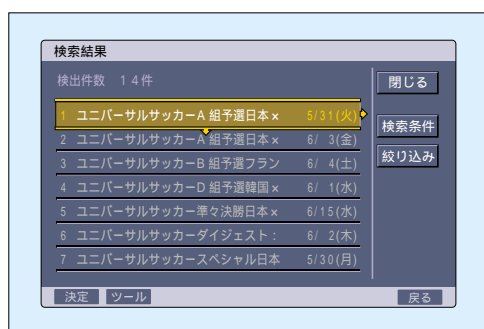
2 **を↑/↓に動かして［ユニバーサルサッカー］を選び、の真ん中を押して決定する。**

出荷時には、登録語句はありません。事前に登録しておくことをおすすめします（☞80ページ）。

11 **(決定)を↑/↓に動かして「検索方法」を選び、(決定)の真ん中を押して決定する。**

検索方法の一覧が表示されます。

12 **(決定)を↑/↓に動かして、検索方法を選び、(決定)の真ん中を押して決定する。**

13 **(決定)を↑/↓/←/→に動かして［検索開始］を選び、(決定)の真ん中を押して決定する。**

「検索結果」画面が表示されます。

14 **(決定)を↑/↓に動かして、検索結果から見たい番組を選び、(決定)の真ん中を押して決定する。**

サブメニューが表示されます。

15

番組を見るとき

(決定)を↑/↓に動かして［選局］を選び、(決定)の真ん中を押して決定する。

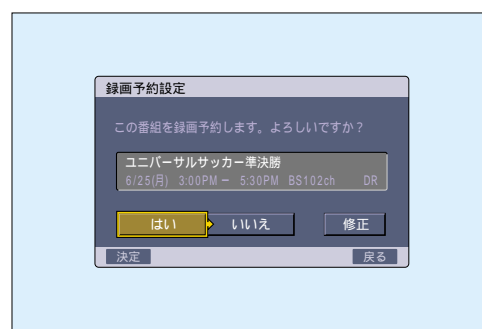
番組が表示されます。

ちょっと一言

放送が始まっていない番組や、放送が終了した番組を選んでも、選んだ番組のチャンネルが選局されます。

番組を録画／予約するとき

1 **(決定)を↑/↓に動かして［録画予約］を選び、(決定)の真ん中を押して決定する。**

「録画予約設定」画面が表示されます。

「年齢制限」と表示されたら（BS放送のみ）

選んだ番組は視聴年齢制限付きの番組です。録画するには、視聴年齢制限を解除する必要があります。（「視聴年齢制限を解除する」（☞89ページ））。視聴年齢制限を解除しない場合は、録画や予約はできません。

「有料番組」と表示されたら（BS放送のみ）

選んだ番組は有料です。録画するには番組を購入する必要があります（「有料番組を視聴／録画／予約する」（☞86ページ））。

購入しない場合は、録画や予約はできません。

2 **(決定)を←/→に動かして［はい］を選び、(決定)の真ん中を押す。**

「録画予約手続が完了しました」画面が表示されます。

選んだ番組が放送中の番組であれば、録画が始まります。

次のページにつづく

キーワードやジャンルで検索して番組を探す（つづき）

検索条件を変更するには

「検索結果」画面で、◎を➡に動かして［絞り込み］を選び、◎の真ん中を押して決定します。「キーワード」または「ジャンル」の検索項目を変更してから検索を実行します。（「キーワードやジャンルで検索して番組を探す」（☞76ページ）の手順9〜14を行います。）
「放送」（入力信号、BS放送のみ）や「時間帯」を変更して検索したいときは、［全取消］を選んで◎の真ん中を押して決定し、「キーワードやジャンルで検索して番組を探す」（☞76ページ）の手順5〜14を行います。

検索条件を確認するには

「検索結果」画面で、◎を➡に動かして［検索条件］を選び、◎の真ん中を押すと「検索設定確認」画面が表示されます。

検索条件を追加して検索するには

検索結果で検出したタイトルが多すぎる場合などのとき、検索条件を増やして検索し直すことができます。「検索結果」画面で、［絞り込み］を選ぶと「検索条件設定」画面が表示されます。条件を追加して検索します。

キーワードを登録する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

検索に使用するキーワードを登録します。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 番組表（Ⓑ）を押して番組表を表示し、登録したい語句を含む番組にカーソルを合わせる。

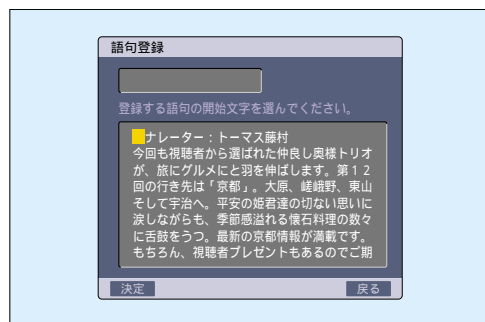
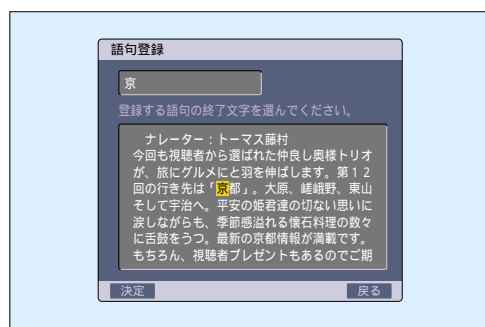
BSデジタル放送の番組表を見たいときはBS（Ⓐ）を、地上波放送の番組表を見たいときは地上（Ⓐ）を押します。
番組表について詳しくは、「番組表とは？」（☞14〜17ページ）をご覧ください。

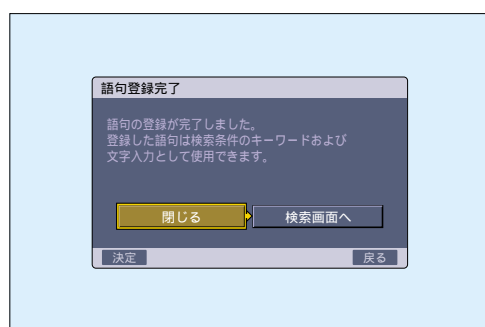
例：BSデジタル放送の番組表

3 決定（Ⓑ）の真ん中を押す。

サブメニューが表示されます。

4 **を↑/↓に動かして［語句登録］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「語句登録」画面が表示されます。

5 **を↑/↓に動かして、番組情報欄の中から、登録したいキーワードの始点を選び、の真ん中を押して決定する。**

6 **を↑/↓/←/→に動かして、登録したいキーワードの終点を選び、を押す。**

「語句登録完了」画面が表示されます。

7 **を←/→に動かして［閉じる］を選び、の真ん中を押す。**

ちょっと一言

［検索画面へ］を選ぶと、引き続き番組の検索を行うことができます。

キーワードを入力するには

1 **番組表（B）を押す。**

番組表が表示されます。

2 **ツール（B）を押す。**

ツールが表示されます。

3 **を↑/↓に動かして［番組検索］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「検索条件の設定」画面が表示されます

4 **を↑/↓に動かして［キーワード］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「ジャンル」のみが表示されている場合は、［ジャンル］を選び、の真ん中を押して［キーワード］を選んでの真ん中を押して決定します。

5 **を→に動かして、の真ん中を押して決定する。**

検索項目の一覧が表示されます。

6 **を↑/↓に動かして［文字入力］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「キーワード入力」画面が表示されます。

7 **新たに登録するキーワードを入力する。**

入力のしかたについて詳しくは、「文字入力のしかた」（☞130ページ）をご覧ください。

8 **を↑/↓/←/→に動かして［語句登録］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「語句を登録しました」と表示されます。

9 **を↑/↓に動かして［終了］を選び、の真ん中を押して決定する。**

キーワード登録が完了しました。

キーワードやジャンルで検索して番組を探す（つづき）

登録したキーワードで検索するには

1 「キーワードやジャンルで検索して番組を探す」（☞76ページ）の手順10で［登録語句］を選び、◎の真ん中を押して決定する。
「登録語句選択」画面が表示されます。

2 ◎を↑/↓/←/→に動かしてキーワードを選び、◎の真ん中を押して決定する。

3 「キーワードやジャンルで検索して番組を探す」の手順11〜14を行う。

ご注意

- 出荷時は、キーワードは登録されていません。
- 詳しい情報のない番組もあります。
- キーワードには、カナや漢字、全角や半角の違いがあります。例えば、「野球」というタイトルの番組を検索するとき、「やきゅう」（ひらがな）では検索されません。

画質や音質を調整する

操作に使用するボタンの位置について
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

放送中の地上波放送やBS放送、再生中のタイトル、DVDディスクを再生するときの画質や音質を調整します。

放送やディスク、実行中の操作などによって、調整できる項目は異なります。表中の○印が調整できる項目を表しています。

テレビや外部接続機器の番組を見ているときに調整できる項目

		地上波放送	BS放送	ライン入力	i.LINK*	DV入力
録画設定	録画DNR	○	×	○	×	○
画質設定	DNR	×	○	×	○	×
	シャープネス	○	○	○	○	○
オーディオ設定	オーディオフィルター	○	○	○	○	○

＊ BDレコーダーのみ

録画中に調整できる項目

		地上波放送	BS放送	ライン入力	i.LINK	DV入力
録画設定	録画DNR	×	×	×	×	×
画質設定	DNR	×	○	×	○	×
	シャープネス	○	○	○	○	○
オーディオ設定	オーディオフィルター	○	○	○	○	○

再生中に調整できる項目

		BD	DVD	CD
録画設定	録画DNR	×	×	×
画質設定	DNR	○	○	×
	シャープネス	○	○	×
オーディオ設定	オーディオフィルター	○	○	○

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **番組表などから放送中の番組を選ぶ。**
または、BDに録画したタイトルを再生したり、DVDやCDを再生する。

番組表の使いかたについて詳しくは、「番組表とは？」（☞14～17ページ）をご覧ください。
番組の再生のしかたについて詳しくは、「タイトルリストから再生する」（☞55ページ）をご覧ください。
DVD/CDの再生のしかたについて詳しくは、「DVD/CDを再生する」（☞121ページ）をご覧ください。

3 **画質または音質を調整したい番組やタイトルの再生中にツール（B）を押す。**

ツールが表示されます。

4 **決定（B）を↑/↓に動かして［録画設定］、［画質設定］、［オーディオ設定］のいずれかを選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「録画DNR」を設定するときは［録画設定］を、「DNR」または「シャープネス」を設定するときは［画質設定］を、「オーディオフィルター」を設定するときは［オーディオ設定］を選びます。
それぞれの設定画面が表示されます。

5 **決定を↑/↓に動かして調整したい項目を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

調整できる画質や音質は以下の通りです。

画質

録画DNR
録画時のノイズを低減する機能。

切	録画DNR機能を働かせない。
弱 ●標準 強	ノイズを減らしてクリアな画像で録画する。

DNR
再生時のノイズを低減する機能。

切	DNR機能を働かせない。
弱 ●標準 強	ノイズを減らしてクリアな画像で再生する。

シャープネス

●0 ～ 5	数字が小さいほど映像の輪郭が柔らかくなり、数字が大きくなるほど輪郭がくっきりする。

音質（再生のみ）

オーディオフィルター（デジタル出力では効果がありません。）

●シャープ	フラットな音質ではっきりとした音像定位が得られる。通常はこれを選ぶ。
スロー	雰囲気のあるあたたかい音が得られる。

● 出荷時の設定

6 **決定を←/→に動かして設定内容を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

設定が有効になります。

ちょっと一言
「セットアップ」の「シネマ変換モード」で、映像素材に合った再生方法を選ぶことができます。シネマ変換モードについて詳しくは、別冊の「接続と準備」編をご覧ください。

次のページにつづく

画質や音質を調整する（つづき）

ご注意

- 録画DNRを「強」に設定しても、もともとノイズの少ない画像には、DNRの効果は強くかかりません。
- 録画DNRは、BSデジタル放送をDRモードで録画したり、i.LINK接続した機器の映像を録画するときには効果がありません。
- オーディオフィルターは、ディスクまたは視聴条件によっては、効果がわかりにくいことがあります。

ゴーストリダクションを働かせるには

地上波放送を見ているときに、ゴースト（画面が2重3重になったり、縦線が見える現象）が起きた場合に、ゴーストリダクションを働かせます。

1 地上波放送を見ているときに、ツール（B）を押す。
ツールが表示されます。

2 を↑/↓に動かして［GR設定］を選び、の真ん中を押す。

3 を↑/↓に動かして［入］を選び、の真ん中を押して決定する。

ちょっと一言
ゴーストリダクションはチャンネルごとに設定できます。

ご注意

- ゴーストリダクションは、チャンネルを切り換えたあと数秒してから働き、強いゴーストから順に少なくしていきます。このとき、画像が一瞬またたくことがあります。また、電波が弱い場合は、ゴーストリダクションは通常よりも時間がかかる場合があります。
- アンテナの設置や調整のときは「ゴーストリダクション」を「切」にすると、ゴーストの少ない方向を確認できます。
- 次のときは効果が十分に出ないため、「ゴーストリダクション」を「切」にしてください。
  - ゴーストが強すぎるとき
  - ゴーストが同時に10波以上起きているとき
  - 飛行機に反射して起きるゴーストなど、一定でないゴーストのとき
  - 室内アンテナなどアンテナの設置や調整が適切に行われていないとき

二か国語放送の音声を選ぶ

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているA B C D Eのブロックを参照します。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。
本機からの映像が表示されます。

2 チャンネルを変えて、二か国語放送の番組を表示する。

3 音声切換（A）を押して音声を切り換える。
押すたびに次のように切り換わります。
主→副→主／副→主…

ご注意

「音声デジタル出力」の「AAC」の設定で、「AAC」を選んでいると、二か国語放送の音声を切り換えることができません。音声を切り換えるには、「PCM」に設定してください。
詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「デジタル音声を設定する」をご覧ください。

第2映像や第2音声、第2データなどを選ぶ（信号切換）

BS BD

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているA B C D Eのブロックを参照します。

BS放送またはBS放送を録画したタイトルを再生するときに、映像や音声、データの信号を設定できます。マルチビュー放送の場合は、ビューごとに音声、データの信号を設定できます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 番組表などから放送中の番組を選ぶ。または、BDに録画したタイトルを再生する。

番組表の使いかたについて詳しくは、「番組表とは？」（☞14～17ページ）をご覧ください。
タイトルの再生のしかたについて詳しくは、「タイトルリストから再生する」（☞55ページ）をご覧ください。

「暗証入力」と表示されたら

選んだ番組は視聴年齢制限付きの番組で、暗証番号を入力する必要があります（「視聴年齢制限を解除する」（☞89ページ））。視聴年齢制限を解除しない場合は、違う番組を選んでください。

「購入手続・番組購入」と表示されたら

選んだ番組は有料です。見るには番組を購入する必要があります（「有料番組を視聴／録画／予約する」（☞86ページ））。
購入しない場合は、違う番組を選んでください。

3 ツール（B）を押す。

ツールが表示されます。

4 決定（B）を↑/↓に動かして［信号切換］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「信号切換」画面が表示されます。

一度に表示しきれない場合は、▼が表示されます。

現在選ばれている項目には◉が付いています。
一度に表示しきれない場合は、▼が表示されます。決定を↓に動かして表示します。

5 決定を↑/↓/←/→に動かして、映像や音声、データの信号を選び、決定の真ん中を押す。

それぞれの信号は1つのみ選択できます。

決定の真ん中を押すと、●が◉に変わります。

有料信号には¥マークが付いています。カーソルで有料信号を選んでいる場合、画面下部にある「信号料金」に金額が表示されます。決定の真ん中を押して●が◉に変わると、この金額は、購入合計金額に加算されます。

次のページにつづく

第2映像や第2音声、第2データなどを選ぶ（信号切換）（つづき）

カーソルで有料信号を取り消しても、購入合計金額が変わらないときは

複数の信号をパックにしている場合、パックに含まれる有料信号を取り消しても、購入合計金額は変わりません。このような場合、すべての信号を取り消してから、再度録画したい信号を選び直し、［確定］を選んで決定します。購入概算金額を見るには「購入概算額を見る」（☞88ページ）をご覧ください。

6 **を↑/↓/←/→に動かして［確定］を選び、の真ん中を押す。**

選択した信号設定で番組を見ることができます。

ダイレクトキーを使って映像や音声を切り換えるには

映像切換（Ⓐ）や音声切換（Ⓐ）をくり返し押して、見ている番組の映像や音声を切り換えることができます。
画面右上に映像信号表示や音声信号表示が表示されます。

画質や音質を調整するには

見る番組の画質や音質を調整することができます。詳しくは、「画質や音質を調整する」（☞82ページ）をご覧ください。

有料番組を視聴／録画／予約する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

放送中の番組が有料番組の場合、「有料番組」と表示されます。購入すると番組を見たり、録画することができます。
有料番組は、購入しないと、見たり録画したりすることはできませんが、プレビュー（番組の一部を短時間表示すること）できる番組のときは、メッセージ画面の後ろでプレビューが表示されます。

プレビューについて

- 有料番組によって見られる回数、時間が異なります。プレビューが終了しても、購入手続きは引き続き行えます。
- プレビューを見たあと、購入しない場合は、違うチャンネルを選んでください。

有料番組を見る前に

- 必ず電話回線をつないでください。（別冊の「接続と準備」編の「準備4：電話回線をつなぐ」参照）
- BSデジタル用ICカード（B-CASカード）を本体のICカード挿入口に入れて、B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください。（別冊の「接続と準備」編の「準備9：BSデジタル用ICカード（B-CASカード）を入れて登録する」参照）
- 加入申し込みが別途必要になる放送局もあります。（別冊の「接続と準備」編の「準備10：各局に視聴を申し込む」参照）

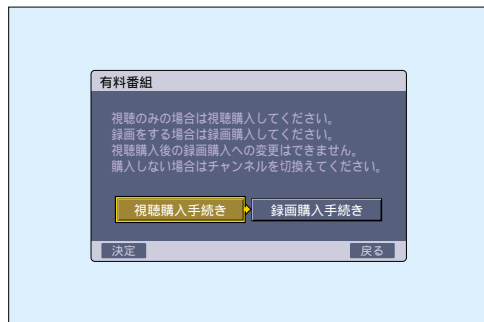
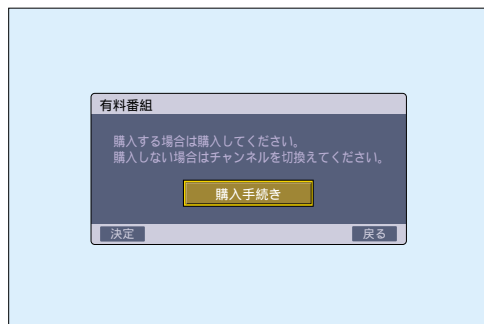
1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **番組表（Ⓑ）を押して番組表を表示し、有料番組を選ぶ。**

有料信号には¥マークが表示されています。

3 「有料番組」と表示されたら、(B)を←/→に動かして［視聴購入手続き］または［録画購入手続き］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「視聴購入手続き」と「録画購入手続き」がある場合、視聴のみのときは［視聴購入手続き］を、録画をするときは［録画購入手続き］を選びます。

「購入手続き」と表示されます。

購入しない場合は違うチャンネルを選んでください。

ご注意

一度視聴購入した場合、あとから録画購入に変更することはできません。録画する場合、あらかじめ録画購入を選んでおいてください。また、録画購入を選んでも自動的に録画されません。録画の手順に従って録画を行ってください。録画するには18ページを、予約録画するには36ページをご覧ください。

4 番組内容と番組の購入金額を確認し、［はい］を選んで決定の真ん中を押す。

「購入完了」と表示されます。

ちょっと一言

購入概算金額を見るには「購入概算額を見る」（☞88ページ）をご覧ください。

「ICカードのデータが一杯になったため購入できません　電話回線の設定を確認してからICカードを抜き差ししてください」と表示されたら

購入金額がカードの上限金額を超えています。
また、番組の購入可能件数を超えたときにもこの表示が出ます。電話回線をつないでください（別冊の「接続と準備」編の「準備4：電話回線をつなぐ」参照）。

「購入時間が過ぎているため購入できません」と表示されたら

番組によっては、購入可能時間が決まっているため購入できない場合があります。

録画防止機能について

本機は、録画防止機能（コピーガード）が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。
また、音声に関しても、本機のデジタル音声出力（OPTICALまたはCOAXIAL）端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。
また、本機は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社とその他の著作権利者が保有する米国特許、およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用にはマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部の視聴サービスでの使用に制限されています。本機を分解したり改造することは禁じられています。

追加信号について

番組によって、最大4種類の映像、最大8種類の音声から切り換えられます。追加したい情報を選んで番組を楽しめます。
これらの情報は「信号切換」画面で切り換えられます（☞85ページ）。
なお、¥マークの付いた映像、音声、データなどを選ぶと、選んだ分の追加料金が発生します。

ご注意

購入手続きの途中に他のチャンネルを選ぶと、購入は中止されます。この場合は、番組を選び直してからもう一度、「有料番組を視聴／録画／予約する」（☞86ページ）の操作を行ってください。

有料番組を視聴／録画／予約する（つづき）

購入概算額を見る

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

当月と1か月前に購入した有料番組や有料信号の概算額を確認することができます。正確な購入合計金額については、ご覧になっている各放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください（別冊の「接続と準備」編の「準備10：各局に視聴を申し込む」参照）。

ご注意

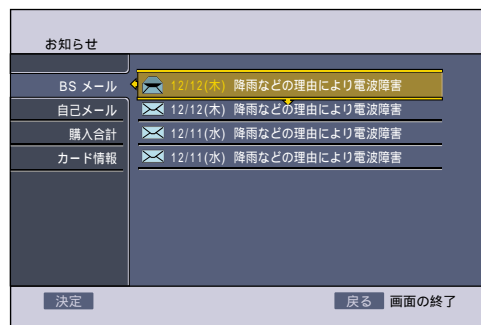
ペイ・パー・デイ（PPD）の月極契約では、概算金額と実際に請求される金額が大きく異なることがあります。概算金額では、見た日数分だけの合計金額が加算されます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 システムメニュー（Ⓑ）を押す。

システムメニュー画面が表示されます。

3 決定（Ⓑ）を↑/↓に動かして［お知らせ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「お知らせ」画面が表示されます。

4 決定を↑/↓に動かして［購入合計］を選ぶ。

先月と今月に購入した有料番組や有料信号の合計金額が表示されます。

「お知らせ」画面を消すには

戻る（Ⓑ）を押します。

視聴年齢制限を解除する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」(☞2-2ページ)に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

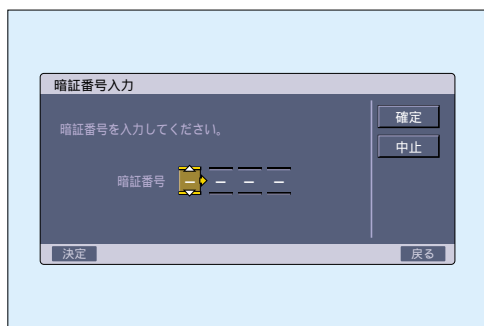
「セットアップ」画面で視聴年齢制限付き番組を見るための暗証番号を設定した場合(別冊の「接続と準備」編の「暗証番号を設定する」参照)、設定した視聴年齢制限に該当する番組を見たり、再生や録画をしようとすると「年齢制限」と表示されます。番組を見たり、録画するには暗証番号を入力して視聴年齢制限を解除します。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 視聴年齢制限付きの番組を再生したり、番組表から選ぶ。

3 「視聴年齢制限番組」と表示されたら、[暗証入力手続き]を選び、決定(Ⓑ)の真ん中を押す。

「暗証番号入力」画面が表示されます。

視聴年齢制限を解除しない場合は、[中止]を選んでください。

4 1〜10(Ⓓ)を押して、4桁の暗証番号を入力する。

1〜10を使って入力すると、画面上に＊が表示され、カーソルが右に移動します。次の数字を入力します。

5 4桁入力したら、決定を↑/↓/←/→に動かして[確定]を選び、決定の真ん中を押して決定する。

暗証番号を確認するメッセージが表示されます。

番号を間違えたときは、決定を←に動かすと、入力した数字が消去されます。

ちょっと一言

- 決定で暗証番号を入力することもできます。決定を↑/↓に動かして数字を選び、決定を→に動かして次の桁を選びます。
- 録画後は暗証番号を入力しなくても視聴できます。

6 引き続いて、視聴したり、録画や予約の準備を行う。

ご注意

- 決定で数字を入力したあとに1〜10を使うと、決定を使って入力した数字は1〜10で入力した数字に変わります。
- 暗証番号は、必ず順番に入力してください。入力欄を空欄のまま、次の数字を入力することはできません。
- 暗証番号の設定のしかたについて詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「暗証番号を設定する」をご覧ください。
- 暗証番号を忘れたときは、初期設定で出荷時の状態に戻してから設定し直してください(別冊の「接続と準備」編参照)。

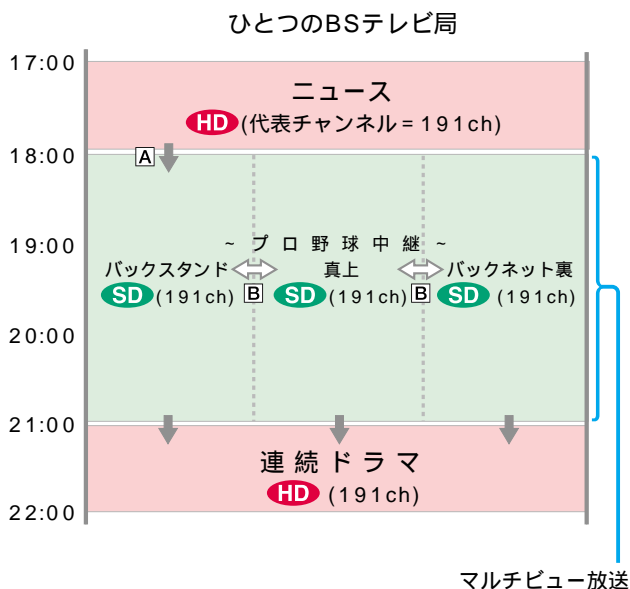
マルチビュー放送を見る（映像切換）

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

マルチビュー放送とは、最多で3つの映像を同じチャンネルで楽しむことができる放送です。それぞれの映像を、映像切換（Ⓐ）で切り換えて見ることができます。

マルチビュー放送が始まると、画面右上にMV（マルチビュー）マークが表示されます。

例：プロ野球中継で、3方向（バックネット裏、真上、バックスタンド）からの画面を切り換えて見る

Ⓐ マルチビュー放送開始
…主画面へ自動的に移行します。

Ⓑ マルチビュー放送中の選局
…映像切換 で切り換えます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 番組表などからマルチビュー放送を行っている番組を選ぶ。または、BDに録画したマルチビュー放送の番組を再生する。

番組表の使いかたについて詳しくは、「番組表とは？」（☞14～17ページ）をご覧ください。

番組の再生のしかたについて詳しくは、「タイトルリストから再生する」（☞55ページ）をご覧ください。

「暗証入力」と表示されたら

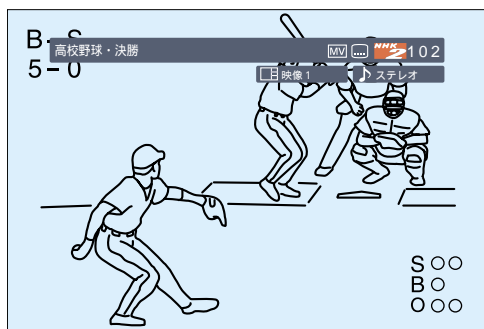
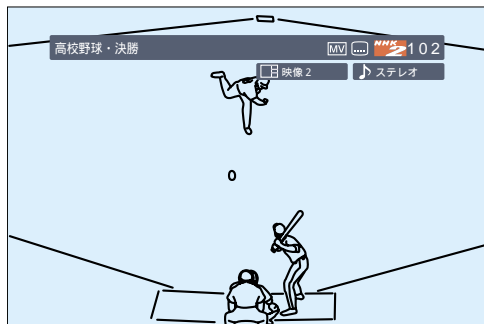
選んだ番組は視聴年齢制限付きの番組で、暗証番号を入力する必要があります（「視聴年齢制限を解除する」（☞89ページ））。視聴年齢制限を解除しない場合は、違う番組を選んでください。

「購入手続・番組購入」と表示されたら

選んだ番組は有料です。見るには番組を購入する必要があります（「有料番組を視聴／録画／予約する」（☞86ページ））。

購入しない場合は、違う番組を選んでください。

3 映像切換 ◯をくり返し押して、見たい映像を選ぶ。

画面右上に映像信号表示が表示されます。

番組情報や時間情報を表示するには

画面表示 ◯（A）や時間表示 ◯（A）をくり返し押して、番組情報や時間情報を表示することができます。詳しくは、「画面表示について」（☞54ページ）をご覧ください。

字幕を切り換えるには

ツールを使ったり、字幕切換 ◯（A）をくり返し押して、字幕を切り換えることができます。詳しくは、「字幕放送を見る」（☞92ページ）をご覧ください。

音声やデータの信号を切り換えるには

音声切換 ◯（A）を使うか、ツールを使って、音声やデータの信号を切り換えることができます。詳しくは、「第2映像や第2音声、第2データなどを選ぶ（信号切換）」（☞85ページ）をご覧ください。

3つの映像を同時に見る（マルチビュー画面）

操作に使用するボタンの位置について

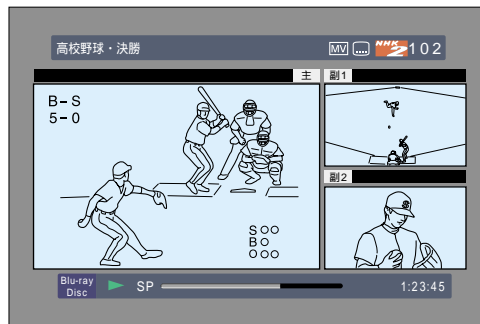
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているA B C D Eのブロックを参照します。

1 マルチビュー放送の番組を表示中にツール◯（B）を押す。

ツールが表示されます。

2 決定（B）を↑/↓に動かして［マルチビュー］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

見ていた映像が大画面に表示され、その他の2つの映像が小画面に表示されます。大画面に表示されている映像の音声を聞くことができます。

映像切換 ◯（A）をくり返し押して、大画面に表示する映像を切り換えることができます。

ご注意

次の場合は1画面表示になります。

- マルチビュー放送が終了した場合
- 違うチャンネルを選んだ場合
- 再生した場合
- 番組が切り換わった場合

次のページにつづく

マルチビュー放送を見る（映像切換）（つづき）

番組情報や時間情報を表示するには

画面表示（A）や時間表示（A）をくり返し押して、大画面に表示されている映像の番組情報や時間情報を表示することができます。詳しくは、「画面表示について」（☞54ページ）をご覧ください。

ご注意

- マルチビュー画面を表示中に画面表示を押しても、音声情報は表示されません。
- 録画中は、映像、音声を切り換えることはできません。

音声を切り換えるには

ツールを使って、大画面に表示されている映像の音声を切り換えることができます。詳しくは、「第2映像や第2音声、第2データなどを選ぶ（信号切換）」（☞85ページ）をご覧ください。

録画するには

録画（D）を押して、映像を録画することができます。

ご注意

マルチビューの3画面すべてを録画するには、DRモードで録画してください。HR、SRまたはLRモードで録画すると、大画面に表示されている映像のみ録画されます。

マルチビュー画面をやめるには

ツールを押して、ツールの中から［標準画面に戻す］を選び、の真ん中を押して決定します。

画面分割機能について

本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、2画面分割機能などを利用して、画面の分割表示や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

字幕放送を見る

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているA B C D Eのブロックを参照します。

字幕放送は最大で2言語の放送が行われます。
出荷時は、「切」に設定されています。
放送中の字幕放送を見るとき、またはBDに録画した字幕放送を見るときに、字幕切換ボタンを使って、字幕の言語を切り換えることができます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 番組表などから放送中の番組を選ぶ。または、BDに録画したタイトルを再生する。

番組表の使いかたについて詳しくは、「番組表とは？」（☞14～17ページ）をご覧ください。
タイトルの再生のしかたについて詳しくは、「タイトルリストから再生する」（☞55ページ）をご覧ください。

「暗証入力」と表示されたら
選んだ番組は視聴年齢制限付きの番組で、暗証番号を入力する必要があります（「視聴年齢制限を解除する」（☞89ページ））。視聴年齢制限を解除しない場合は、違う番組を選んでください。

「購入手続・番組購入」と表示されたら
選んだ番組は有料です。見るには番組を購入する必要があります（「有料番組を視聴／録画／予約する」（☞86ページ））。
購入しない場合は、違う番組を選んでください。

3 字幕切換（A）を押す。
押すたびに次のように字幕が切り換わります。
切→第1言語→第2言語*→切…

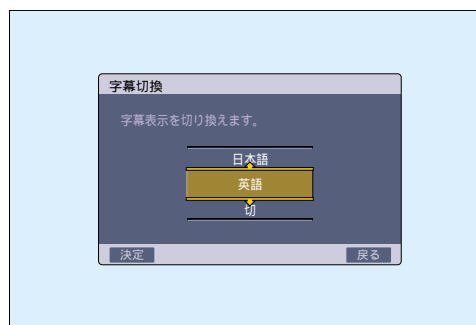
* 第2言語まである場合

ちょっと一言
字幕放送番組受信中、または字幕放送タイトル再生中のみ、字幕を切り換えることができます。

字幕を切り換える

操作に使用するボタンの位置について
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているA B C D Eのブロックを参照します。

1 番組を表示するかBDに録画したタイトルを再生し、ツール（B）を押す。
ツールが表示されます。

2 決定（B）を↑/↓に動かして［字幕切換］を選び、決定の真ん中を押して決定する。
「字幕切換」画面が表示されます。

3 決定を↑/↓に動かして言語を選び、決定の真ん中を押して決定する。
番組の言語が切り換わります。
字幕の表示を消すには、「切」を選びます。

ちょっと一言
字幕放送番組受信中、または字幕放送タイトル再生中のみ、字幕を切り換えることができます。

ご注意
- 「字幕切換」画面で言語を切り換えても、「セットアップ」画面での文字スーパーの設定は変わりません。
- 放送局側で字幕を消せない設定にしている番組の場合は、字幕を消すことができません。
- 地上波の字幕放送には対応していません。

BSラジオやBS独立データ放送を視聴する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

BSラジオには、静止画映像や連動したデータ（「BSテレビなどと連動しているデータ放送を見る」（☞96ページ））を楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があります。
また、BS独立データ放送では、画面に表示される目次の中から欲しい情報を選んだり、お住まいの地域を設定し（別冊の「接続と準備」編の「地域番号を設定する」参照）、地域ごとに特有のニュースなどを受信できます。

ここでは番組表を使ってチャンネルを変える方法を説明します。
番組表を使わないでチャンネルを変える方法については、「チャンネル＋/－ボタンで選局する」（☞73ページ）、「BSチャンネルをダイレクトキーで選局する」（☞74ページ）、「BSチャンネルを3桁のチャンネル番号で選局する」（☞75ページ）をご覧ください。

ご注意

- あらかじめ電話回線の接続と準備を行ってください。視聴者参加型の番組に参加できなかったり、情報を選べなかったりする場合があります。
- BSデータ番組では、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合があります。この場合、電話回線の通話料がかかります。
- リモコンのボタンは、BSデータ番組で使うときだけ機能が変わる場合があります。この場合の操作については、テレビ画面に表示されるBSデータ番組の指示に従ってください。
- BSデータ番組では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 番組表（Ⓑ）を押して番組表を表示し、視聴したい番組にカーソルを合わせる。

地上波番組表が表示されたときは、

BS（Ⓐ）を押して、BS番組表に切り換えます。
番組表について詳しくは、「番組表とは？」（☞14～17ページ）をご覧ください。

3 決定（Ⓑ）の真ん中を押す。

サブメニューが表示されます。

4 決定を↑/↓に動かして［選局］を選び、決定を押して決定する。

視聴したい番組が表示されます。

画面表示に時間がかかることがあります。

「年齢制限」画面が表示されたら

暗証番号を入力する必要があります（☞89ページ）。

「有料番組」と表示されたら

選んだ番組は有料番組です（☞86ページ）。

チャンネル＋/－ボタンで選局する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **BS（Ⓐ）を押してから、＋/－（Ⓐ）を押してチャンネルを選び、視聴したい番組を探す。**

画面表示に時間がかかることがあります。

ちょっと一言

BSを押すたびにチャンネルは次のように切り換わります。

BSテレビ→BSラジオ→BSデータ→BSテレビ

ご注意

「セットアップ」画面で映らないように設定されているチャンネルは表示されません。詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「不要なチャンネルをとばす」をご覧ください。

「年齢制限」画面が表示されたら

暗証番号を入力する必要があります（☞89ページ）。

「有料番組」と表示されたら

選んだ番組は有料番組です（☞86ページ）。

3桁のチャンネル番号で選局する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **10キー（Ⓓ）と1～10（Ⓓ）を押して、視聴したい番組のチャンネル番号を入力する。**

10キーを押すと、画面右上に「BS---」と表示されます。「BS---」が消える前に1～10を押して、100の位から順に入力します。

「BS---」が消えた場合は、もう一度10キーを押して、チャンネル番号を入力してください。

3桁入力したあとに12（確定）（Ⓓ）を押すと、入力が確定され、チャンネルが変わります。

画面表示に時間がかかることがあります。

ご注意

1～10で入力したチャンネル番号がない場合、チャンネルは変わりません。

BSデジタルの機能

BSラジオやBS独立データ放送を視聴する（つづき）

「年齢制限」画面が表示されたら

暗証番号を入力する必要があります（☞89ページ）。

「有料番組」と表示されたら

選んだ番組は有料番組です（☞86ページ）。

BSテレビなどと連動しているデータ放送を見る

BS

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

BSテレビやBSラジオの番組を視聴したり、BSテレビをDRモードで録画したBDを再生する場合、番組に連動しているBSデータを見ることができます。
BSテレビやBSラジオの番組と連動してBSデータを放送しているかどうかは番組によって異なります。
BSデータを見るだけでなく、視聴者がリモコンのボタンを使って番組に参加できる番組もあります。

ご注意

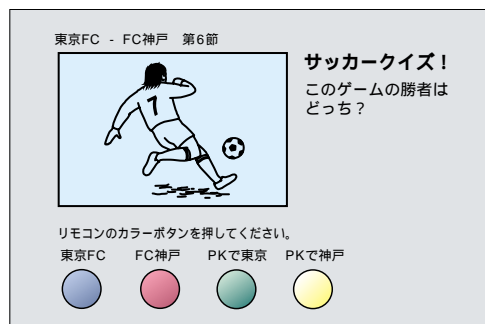
- あらかじめ電話回線の接続と準備を行ってください。視聴者参加型の番組に参加できなかったり、情報を選べなかったりする場合があります。
- BSテレビやBSラジオに連動しているBSデータでは、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合があります。その場合は、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様負担となります。
- 番組によっては、BSテレビやBSラジオに連動しているBSデータが自動的に画面に表示されることがあります。
- リモコンのボタンは、番組連動データで使うときに機能が変わる場合があります。この場合の操作については、テレビ画面に表示される番組連動データの指示に従ってください。
- 番組連動データでは、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
- 番組を再生しているときは、視聴者参加型の番組に参加できなかったり、情報を選べなかったりする場合があります。
- DRモードを選んで録画した場合でも、番組に連動したBSデータがない場合は、BSデータを見ることはできません。
- 番組連動データが、連動元のBSテレビやBSラジオ番組と別のチャンネルに変わる場合があります。その場合、連動元の番組を録画しても、番組連動データは一緒に録画されません。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **BS放送やBSラジオの番組を選ぶ。**
またはBDに録画した連動データを含むタイトルを再生する。

3 d（連動データ）（A）**を押す。**

番組と連動したBSデータの放送中は、そのBSデータの画面が表示されます。
表示に時間がかかる場合があります。

4 **画面の指示に従ってリモコンを操作する**

BSデータ番組の指示に従って、次のボタンを使ってください。

- 決定（B）（選んで決定するときなど）
- 戻る（B）（戻る）
- 1～10（D）（数字を入力するときなど）
- ／／／（D）（カラーボタン）

連動しているBSデータ画面を消すには

BSデータ画面は次の場合に消えます。
– 画面上の「終了」操作を行った場合
– d（連動データ）を押した場合（番組によっては、消えないこともあります。）
– 番組表やタイトルリストなどを表示した場合
– 違うチャンネルを選んだ場合
– 再生を停止した場合
– 連動するBSデータがなくなった場合

ご注意

番組を再生中に連動しているBSデータの画面を表示した場合、番組の再生速度を変えることはできません。

放送局や本機からのメールを見る

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」(☞2-2ページ)に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

放送局から送信されるお知らせ(BSメール)や、本機からのお知らせ(自己メール)を見ることができます。
新しいメールや未読のメールがあるときは、本機前面の表示窓に✉が表示されます。

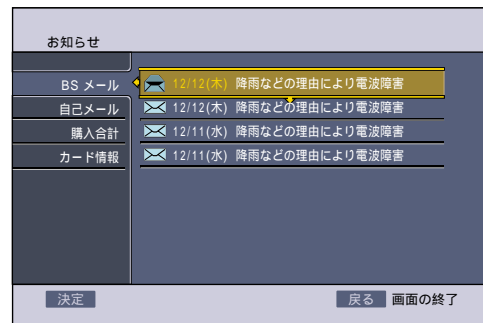
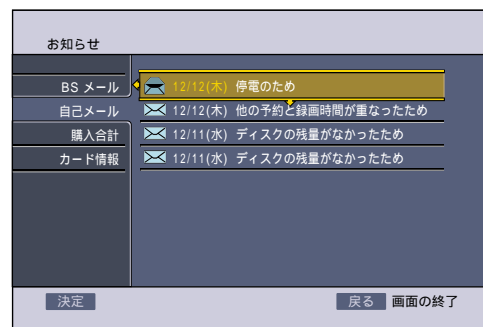
1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 システムメニュー(Ⓑ)を押す。

システムメニュー画面が表示されます。

3 決定(Ⓑ)を↑/↓に動かして[お知らせ]を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「お知らせ」画面が表示されます。
メールは日付が新しい順に表示されます。

4 決定を↑/↓に動かして[BSメール]または[自己メール]を選び、決定の真ん中を押して決定する。

5 決定を↑/↓に動かして見たいメールを選び、決定の真ん中を押して決定する。

「メール詳細情報」画面が表示されます。

一度詳細表示したメールは既読になり、✉が表示されます。

ご注意

- 保存されるメッセージは、BSメールが最大10通、自己メールが最大30通です。
- メールが最大保存数を超えると、既読または未読に関係なく、日付の古いメールから順に消去され、新しいメールが追加されます。
- メールを受け取った日付から14日が過ぎると、既読または未読に関係なく、メールは消去されます（BSメールのみ）。
- メールはお客様自身で消去することはできません。
- メールを送信したり、返信したりすることはできません。

「お知らせ」画面を消すには

戻る（B）を押します。

ICカードの情報を見る

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているＡＢＣＤＥのブロックを参照します。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 システムメニュー（B）を押す。

システムメニュー画面が表示されます。

3 決定（B）を↑/↓に動かして［お知らせ］を選び、決定の真ん中を押す。

「お知らせ」画面が表示されます。

4 決定を↑/↓に動かして［カード情報］を選ぶ。

カードについての情報が表示されます。

「お知らせ」画面を消すには

戻る（B）を押します。

BSデジタルの機能

BDを管理する

BDの残量を確認する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

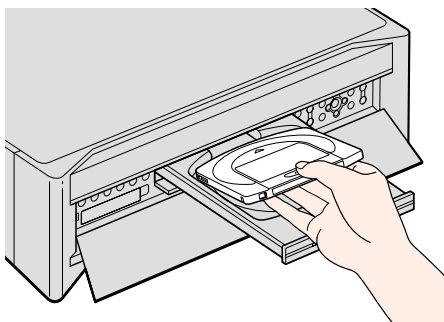
本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。**

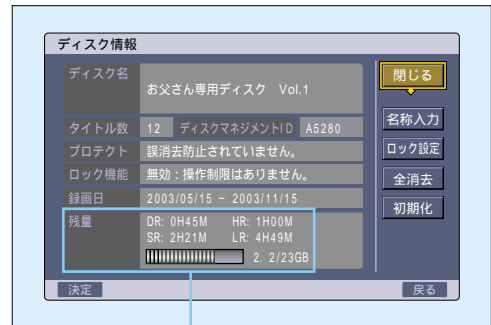
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。**

5 **ツール（Ⓑ）を押す。**

ツールが表示されます。

6 **決定（Ⓑ）を▲/▼に動かして［ディスク情報］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「ディスク情報」画面が表示されます。

7 **決定を▲/▼に動かして［閉じる］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「ディスク情報」画面が消えます。

ご注意

「ディスク情報」画面に表示される「ディスク残量」は目安で、実際の残量と異なる場合があります。

BDに名前を付ける

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」(☞2-2ページ)に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

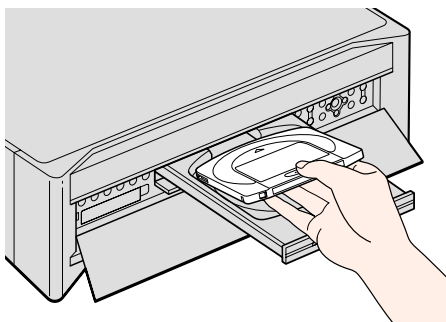
本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開／閉(Ⓐ)を押す。**

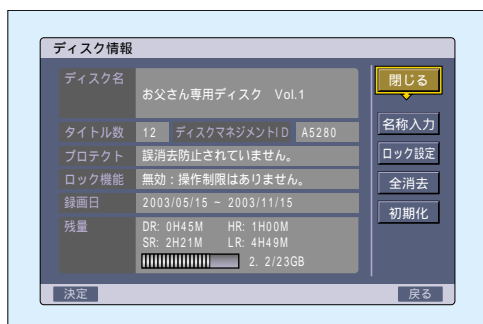
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。**

5 **ツール(Ⓑ)を押す。**

ツールが表示されます。

6 **決定(Ⓑ)を↑/↓に動かして[ディスク情報]を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「ディスク情報」画面が表示されます。

7 **決定を↑/↓に動かして[名称入力]を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「ディスク名入力」画面が表示されます。

8 **ディスク名を入力する。**

入力のしかたについて詳しくは、「文字入力のしかた」(☞130ページ)をご覧ください。

9 **決定を↑/↓/←/→に動かして[終了]を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

文字入力が終了し、「ディスク情報」画面に戻ります。

10 **決定を↑/↓に動かして[閉じる]を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「ディスク情報」画面が消えます。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら

誤消去防止つまみが開いています(☞165ページ)。

BDをロックする

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

BD1枚1枚に暗証番号を設定し、暗証番号を入力しないとBDを使用できないようにすることができます。

ちょっと一言

視聴年齢制限の暗証番号とは別に設定されます。

ご注意

暗証番号を忘れると、そのBDは使用できなくなります。
BDを再び使用できるようにするためには、ソニーサービス窓口対応になります。なお、ソニーサービス対応の場合は、そのBDの内容はすべて消去されることをご了承ください。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

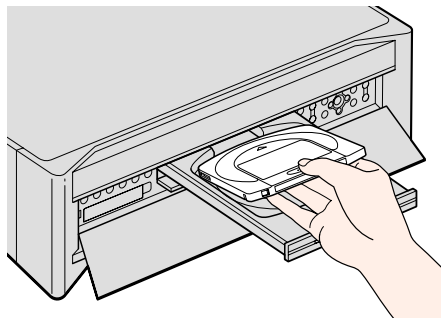
本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。

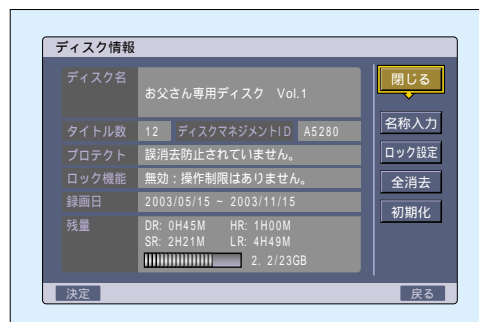
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

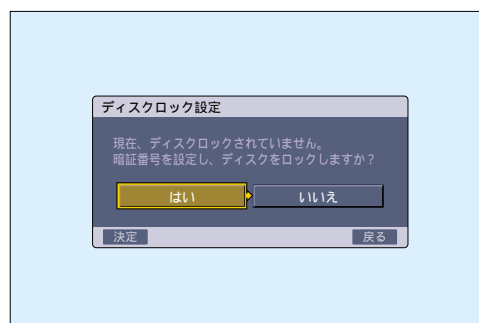
3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。

5 ツール（Ⓑ）を押す。

ツールが表示されます。

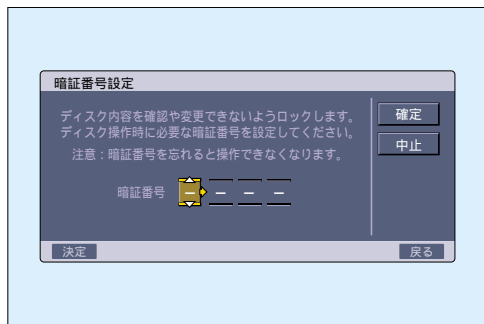
6 決定（Ⓑ）を↑/↓に動かして［ディスク情報］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「ディスク情報」画面が表示されます。

7 決定を↑/↓に動かして［ロック設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「ディスクロック設定」画面が表示されます。

ちょっと一言

ディスクロックが設定されているディスクは、本機に入れると「暗証番号を入力してください」と表示されます。暗証番号を入力してから、決定を←/→に動かして［確定］を選び、決定の真ん中を押して決定すると、ロックが解除されます。

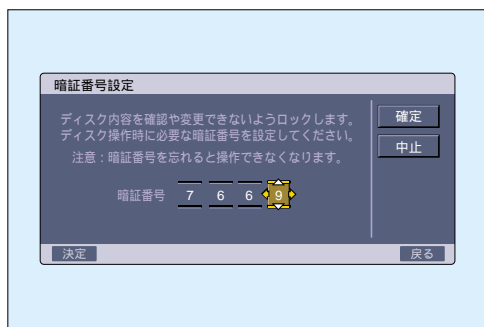
8 決定を←/→に動かして［はい］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「暗証番号設定」画面が表示されます。

9 暗証番号を入力する。

- **決定を使う**

  ↑/↓に動かして数字を選び、→に動かしてカーソルを次の桁に移動させます。

- **1～10（D）を使う**

  1～10を押すと画面上に数字が表示され、カーソルが次の桁に移動します。続けて数字を入力します。

10 決定を←/→に動かして［確定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

確認画面が表示されてから、「ディスク情報」画面に戻ります。

11 決定を↑/↓に動かして［閉じる］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「ディスク情報」画面が消えます。

12 開／閉 ⏏ を押して、BDを取り出す。

BDにロックがかかります。

ロックが設定されているBDを使うには

1 ロック設定がされたBDを本機に入れるか、本機に入っている状態で電源を入れる。

「暗証番号入力」画面が表示されます。

2 「BDをロックする」の手順9～10にしたがって、暗証番号を入力する。

確認画面が表示され、操作ができるようになります。

BDを取り出すと、再びロックがかかります。

ちょっと一言

一度ロックが解除されれば、電源の入／切に関係なく、BDを出すまで解除されたままになります。

ロックを完全に解除するには

ロック設定をする前の状態に戻すには、下記のように操作してください。

1 ロック設定がされたBDを本機に入れるか、本機に入っている状態で電源を入れる。

「暗証番号入力」画面が表示されます。

2 「BDをロックする」の手順9～10にしたがって、暗証番号を入力する。

確認画面が表示され、ロックが解除され、操作ができるようになります。

3 「BDをロックする」の手順5～6にしたがって、「ディスクロック設定」画面を表示する。

4 「ディスクロック設定」画面で、決定を←/→に動かして［はい］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

ロックが完全に解除されます。

BDのタイトルをすべて消す

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

BDに記録されているタイトルを一度にすべて消去できます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

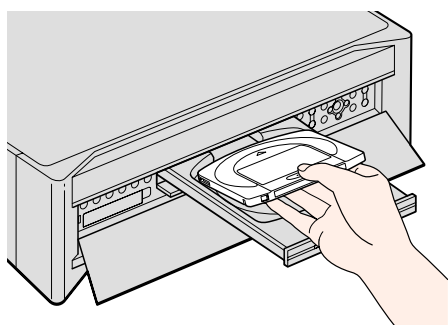
本機からの映像が表示されます。

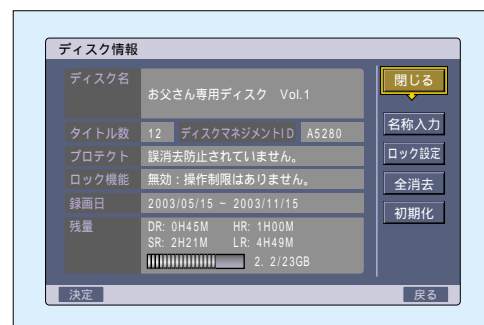
2 リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。

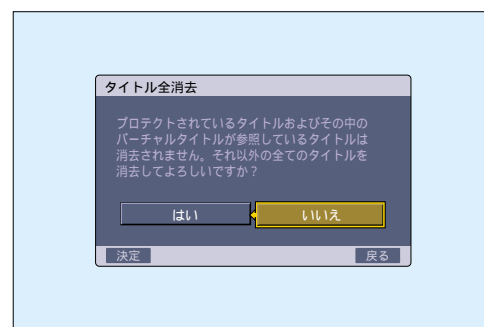
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。

5 ツール（Ⓑ）を押す。

ツールが表示されます。

6 決定（Ⓑ）を↑/↓に動かして［ディスク情報］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「ディスク情報」画面が表示されます。

7 決定を↑/↓に動かして、［全消去］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

確認画面が表示されます。

ご注意

誤消去防止つまみをずらして孔が開いた状態にしていると、「ディスクが誤消去防止状態です」と表示され、消去できません。

8 決定を←/→に動かして［はい］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

すべてのタイトルが消去されます。

9 決定を↑/↓に動かして［閉じる］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「ディスク情報」画面が消えます。

BDをフォーマット（初期化）する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

BDに書き込まれた情報を消去して、購入時の状態に戻します。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開/閉（Ⓐ）を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度開/閉を押して、トレイを閉じる。**

5 **ツール（Ⓑ）を押す。**

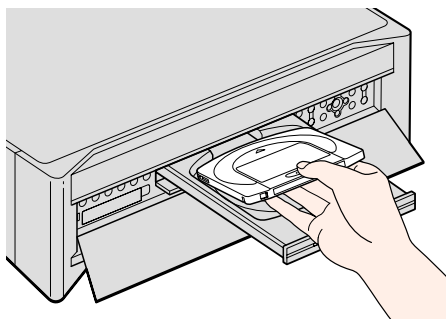
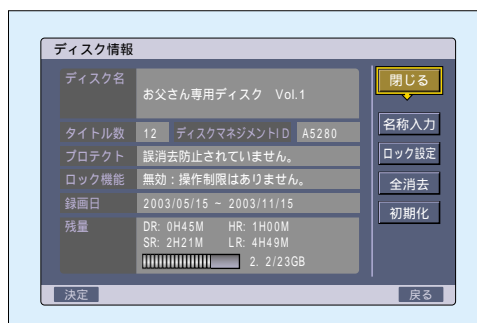
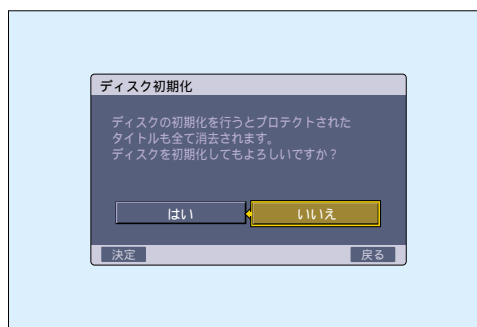
ツールが表示されます。

6 **決定（Ⓑ）を↑/↓に動かして［ディスク情報］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「ディスク情報」画面が表示されます。

7 **決定を↑/↓に動かして、［初期化］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

確認画面が表示されます。

ご注意

誤消去防止つまみをずらして孔が開いた状態にしていると、「ディスクが誤消去防止状態です」と表示され、消去できません。

8 **決定を←/→に動かして［はい］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

数十秒でフォーマットが終了します。

9 **決定を↑/↓に動かして［閉じる］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「ディスク情報」画面が消えます。

ご注意

- フォーマットすると、消去プロテクトしている番組も消去されます。
- 本機以外の機器で録画、編集したBDは、フォーマットできないことがあります。

再生を止めたところから再生する（リジューム再生）

BD DVD CD

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

再生を止めたあと、その続きから再生できます。

1 **ディスクの再生中、■（Ⓒ）を押して再生を止める。**

2 **▶（Ⓒ）を押す。**

手順1で再生を止めたところ（リジュームポイント）から再生が始まります。

ちょっと一言

リジュームポイントは、BDの場合のみ1タイトルに1個記録されます。

ご注意

- 再生を止めたところによっては、リジューム再生の始まりがずれることがあります。
- リジューム再生が始まるまで、しばらく時間がかかることがあります。
- 次の場合、リジューム再生はできなくなります。
  - トレイを開けたとき（DVD、CDのみ）
  - 編集（結合、分割、消去、A−B消去）を行ったとき（BDのみ）
  - DVD関連の設定を変更したとき
  - タイトルの終わりまで再生したとき

タイトルの頭から再生するには

ツールの［頭出し再生］を選びます。

BDのタイトルリスト（オリジナルタイトル／バーチャルタイトル）を編集する

BD

編集する前に

ここでは、編集するときに必要な情報について説明します。
BDのタイトルには、オリジナルタイトルとバーチャルタイトルの2種類があります。

オリジナルタイトルとは

実際に録画した映像・音声です。オリジナルタイトルを消去すると、ディスクの空き容量が増えます。

バーチャルタイトルとは

実際に録画した映像・音声（オリジナルタイトル）から編集して作るタイトルです。オリジナルタイトルはそのままの状態で残し、再生順などをコントロールするための情報だけを記録します。そのため、バーチャルタイトルを消去してもオリジナルの映像・音声はなくならず、少ないディスクスペースで編集を楽しむことができます。

バーチャルタイトルには が付きます。

バーチャルタイトル

バーチャルタイトルを作る

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

バーチャルタイトルを作成します。バーチャルタイトルは、オリジナルタイトルと同様に編集することができます。

ご注意

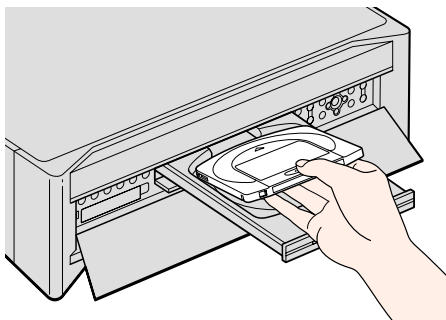
バーチャルタイトルを作ると、バーチャルタイトルを消去するまで、元となったオリジナルタイトルを消去できません。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの［開／閉］（Ⓐ）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度［開／閉］を押して、トレイを閉じる。

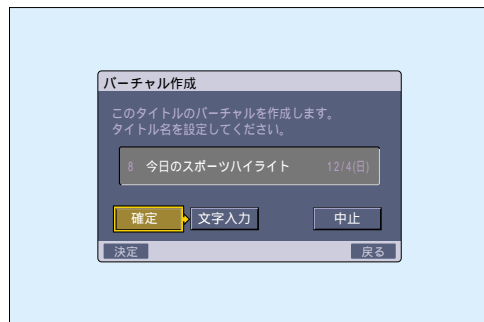
5 ［タイトルリスト］（Ⓑ）を押す。

カーソルモードでタイトルリストが表示されます。

6 ［決定］（Ⓑ）を↑/↓に動かしてバーチャルタイトルをつくりたいタイトルを選び、［決定］の真ん中を押して決定する。

サブメニューが表示されます。

7 ［決定］を↑/↓に動かして［バーチャル作成］を選び、［決定］の真ん中を押して決定する。

「バーチャルタイトル作成」画面が表示されます。

8 ［決定］を←/→に動かして［確定］を選び、［決定］の真ん中を押して決定する。

選んだタイトルのバーチャルタイトルが作成されます。

作成したバーチャルタイトルを編集するには、「BDの各タイトルを編集する」（☞113ページ）をご覧ください。

タイトルを消去する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

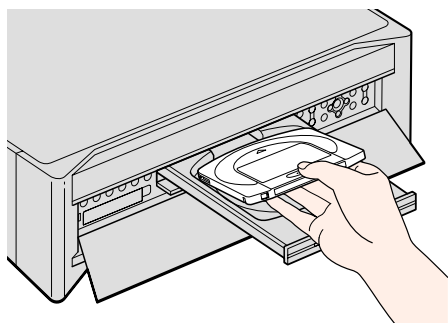
不要なタイトルを消去することができます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

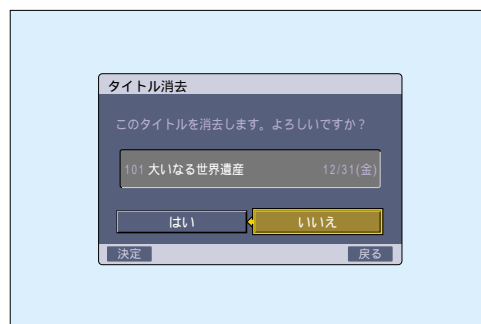
3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。

5 タイトルリストでタイトルを選んでから決定（Ⓑ）の真ん中を押して決定する。

サブメニューが表示されます。

タイトルリストの表示のしかたについて詳しくは、「タイトルリストから再生する」（☞55ページ）をご覧ください。

6 決定を▲/▼に動かして［タイトル消去］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「タイトル消去」画面が表示されます。

「以下のバーチャルタイトルが参照しているためできません。」と表示されたら

消去しようとしているオリジナルタイトルはバーチャルタイトルから参照されています。

このタイトルを消去するには、バーチャルタイトルを先に消去する必要があります。

ちょっと一言

- 再生中、または再生一時停止中にもサブメニューを表示し、タイトルを消去することができます。
- 録画中にタイトルは消去できません。

7 決定を◀/▶に動かして［はい］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

タイトルリストに戻ります。

消去をやめるときは［いいえ］を選びます。

複数のタイトルを一度に消去するには

1 **タイトルリストを表示しているときにツール(B)を押してツールを表示する。**

2 **を↑/↓に動かして［タイトル選択消去］を選ぶ。**

3 **を↑/↓に動かして、消去したいタイトルを選び、の真ん中を押して決定する。**
タイトルの横に☑が表示されます。
もう一度の真ん中を押すと、選択が取り消されます。

4 **手順3を繰り返し行って、消去したいタイトルを選ぶ。**

5 **を動かして［確定］を選び、の真ん中を押して決定する。**
確認画面が表示されます。

6 **を←/→に動かして［はい］を選び、の真ん中を押して決定する。**
選んだタイトルが消去され、タイトルリストに戻ります。
選び直すときは、［いいえ］を選びます。

ちょっと一言
- 「タイトル選択消去」画面で［選択解除］を選ぶと、選んだすべてのタイトルの選択が取り消されます。
- 「タイトル選択消去」画面で［消去一覧］を選ぶと、選択されたタイトルの一覧が表示されます。
- タイトルを選んでから、の真ん中を押してサブメニューを表示し、サブメニューの中から［タイトル詳細］を選ぶと、タイトルの詳細画面を表示することができます。

ご注意
- 録画中にタイトルは消去できません。
- 「ディスク情報」画面（☞100ページ）に表示される「ディスク残量」は目安です。このため、タイトルを消去しても、「ディスク残量」が増えない場合があります。
- 他の機器で編集したタイトルは消去できない場合があります。
- 誤消去防止つまみをずらして孔が開いた状態にしていると実行できません。
- BDにロック（☞102ページ）が設定されている場合は、実行できません。
- バーチャルタイトルを消去しても、ディスク残量は増えません。

「プロテクトされています」と表示されたら

消去プロテクト（防止）が設定されたタイトルです。タイトルを消去したい場合は［プロテクト変更］を選び、消去プロテクト設定を「切」にする必要があります。詳しくは、「タイトルを誤って消さないようにする（プロテクト設定）」（☞120ページ）をご覧ください。

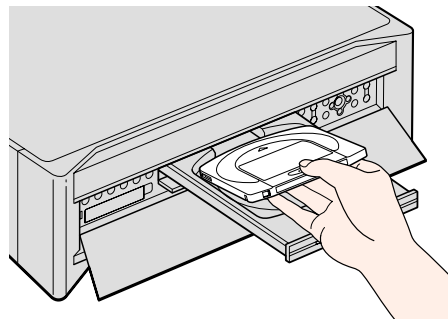
タイトルの順番を変更する（タイトル移動）

操作に使用するボタンの位置について
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているA B C D Eのブロックを参照します。

タイトルリストを使って、タイトルの並び順を変えることができます。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**
本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開/閉(A)を押す。**
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度開/閉を押して、トレイを閉じる。**

BDの機能

次のページにつづく

BDのタイトルリスト（オリジナルタイトル／バーチャルタイトル）を編集する（つづき）

5 タイトルリスト（B）を押す。

カーソルモードでタイトルリストが表示されます。

6 決定（B）を↑/↓に動かして、タイトルを選び、決定の真ん中を押して決定する。

サブメニューが表示されます。

7 決定を↑/↓に動かして［タイトル移動］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「タイトル移動」画面上部に移動したいタイトルが表示されます。
タイトルリストはタイトル番号順に並んでいます。

8 決定を↑/↓に動かして、タイトルの移動先を選び、決定の真ん中を押して決定する。

タイトルを挿入したい位置に ━━━ を移動します。
タイトル番号が更新されます。

ちょっと一言

タイトルを選んでから、決定の真ん中を押してサブメニューを表示し、サブメニューの中から［タイトル詳細］を選ぶと、タイトルの詳細画面を表示することができます。

ご注意

- 誤消去防止つまみをずらして孔が開いた状態にしていると実行できません。
- BDにロック（☞102ページ）が設定されている場合は、実行できません。

複数のタイトルをまとめる（タイトル結合）

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

タイトルリストを使って複数のタイトルを結合し、1つのタイトルにすることができます。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。**

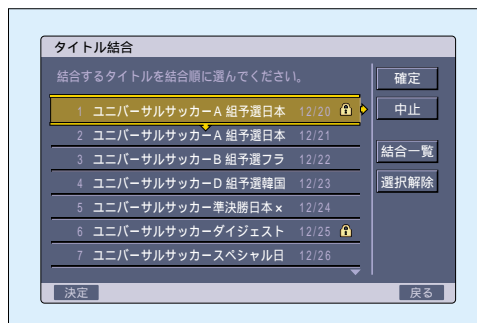
5 **タイトルリスト（Ⓑ）を押す。**

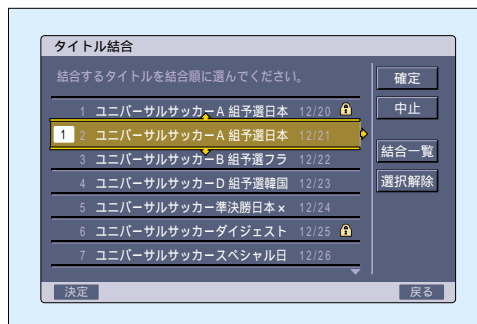
カーソルモードでタイトルリストが表示されます。

6 **ツール（Ⓑ）を押す。**

ツールが表示されます。

7 **決定（Ⓑ）を↑/↓に動かして［タイトル結合］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

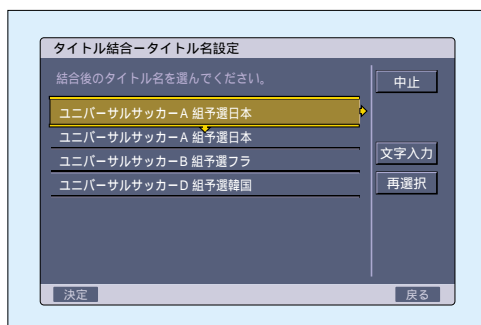
「タイトル結合」画面が表示されます。

8 **決定を↑/↓に動かして結合したい順にタイトルを選び、決定の真ん中を押して決定する。**

タイトルの横に選択順を表す数字が表示されます。

もう一度決定の真ん中を押すと、選択が取り消されます。

次のページにつづく

BDの機能

9 を↑/↓/←/→に動かして［確定］を選び、の真ん中を押す。

結合したあとのタイトル名を選ぶ画面が表示され、カーソルは最初に選んだタイトルにあります。

［中止］を選ぶと、タイトル結合は行われずにタイトルリストに戻ります。

10 結合したタイトルに名前を付ける。

名前を付けるには以下のいずれかの方法があります。

結合前のタイトル名から選ぶ場合

を↑/↓に動かしてタイトルを選び、の真ん中を押して決定する。
タイトルを選び直す場合は［再選択］を選びます。

新しいタイトル名を設定する場合

を↑/↓に動かして［文字入力］を選び、の真ん中を押して決定する。
文字の入力について詳しくは、「文字入力のしかた」（☞130ページ）をご覧ください。

タイトルリストに戻ります。

ちょっと一言

- 「タイトル結合」画面で［選択解除］を選ぶと、選んだすべてのタイトルの選択が取り消されます。
- 「タイトル結合」画面で［結合一覧］を選ぶと、選択されたタイトルの一覧が表示されます。
- タイトルを選んでから、番組説明（B）を押して、タイトルの詳細画面を表示することができます。

ご注意

- 録画中は結合できません。
- 結合したタイトルのつなぎめで、約1秒間映像が止まることがあります。
- 誤消去防止つまみをずらして孔が開いた状態にしていると実行できません。
- BDにロック（☞102ページ）が設定されている場合は、実行できません。

「プロテクトされています」と表示されたら

消去プロテクト（防止）が設定されたタイトルです。タイトルを結合したい場合は［プロテクト変更］を選び、消去プロテクト設定を「切」にする必要があります。詳しくは、「タイトルを誤って消さないようにする（プロテクト設定）」（☞120ページ）をご覧ください。

BDの各タイトルを編集する

タイトル名を変える（タイトル名変更）

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

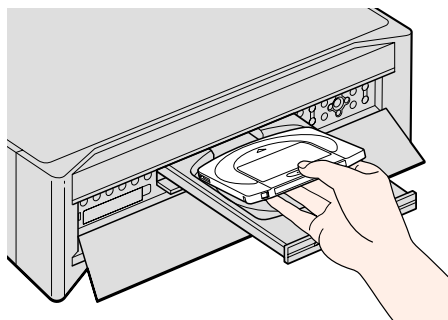
タイトル名を変更することができます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの 開／閉 （Ⓐ）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度 開／閉 を押して、トレイを閉じる。

5 タイトルリストでタイトルを選び、決定（Ⓑ）の真ん中を押す。

サブメニューが表示されます。

タイトルリストの表示のしかたについて詳しくは、「タイトルリストから再生する」（☞55ページ）をご覧ください。

6 決定を↑/↓に動かして［タイトル名変更］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「タイトル名入力」画面が表示されます

7 タイトルを入力する。

入力のしかたについて詳しくは、「文字入力のしかた」（☞130ページ）をご覧ください。

8 決定を↑/↓/←/→に動かして［終了］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

タイトル名変更が完了しました。

ちょっと一言

再生中、または再生一時停止中にもツールを表示し、タイトル名を変更することができます。

ご注意

- 誤消去防止つまみをずらして孔が開いた状態にしていると実行できません。
- BDにロック（☞102ページ）が設定されている場合は、実行できません。

BDの機能

BDの各タイトルを編集する（つづき）

タイトルにマークを付ける

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

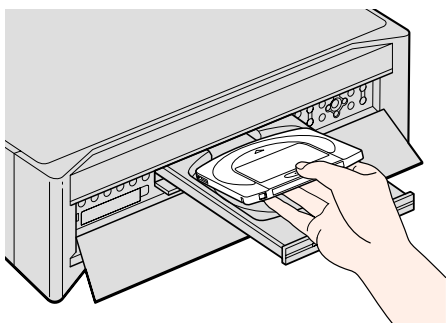
タイトルにマークを設定することができます。15種類のマーク、またはマークなしから選べます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。

5 タイトルリストでタイトルを選んでから決定（Ⓑ）の真ん中を押す。

サブメニューが表示されます。

タイトルリストの表示のしかたについて詳しくは、「タイトルリストから再生する」（☞55ページ）をご覧ください。

6 決定を↑/↓に動かして［マーク設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「マーク設定」画面が表示されます。

マークは15種類あります。

7 決定を↑/↓/←/→に動かして、マークを選び、決定の真ん中を押して決定する。

決定を押す前に戻る（Ⓑ）を押すと、マーク設定を取り消して、再生画面またはタイトルリストに戻ります。

ちょっと一言

再生中、または再生一時停止中にもツールを表示し、マークの設定を変更することができます。

ご注意

- 誤消去防止つまみをずらして孔が開いた状態にしていると実行できません。
- BDにロック（☞102ページ）が設定されている場合は、実行できません。

サムネイルを変更する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」(☞2-2ページ)に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

サムネイルは、システムメニューで[サムネイルタイトル]を選ぶと自動的に作成されますが、あとからサムネイルを変更することもできます。1タイトルにつき、1つのサムネイルを設定できます。

ちょっと一言

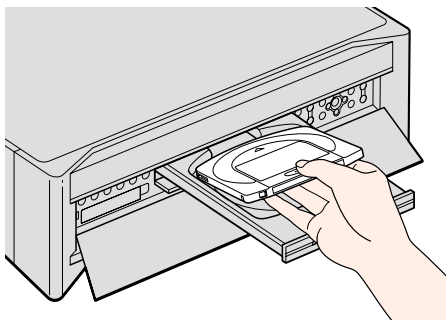
サムネイルとは、実際の映像を小さくした画像のことです。サムネイルを見れば、実際の録画内容が簡単にわかります。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

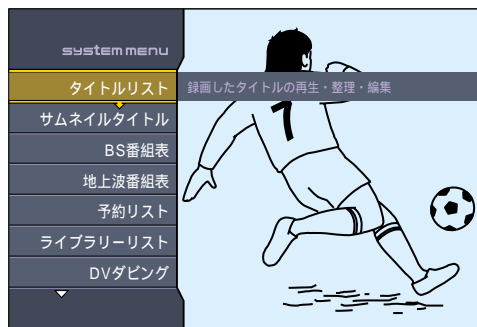
本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開/閉(Ⓐ)を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度開/閉を押して、トレイを閉じる。**

5 **システムメニュー(Ⓑ)を押す。**

システムメニュー画面が表示されます。

6 **決定(Ⓑ)を▲/▼に動かして[サムネイルタイトル]を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

サムネイルタイトル画面が表示されます。

7 **サムネイルを見ながら、決定を▲/▼に動かしてタイトルを選び、決定の真ん中を押して決定する。**

サブメニューが表示されます。

8 **決定を▲/▼に動かして[サムネイル設定]を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「サムネイル設定」画面が表示されます。

BDの機能

次のページにつづく

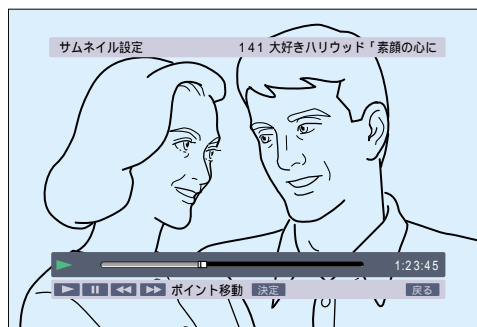
BDの各タイトルを編集する（つづき）

9 **(C)、(ワープ)(C)、(C)などを使って、サムネイルに設定する画面を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

画面が一時停止し、確認メッセージが表示されます。

10 **決定を←/→に動かして［はい］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

サムネイルが変更されます。
サムネイルに設定する画面を再設定したいときは［いいえ］を選びます。このときの画面は一時停止中です。
止めるときは［中止］を選びます。

ちょっと一言
- 再生中または再生一時停止中にも、ツールを表示し、サムネイルを変更することができます。
- タイトルリストで、サブメニューを表示して［サムネイル設定］を選んで、サムネイルを変更することもできます。

ご注意
- 録画中にタイトルのサムネイルを変更することはできません。
- 誤消去防止つまみをずらして孔が開いた状態にしていると実行できません。
- BDにロック（☞102ページ）が設定されている場合は、実行できません。

不要場面を消去する（A－B消去）

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているA B C D Eのブロックを参照します。

いらない場面を消去することができます。
A－B**消去を使って場面を消去した場合、設定した場面と多少ずれる場合があります。**
消去したい場面の直前または直後に大切な場面がある場合はご注意ください。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開／閉(A)を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 BD**をトレイにのせる。**

4 **もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。**

5 タイトルリストでタイトルを選んでから決定(B)の真ん中を押して決定する。

サブメニューが表示されます。
タイトルリストの表示のしかたについて詳しくは、「タイトルリストから再生する」(☞55ページ)をご覧ください。

6 決定を↑/↓に動かして[A−B消去]を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「A−B消去(A点設定)」画面が表示されます。

7 ►(C)、◄◄ワープ►►(C)、II(C)などを使って、消去したい場面の始点(A点)を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「A−B消去(B点設定)」画面が表示されます。

戻る(B)を押すと、A点を再設定できます。

8 ►、◄◄ワープ►►、IIなどを使って、消去したい場面の終点(B点)を選び、決定を押す。

画面が一時停止し、「A−B消去確認」画面が表示されます。

ご注意

A点よりも前の位置にB点を設定することはできません。

「タイトル全体が選ばれています」と表示されたら

A点とB点を設定した際、タイトル全体を選んでいます。
このままタイトルを消去する場合は[実行]を選びます。消去が終了すると、タイトルを再生中の場合は放送中の番組を表示します。タイトルリストを使っている場合はタイトルリストに戻ります。
A点またはB点を再設定する場合は[A点再設定]または[B点再設定]を選びます。このときの画面は一時停止です。戻るを押してB点を再設定することもできます。
[中止]を選ぶと、場面消去を行わずに、タイトルリストに戻ります。

「A点とB点が重なっています」と表示されたら

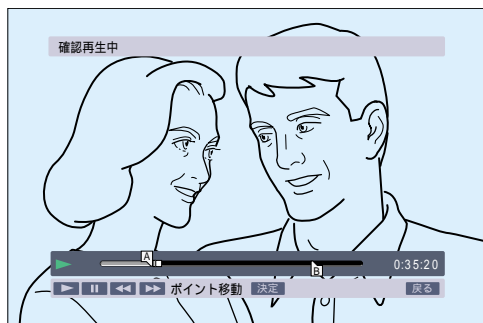
[A点再設定]または[B点再設定]を選び、再設定します。

A点またはB点を再設定するには

[A点再設定]または[B点再設定]を選び、再設定します。このときの画面は一時停止です。戻るを押すと、再設定をしないで「A−B消去(B点設定)」画面に戻ります。

次のページにつづく

消去結果を事前に確認するには

◎を↑/↓/←/→に動かして［確認再生］を選び、◎の真ん中を押して決定します。
消去結果が再生されます。

9 **◎を↑/↓/←/→に動かして［実行］を選び、◎の真ん中を押して決定する。**

場面が消去されます。
［中止］を選ぶと、場面を消去しないでタイトルリストに戻ります。

ご注意

- 録画中にタイトルの一部分を消去することはできません。
- A点またはB点を再設定するとき、A点をB点より後ろの位置に、B点をA点より前の位置に設定することはできません。
- A点からB点までの時間が1秒以内の場合、A－B消去を実行できない場合があります。
- A－B消去後のタイトルを再生した場合、場面を消去した位置で約1秒間映像が止まることがあります。
- 誤消去防止つまみをずらして孔が開いた状態にしていると実行できません。
- BDにロック（☞102ページ）が設定されている場合は、実行できません。

1つのタイトルを分割する（タイトル分割）

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

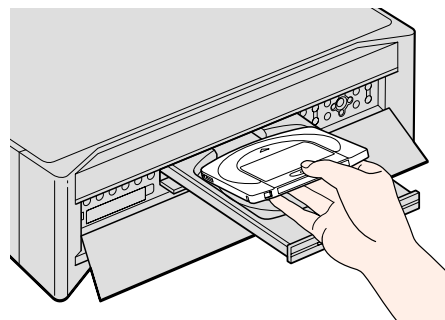
1つのタイトルを好きなところで2つに分けることができます。
たとえば、2試合連続で放送されたスポーツ中継を録画したときに、1試合目が終了したところでタイトルを2つに分割できます。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

本機からの映像が表示されます。

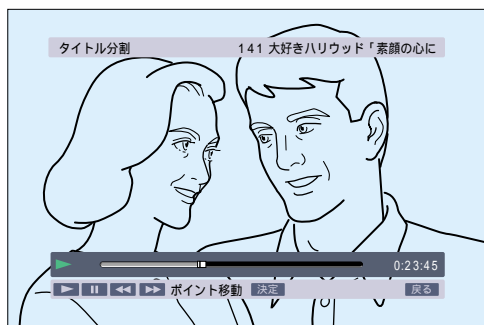
2 **リモコンの［開／閉 ⏏］（Ⓐ）を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

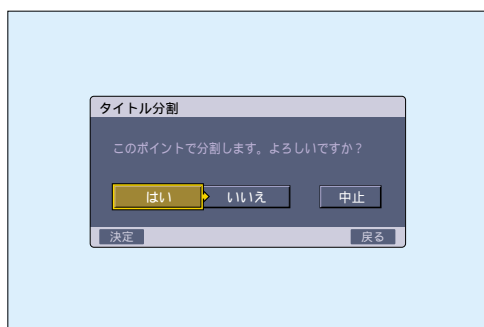
3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度［開／閉 ⏏］を押して、トレイを閉じる。**

5 **タイトルリストでタイトルを選んでから◎（Ⓑ）の真ん中を押す。**

サブメニューが表示されます。
タイトルリストの表示のしかたについて詳しくは、「タイトルリストから再生する」（☞55ページ）をご覧ください。

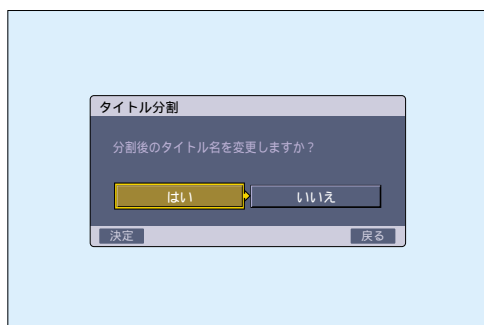
6 を↑/↓に動かして［タイトル分割］を選び、の真ん中を押して決定する。

「タイトル分割」画面が表示されます。

7 (C)、(C)、(C) などを使って分割したい場面を選び、の真ん中を押して決定する。

画面が一時停止し、「タイトル分割」画面が表示されます。

分割する場面を再設定する場合は［いいえ］を選びます。このとき画面は一時停止中です。

［中止］を選ぶと、分割を行わずにタイトルリストに戻ります。

8 を←/→に動かして［はい］を選び、の真ん中を押して決定する。

「タイトル分割」画面が表示されます。

9 分割後のタイトル名を変更する場合は

を←/→に動かして［はい］を選び、の真ん中を押して決定する。

タイトル名を入力する画面が表示されます。

分割したあとの前半タイトル名を入力してから［終了］を選び、の真ん中を押します。

つづいて後半のタイトル名を入力します。

入力について詳しくは、「文字入力のしかた」（☞130ページ）をご覧ください。

分割後のタイトル名を変更しない場合は

を←/→に動かして［いいえ］を選び、の真ん中を押して決定する。2つのタイトルは、同じタイトル名になります。

「分割しました」と表示されます。

ご注意

- 録画中にタイトルを分割することはできません。
- 分割したい場面の時間が1秒以内の場合、分割を実行できない場合があります。
- 分割位置は多少ずれることがあります。
- 誤消去防止つまみをずらして孔が開いた状態にしていると実行できません。
- BDにロック（☞102ページ）が設定されている場合は、実行できません。

タイトルを誤って消さないようにする（プロテクト設定）

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

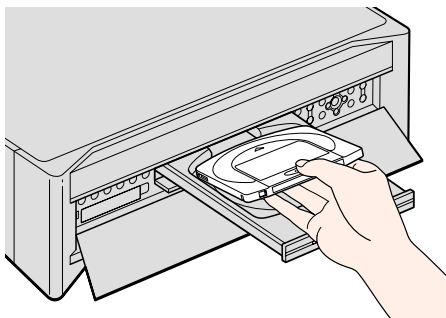
誤ってタイトルを消去しないよう、タイトルごとに消去プロテクト（防止）を設定することができます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

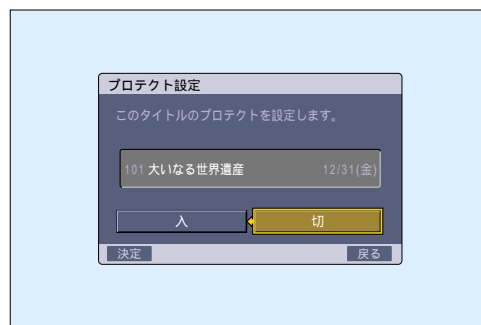
3 BDをトレイにのせる。

4 もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。

5 タイトルリストでタイトルを選んでから決定（Ⓑ）の真ん中を押す。

サブメニューが表示されます。

タイトルリストの表示のしかたについて詳しくは、「タイトルリストから再生する」（☞55ページ）をご覧ください。

6 決定を↑/↓に動かして［プロテクト設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「消去プロテクト設定」画面が表示されます。

7 決定を←/→に動かして［入］を選び、決定の真ん中を押す。

タイトル消去プロテクトが設定されます。

消去プロテクト設定を解除するには

手順7で［切］を選びます。

ご注意

- 誤消去防止つまみをずらして孔が開いた状態にしていると実行できません。
- BDにロック（☞102ページ）が設定されている場合は、実行できません。

DVD／CDを再生する

DVD CD

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

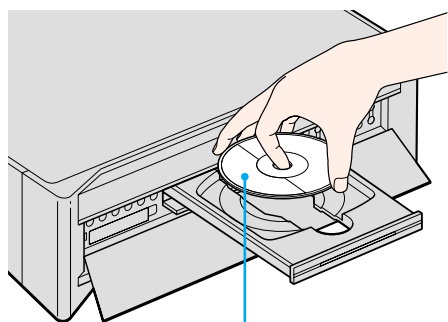
本機でDVD／CDを再生することができます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの（Ⓐ）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 DVDまたはCDをトレイにのせる。

4 もう一度 開／閉 を押して、トレイを閉じる。

再生が始まります。

DVDによっては、テレビ画面にメニューが表示されることがあります（☞124ページ）。

基本的な機能と操作ボタンは以下の通りです。

機能	操作
停止する	■（Ⓒ）を押す
一時停止する	‖（Ⓒ）を押す
一時停止したあと再生する	‖ または ► を押す
再生中のタイトルやトラックを頭出しする	⏮（Ⓔ）を押す
次のタイトルやトラックを頭出しする	⏭（Ⓔ）を押す
早送りする	再生中に（ワープ）（Ⓒ）を右に傾ける
早戻しする	再生中に（ワープ）を左に傾ける
スロー再生する	再生一時停止中に（ワープ）を左または右に1秒以上傾けます。通常の再生に戻すときは、►を押します。
コマ送りする	再生一時停止中に（ワープ）を左または右に短く傾けます。再生方向にコマ送りするときは短く右に傾け、逆方向にコマ送りするときは短く左に傾けます。 くり返し傾けると、連続してコマ送りします。 通常の再生に戻すときは、►を押します。
ディスクを取り出す	開／閉 を押す

ご注意

- 対応しているDVD/CDについては、別冊の「接続と準備」編の「録画・再生できるディスクについて」をご覧ください。
- DVD/CDによっては、禁止されている操作がある場合があります。
- DVD-RW（VRモード）では、逆方向のスロー再生、コマ送り再生はできません。

本機は、無許諾のDVDディスク（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクは再生することができません。

DVD／CDを再生する（つづき）

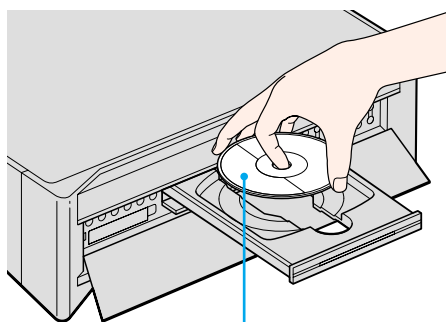
音声を切り換える

操作に使用するボタンの位置について
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

複数の音声がDVDに記録されているとき、再生中に音声の言語を選ぶことができます。
CDの場合、ステレオ録音されているものはL（左側）またはR（右側）のみのモノラル再生ができます。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**
本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの 開／閉 ⏏（Ⓐ）を押す。**
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **DVDまたはCDをトレイにのせる。**

再生したい面を下にし、トレイの溝に合わせてディスクをのせる。

4 **もう一度 開／閉 ⏏ を押して、トレイを閉じる。**

5 **再生中に 音声切換（Ⓐ）をくり返し押す。**
音声が切り換わります。

ちょっと一言
CDの再生中は、ステレオ→ L（モノラル）→ R（モノラル）→ ステレオの順に切り換わります。

ご注意
- DVDによっては、再生中に自動的に音声が切り換わるものがあります。
- DVDによっては、音声の切り換えを禁止している場合があります。

DVDの便利な機能

DVD

DVD-RWのオリジナルとプレイリストを再生する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」(☞2-2ページ)に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

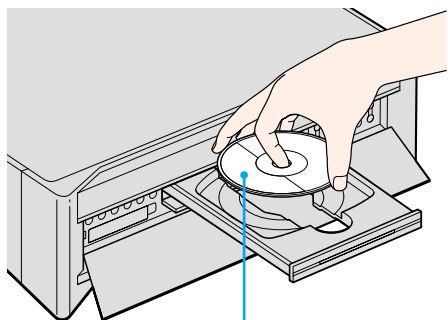
DVD-RW（VRモード）には、ディスクに実際に記録されている「オリジナル」のタイトルと、DVDレコーダーなどで編集して作成された「プレイリスト」という2種類のタイトルがあります。
このようなディスクでは、再生するタイトルの種類を選んで再生します。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 DVDをトレイにのせる。

再生したい面を下にし、トレイの溝に合わせてディスクをのせる。

4 もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。

5 停止中にツール（Ⓑ）を押す。

ツールが表示されます。

6 決定（Ⓑ）を▲/▼に動かして［オリジナル／プレイリスト］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

タイトルの画面が表示されます。

7 ►（Ⓒ）を押す。

再生が始まります。
再生中にタイトルやチャプターを戻す／進めるには、⏮/⏭（Ⓔ）を押します。

ご注意

タイトルリストは表示されません。

DVD／CDを再生する

DVDの便利な機能
（つづき）

DVDのメニューを使う

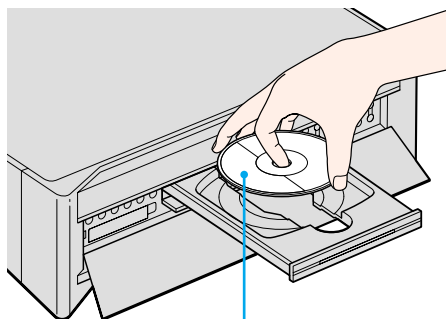
操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

DVDには、DVD独自のメニューが記録されているものがあります。
複数のタイトル（映像や曲）が記録されているDVDはトップメニューボタンを使って、ディスクの内容（字幕や音声の言語）をメニューで選択できるDVDはメニューボタンを使って再生できます。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**
本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。**
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **DVDをトレイにのせる。**

再生したい面を下にし、トレイの溝に合わせてディスクをのせる。

4 **もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。**

5 **トップメニュー（Ⓔ）またはメニュー（Ⓔ）を押す。**
DVDのメニューが表示されます。DVDのメニューはディスクによって異なります。
DVDによっては、メニューが自動的に表示されるものもあります。

6 **決定（Ⓑ）を↑/↓に動かして、選びたい項目を選ぶ。**

7 **決定の真ん中を押して決定する。**

1つ前の画面に戻るには

リターン（Ⓔ）を押します。

タイトルサーチ／チャプターサーチする

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているA B C D Eのブロックを参照します。

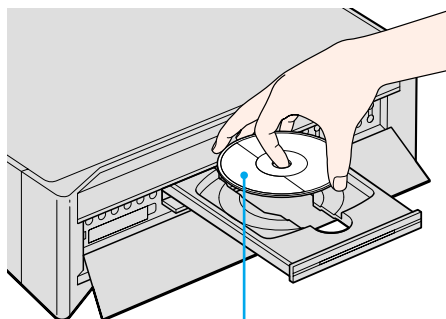
DVDのタイトル番号またはチャプター番号で映像を探すことができます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開／閉（A）を押す。

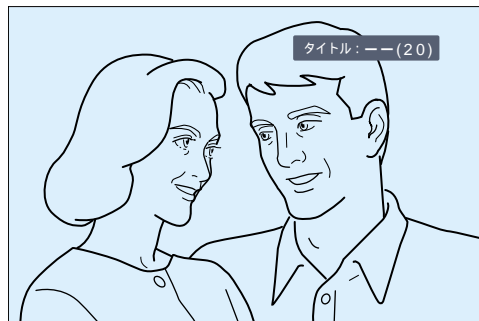
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 DVDをトレイにのせる。

4 もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。

5 再生中にツール（B）を押す。

ツールが表示されます。

6 決定（B）を↑/↓に動かして［タイトルサーチ］または［チャプターサーチ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

タイトルサーチの画面またはチャプターサーチの画面が表示されます。

タイトルサーチの画面

チャプターサーチの画面

7 1～10（D）でタイトル番号またはチャプター番号を1桁目から入力する。

8 12／選局／確定（D）を押す。

選んだ場所の再生が始まります。
タイトルサーチまたはチャプターサーチをやめるときは、戻る（B）を押します。

DVD／CDを再生する

次のページにつづく

ちょっと一言
DVD-RW（VRモード）のチャプターは、3桁まで入力できます。

ご注意
最大タイトル数または最大チャプター数よりも大きい数字を入力しての真ん中を押すと、現在のタイトル番号またはチャプター番号に戻ります。

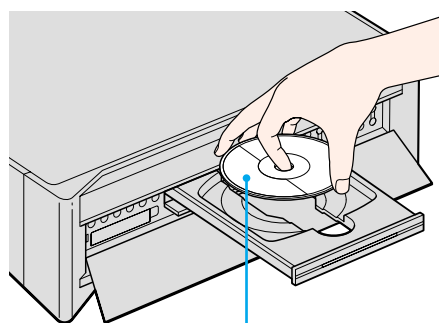
アングルを切り換える

操作に使用するボタンの位置について
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

複数のアングルがDVDに記録されているとき、正面から映した場面を右から映した場面に切り換えるなど、好きなアングルに切り換えることができます。
アングルを変えられるときは、本機前面の表示窓に「ANGLE」が点灯します。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。
本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 DVDをトレイにのせる。

再生したい面を下にし、トレイの溝に合わせてディスクをのせる。

4 もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。

5 再生中に映像切換（Ⓐ）を押す。
アングルが切り換わります。

ご注意
DVDによっては、複数のアングルが記録されていても、アングルの切り換えを禁止している場合があります。

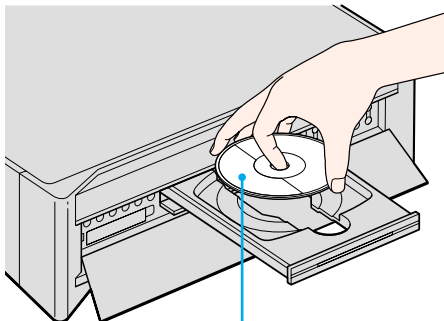
字幕を切り換える

操作に使用するボタンの位置について
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

DVDに字幕が記録されているときは、再生中に字幕を表示したり、消したりできます。
語学の学習などに便利です。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**
本機からの映像が表示されます。

2 **リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。**
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **DVDをトレイにのせる。**

再生したい面を下にし、トレイの溝に合わせてディスクをのせる。

4 **もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。**

5 **再生中に字幕切換（Ⓐ）をくり返し押す。**
見ているシーンの字幕言語が切り換わります。

ご注意
DVDによっては、字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。

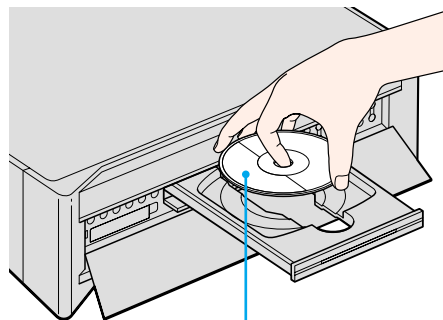
視聴年齢制限付きDVDを見る

操作に使用するボタンの位置について
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

「セットアップ」画面で視聴年齢制限付き番組を見るための暗証番号を設定した場合（別冊の「接続と準備」編の「暗証番号を設定する」参照）、設定した視聴年齢制限に該当する番組を見たり、再生をしようとすると「年齢制限」などと表示されます。再生するには暗証番号を入力して視聴年齢制限を解除します。

1 **テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**
本機からの映像が表示されます。

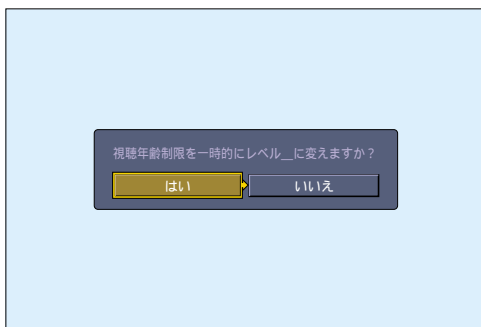
2 **リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。**
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **DVDをトレイにのせる。**

再生したい面を下にし、トレイの溝に合わせてディスクをのせる。

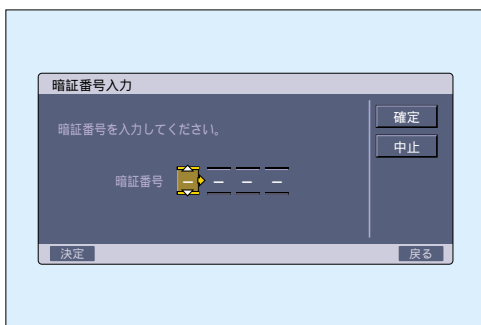
4 **もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。**
「年齢制限付きディスクが入りました。再生しますか？」*と表示されます。

* ディスクにより表示は異なります。

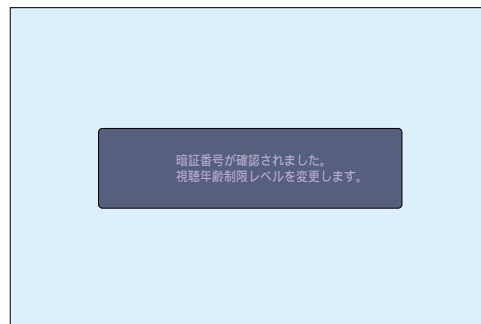
次のページにつづく

5 **（B）を←/→に動かして［はい］を選び、の真ん中を押して決定する。**

確認画面が表示されます。

6 **（B）を←/→に動かして［はい］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「暗証番号入力」画面が表示されます。

7 **1～10（D）で4桁の暗証番号を入力し、の真ん中を押す。**

1～10を使って入力すると、画面上に＊が表示され、カーソルが右に移動します。次の数字を入力します。すべての桁を入力したらを↑/↓に動かして［確定］を選び、の真ん中を押します。

暗証番号を確認するメッセージが表示されます。

番号を間違えたときは、を←に動かすと、入力した数字が消去されます。

ちょっと一言

で暗証番号を入力することもできます。を↑/↓に動かして数字を選び、を→に動かして次の桁を選びます。

ご注意

- で数字を入力したあとに1～10を使うと、を使って入力した数字は1～10で入力した数字に変わります。
- 暗証番号は、必ず順番に入力してください。入力欄を空欄のまま、次の数字を入力することはできません。
- 暗証番号の設定のしかたについて詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「暗証番号を設定する」をご覧ください。
- 暗証番号を忘れたときは、初期設定で出荷時の状態に戻してから設定し直してください（別冊の「接続と準備」編の「出荷時の設定に戻す」参照）。

CDの便利な機能

トラックサーチする

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

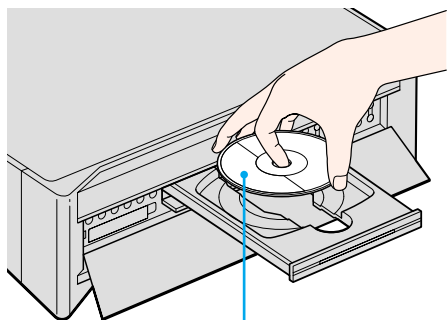
CDのトラック番号で曲を探すことができます。

1 テレビと本機の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

本機からの映像が表示されます。

2 リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

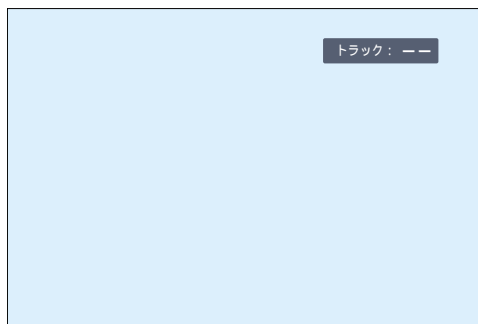
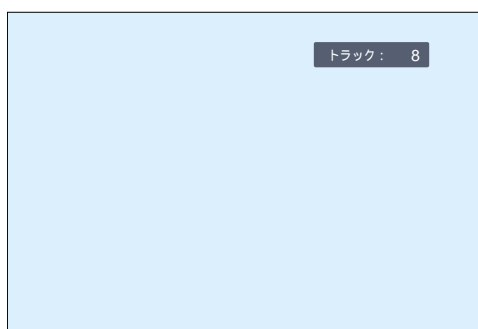
3 CDをトレイにのせる。

4 もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。

再生が始まります。

5 再生中にツール（Ⓑ）を押す。

ツールが表示されます。

6 決定（Ⓑ）を▲/▼に動かして［トラックサーチ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

トラックサーチの画面が表示されます。

7 1～10（Ⓓ）でトラック番号を1桁目から入力する。

8 12／選局／確定（Ⓓ）を押す。

選んだトラックの再生が始まります。

トラックサーチをやめるときは、戻る（Ⓑ）を押します。

ご注意

最大トラック数よりも大きい数字を入力して決定の真ん中を押すと、現在のトラック番号になります。

ちょっと一言

トラック数は本体の表示窓にも表示されるので、テレビの電源を入れなくても確認できます。

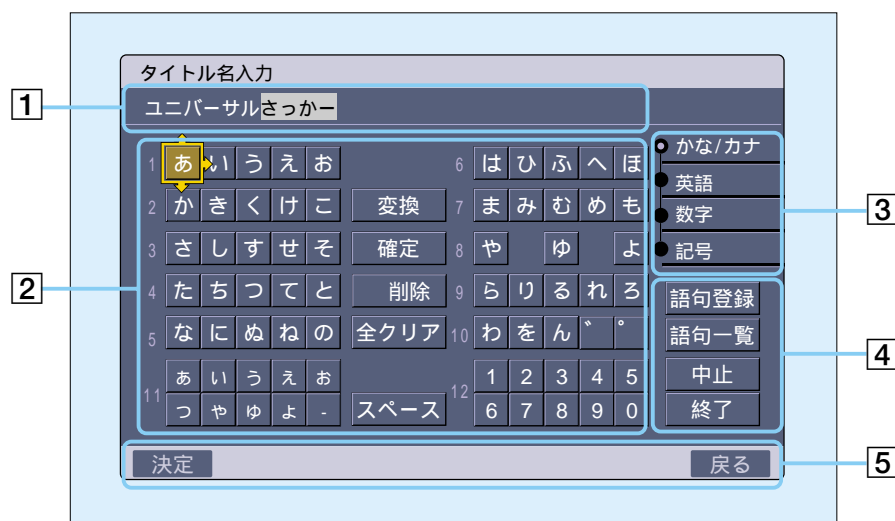
ツールを使ってインデックスサーチするには

再生中にツールを押して、ツールを表示します。決定を▲/▼に動かして［インデックスサーチ］を選び、1～10でインデックス番号を1桁目から入力して、12を押します。最大インデックス数よりも大きい数字を入力すると、最後のインデックス番号になります。

文字入力のしかた

BDにディスク名をつけたり、録画したタイトルの名前を変更したり、タイトルを検索したりするときは、文字入力画面で文字を入力します。文字入力画面は、文字を入力する項目を選択すると表示されます。

文字入力画面について

例：かな／カナモードの文字入力画面

1 **入力文字表示エリア**
タイトルおよびディスク名は全角最大127文字（半角最大253文字）、キーワード入力は全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

2 **文字選択／変換／確定操作欄**
文字を選択し、変換、確定します。文字選択欄の左の数字（1～12）は、リモコンの数字ボタン（1～12）に対応しています。
変換：漢字やカタカナに変換します（「かな／カナ」のみ）。
全／半：入力した文字を全角または半角に変換します（「英語」、「数字」、「記号」のみ）。
確定：入力した文字、または変換した文字を確定します。
← 削除：1つ前の文字を消します。
全クリア：入力した文字をすべて消します。
スペース：スペース（1文字分の空き）を入力します。

3 **入力文字種類切換ボタン**
入力する文字の種類を切り換えます。

4 **画面内操作ボタン**
語句登録：入力した語句を登録します。
語句一覧：登録してある語句の一覧を表示します。
中止：文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに入力した文字は記録されません。
終了：文字入力を終了します。

5 **操作ガイド**
画面で行う操作に使うボタンを表示します。

入力モードの種類

本機には、かな／カナ、英語、数字、記号の4種類の入力モードがあります。入力モードによって、文字入力画面は次のように切り変わります。

英語入力モード

数字入力モード

記号入力モード

ちょっと一言

カタカナは、ひらがなを変換していくと候補として表示されます。

ご注意

- 記号の中には半角表示できないものもあります。
- 語句を1つも登録していない場合は、語句一覧には何も表示されません。戻る(B)を押して、「語句一覧」画面を消してください。

文字を入力する

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」(☞2-2ページ)に記載されているA B C D Eのブロックを参照します。

文字を入力するには決定(B)を↑/↓/←/→に動かして文字を入力する方法と、携帯電話のように 1 ～ 10 (D)で文字を入力する方法があります。

ここでは、決定を使って文字入力する方法を説明します。1 ～ 10 で入力する方法については133ページをご覧ください。

例として、「お父さんのDisc」と入力してみます。

1 **決定(B)を↑/↓/←/→に動かして[お]を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

入力文字表示エリアに「お」が表示されます。

同様にして「と」、「う」、「さ」、「ん」、「の」と入力します。

2 を↑/↓/←/→に動かして［変換］を選び、の真ん中を押して決定する。

漢字に変換されます。

正しい漢字に変換されない場合は、を↓に動かして次の候補を表示します。前の候補を表示するにはを↑に動かします。

3 を↑/↓/←/→に動かして［確定］を選び、の真ん中を押して決定する。

漢字変換した文節が決定されます。

4 を↑/↓/←/→に動かして［英語］を選び、の真ん中を押して決定する。

英語入力モードに切り換わります。

数字入力モードに切り換えるには

［数字］を選びます。

記号入力モードに切り換えるには

［記号］を選びます。

かな／カナ入力モードに戻すには

［かな／カナ］を選びます。

5 を↑/↓/←/→に動かして、画面左側の大文字枠の「D」を選び、の真ん中を押して決定する。

「D」が表示されます。

同様に画面右側の小文字枠を使って、「i」、「s」、「c」と入力します。

6 ◎を↑/↓/←/→に動かして［全／半］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

半角で表示されます。

全角に戻すには、◎を↑/↓に動かします。

7 ◎を↑/↓/←/→に動かして［確定］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

文節が決定されます。

8 ◎を↑/↓/←/→に動かして［終了］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

文字入力が終了し、元の画面に戻ります。

ご注意

- 入力文字表示エリアに表示できる、確定前の文字数は画面によって異なります。
  –「タイトル名入力」画面：全角20文字（半角40文字）
  –「キーワード入力」画面：全角10文字（半角20文字）
- 文字を入力している途中で文字種のモードを変えると、入力文字表示エリア内の文字は表示されている状態で確定します。

数字ボタンで入力する

1〜10(D)とカラーボタン(D)で文字を入力することができます。

カラーボタンは次のように使います。

- ●（青）：漢字やカタカナに変換します（「かな／カナ」のみ）。入力した文字を全角または半角に変換します（「英語」、「数字」、「記号」のみ）。
- ●（赤）：入力した文字、または変換した文字を確定します。
- ●（緑）：1つ前の文字を消します。
- ●（黄）：スペースを入力します。

例として「お父さんのDisc」と入力してみます。

1 1をくり返し押して［お］を選ぶ。

「お」が入力されます。

2 4をくり返し押して［と］を選ぶ。

「と」が入力されます。

同様に1で「う」、3で「さ」、10で「ん」、5で「の」を入力します。

3 ●(変換用ダイレクトキー)(D)を押す。

漢字に変換されます。

正しい漢字に変換されない場合は、さらに●（変換用ダイレクトキー）を押して次の候補を表示します。

4 ●(確定用ダイレクトキー)(D)を押す。

漢字変換した文節が入力されます。

5 入力切換(文字種モード切換ダイレクトキー)(D)をくり返し押して、英語入力モードに切り換える。

6 1をくり返し押して［D］を選ぶ。

「D」が入力されます。

同様に7で「i」、9で「s」、6で「c」を入力します。

7 ●(全／半用ダイレクトキー)(D)を押す。

入力した文字が半角で表示されます。

全角に戻すには、もう一度●（全／半用ダイレクトキー）を押します。

8 ●(確定用ダイレクトキー)を押す。

9 ◎(B)を↑/↓/←/→に動かして［終了］を選び、◎の真ん中を押す。

文字入力が終了し、元の画面に戻ります。

ちょっと一言

◎を↑/↓/←/→に動かして文字を入力する方法と、1〜10で文字を入力する方法を同時に使うことができます。

次のページにつづく

文字入力のしかた（つづき）

連文節の漢字変換について

連文節の文章を漢字変換すると、まず最初の1文節だけ漢字変換されます。文節の区切りを変更するときは次のように操作します。
例として、「こうこうやきゅう」を漢字変換します。

1 「こうこうやきゅう」と入力する。

文字の入力のしかたについては「文字を入力する」（☞131ページ）の手順1をご覧ください。

2 (B)を↑/↓/←/→に動かして［変換］を選び、の真ん中を押す（または(変換用ダイレクトキー)(D)を押す）。

「高校やきゅう」と変換されます。

3 を←/→に動かして文節の長さを調節する。

- を←に1回動かす

- を→に1回動かす

4 の真ん中を押して選んだ文節の変換を確定する（または(確定用ダイレクトキー)(D)を押す）。

次の文節が自動的に漢字変換されます。

文字を挿入するには

を↑/↓/←/→に動かして入力文字表示エリアにカーソルを動かしてから、を↑/↓/←/→に動かして挿入したい箇所の後ろの文字にカーソルを動かします。を↑/↓/←/→に動かして文字ボタンエリアにカーソルを動かすか、ダイレクトキーを使って文字を入力します。入力を確定すると、文字が挿入されます。

ご注意

文字が確定されていないときは入力文字表示エリアへカーソルを動かすことはできません。

1文字ずつ消去するには

を↑/↓/←/→に動かして［←削除］を選んでからの真ん中を押すか、(←削除用ダイレクトキー)(D)を押します。
1文字ずつ消去されます。

確定済みの文字を消去するには

を↑/↓/←/→に動かして入力文字表示エリアにカーソルを動かし、消したい文字の右側に動かします。(←削除用ダイレクトキー)(D)を押して、すでに確定している文字を削除することができます。

入力済みの文字をすべて消去するには

を↑/↓/←/→に動かして［全クリア］を選んでからの真ん中を押すか、クリア(全クリア用ダイレクトキー)(D)を押します。

ダイレクトキーを使って、続けて同じ行の文字を入力するには

最初の文字を入力したあと、10キー(D)を押します。続けて次の文字を入力します。
例：「ちち」と入力するには、4を2回押してから、10キーを押し、もう一度4を2回押す。

文字入力を中止するには

を↑/↓/←/→に動かして［中止］を選んでからの真ん中を押すか、戻る(B)を押します。

入力文字表示エリア内の文字は入力されずに、元の画面に戻ります。

他の機器との操作

他の機器と接続して、次のようなことができます。

- デジタルCSチューナーを接続してデジタルCS放送を見たり、録画することができます。
- ビデオ機器と接続して、本機に記録されている映像をテープにダビング（コピー）することができます。また、ビデオ機器からの映像を、BDに録画することもできます。
- DV方式のビデオ機器と、本機前面のDV端子*で接続して、映像を見たり、ダビングしたりすることができます。
- もう1台のBDレコーダーと、本機後面のi.LINK端子で接続して、映像を見たり、ダビングしたりすることができます。

* 本機前面のDV端子からは、DVC-SD方式の信号のみ入力することができます。

他の機器の接続のしかたについて詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「他の機器をつなぐ」をご覧ください。
i.LINKについて詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「i.LINKについて」をご覧ください。

著作権保護のための信号が記録されているソフトや放送を録画する場合、記録が制限されることがあります。

他の機器からの映像を見る

操作に使用するボタンの位置について
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

入力1または入力2につないだ機器からの映像を見ることができます。
本機は、本機と同じBDレコーダーのみとi.LINKダビングができます（☞145ページ）。
DV方式のビデオカメラなどをつなぐ場合は、「デジタルビデオカメラをつないで録画する」（☞137ページ）をご覧ください。

1 本機と他の機器を映像（S映像）・音声コードでつなぐ。
接続について詳しくは、別冊の「接続と準備」編をご覧ください。

2 テレビと本機、他の機器の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

3 [入力切換]（Ⓓ）をくり返し押して、他の機器をつないだ入力に切り換える。
[入力切換]をくり返し押すたびに、BS放送（BSラジオ、BSデータ放送含む）→地上波放送→入力1→入力2→i.LINK入力→DV入力→BS放送→...
の順に切り換わります。

つないだ機器からの映像を見るには、その機器のリモコンや本体のボタンを使ってつないだ機器を操作します。

他機との操作

他の機器からの映像を見る（つづき）

ご注意

- 本機は録画防止機能（コピーガード）に対応しています。デジタルCSチューナーを本機に接続して番組を見る場合、番組によっては録画機能の作動の有無にかかわらず見ているときに画面が乱れます。この場合、デジタルCSチューナーを直接テレビにつないでください。
  デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- S映像コードを使う場合は、別冊の「接続と準備」編の「S映像入力端子を使う」で［S映像］を選んでください。

他の機器からの映像を録画／ダビングする

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

入力1または入力2につないだ機器からの映像を録画することができます。
本機は、本機と同じBDレコーダーのみとi.LINKダビングができます（☞145ページ）。
DV方式のビデオカメラなどをつなぐ場合は、「デジタルビデオカメラをつないで録画する」（☞137ページ）をご覧ください。

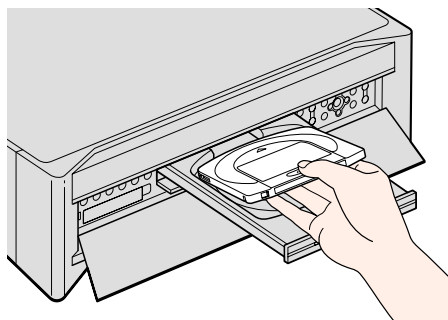
1 本機と他の機器を映像（S映像）・音声コードでつなぐ。

接続について詳しくは、別冊の「接続と準備」編をご覧ください。

2 テレビと本機、他の機器の電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

3 リモコンの［開／閉 ⏏］（Ⓐ）を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

4 BDをトレイにのせる。

5 もう一度 開／閉 ⏏ を押して、トレイを閉じる。

6 入力切換 (D) をくり返し押して、他の機器をつないだ入力に切り換える。

入力切換 をくり返し押すたびに、BS放送（BSラジオ、BSデータ放送含む）→地上波放送→入力1→入力2→i.LINK入力→DV入力→BS放送→...
の順に切り換わります。

7 つないでいる機器側で、番組を選んだり、再生を始める。

8 録画 ● (D) を押す。

録画が始まります。

録画を停止するときは、録画停止 ■ (D) を押します。

■（再生停止）(C) を押しても録画を止めることはできません。

ちょっと一言

ビデオ再生機器からの映像を録画したいときは、他機を再生一時停止にし、本機を録画一時停止にしてから、同時に一時停止を解除します。

ご注意

- 録画 ● を押しても、録画するまでにしばらく時間がかかります。
- 連続で12時間以上録画することはできません。
- 次の場合、録画は停止します。
  – 録画中に番組の一部が有料になったとき
  – BDに空き時間（ディスク残量）がなくなったとき

デジタルビデオカメラをつないで録画する

BD

DVテープをまるごとダビングする（シンプルダビング）

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているA B C D Eのブロックを参照します。

テープの内容をまるごとBDにダビングします。
本機前面のDV端子で、デジタルビデオカメラと接続してください。

ご注意

あらかじめ、別冊の「接続と準備」編の「フロント扉の開閉動作を設定する」で「手動」に設定しておいてください。

1 テレビと本機、デジタルビデオカメラの電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

2 本機のリモコンの 開／閉 ⏏ (A) を押す。

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

他機との操作

デジタルビデオカメラをつないで録画する（つづき）

3 **本機前面のDV端子とデジタルビデオカメラをi.LINKケーブルでつなぐ。**

接続について詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「DV端子でデジタルカメラとつなぐ」をご覧ください。

4 **BDをトレイにのせる。**

5 **本体のOPEN/CLOSE ⏏ ボタンを押して、トレイを閉じる。**

6 **デジタルビデオカメラにダビングしたいDVテープを入れ、再生できる状態にする。**

7 **システムメニュー（B）を押す。**

システムメニュー画面が表示されます。

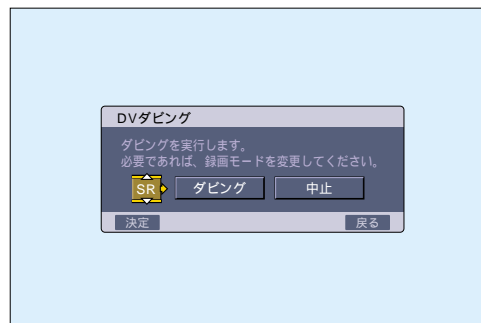
8 **決定（B）を↑/↓に動かして［DVダビング］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

本機の入力がDV入力に切り換わり、「DVダビング」画面が表示されます。

ちょっと一言

「ツール」で［DV入力音声設定］を選ぶと、記録する音声を設定できます。

9 **決定を↑/↓に動かして［シンプルダビング］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「DVダビング」画面が表示されます。

10 ◎を↑/↓に動かして録画モードを選ぶ。

11 ◎を←/→に動かして［ダビング］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

デジタルビデオカメラの再生を開始し、本機は録画を開始します。
DVテープが巻き戻っていない場合は、自動的に巻き戻します。
本機で取り込み中、デジタルビデオカメラで再生以外の操作をすると、録画は停止します。

ダビングが終わったら、自動的に停止します。
また、デジタルビデオカメラの再生に5分以上録画のない部分があると、本機は自動的に録画を停止します。

ちょっと一言
DVテープ上の不連続点（録画開始位置）がインデックスとなってBDに記録されます。

ご注意

- デジタルビデオカメラを接続する場合は、必ず本機前面のDV端子に接続してください。本機のDV端子は、ソニー製家庭用DV方式のデジタルビデオカメラ、デジタルビデオデッキでのみ接続動作を確認しています。（2002年6月末日までに日本国内で発売した機器。DCR-VX700/VX1000、DHR-1000を除く。）MICROMV方式のデジタルビデオカメラとは接続できません。
- 録画モードで「DR」を選ぶことはできません。信号はMPEG-2 TSに変換して記録されます。

場面を選んでダビングする（プログラムダビング）

操作に使用するボタンの位置について
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

ダビングしたい場面を選んでBDにダビングします。
本機前面のDV端子で、デジタルビデオカメラと接続してください。

ご注意
あらかじめ、別冊の「接続と準備」編の「フロント扉の開閉動作を設定する」で「手動」に設定しておいてください。

1 テレビと本機、デジタルビデオカメラの電源を入れ、テレビの入力を切り換える。

2 本機のリモコンの開/閉（Ⓐ）を押す。

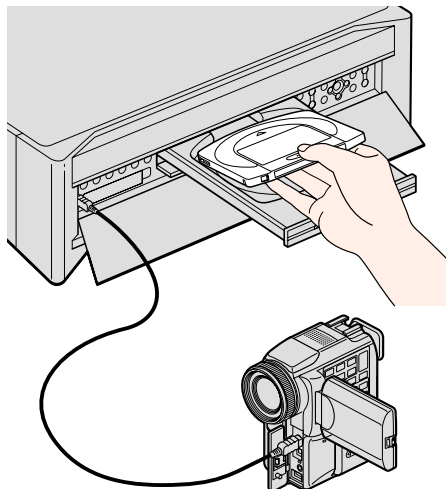
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 本機前面のDV端子とデジタルビデオカメラをi.LINKケーブルでつなぐ。

接続について詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「DV端子でデジタルカメラとつなぐ」をご覧ください。

次のページにつづく

デジタルビデオカメラをつないで録画する（つづき）

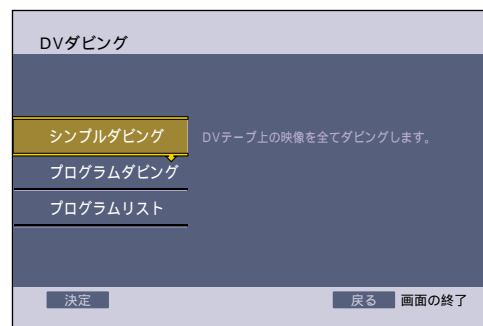
4 **BDをトレイにのせる。**

5 **本体のOPEN/CLOSE ⏏ ボタンを押して、トレイを閉じる。**

6 **デジタルビデオカメラにダビングしたいDVテープを入れ、再生できる状態にする。**

7 **システムメニュー（B）を押す。**

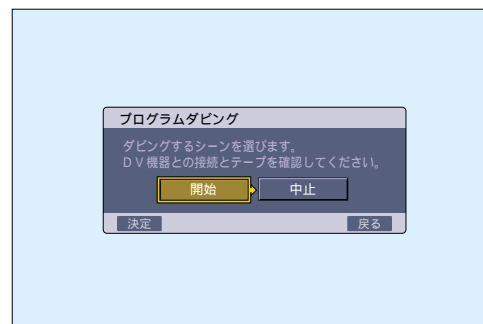
システムメニュー画面が表示されます。

8 **（B）を↑/↓に動かして［DVダビング］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

本機の入力がDV入力に切り換わり、「DVダビング」画面が表示されます。

ちょっと一言

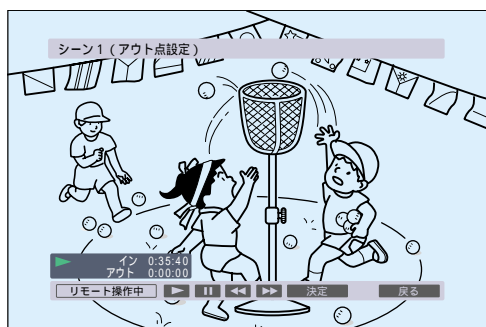
「ツール」で［DV入力音声設定］を選ぶと、記録する音声を設定できます。

9 **決定を↑/↓に動かして［プログラムダビング］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「プログラムダビング」画面が表示されます。

10 **決定を←/→に動かして［開始］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「イン点設定」画面が表示されます。

11 ▶(Ⓒ)、Ⅱ(Ⓒ)、◀◀(ワープ)▶▶(Ⓒ)で、ダビングしたい場面の開始位置を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「アウト点設定」画面が表示されます。

12 同様に、▶、Ⅱ、◀◀(ワープ)▶▶で、ダビングしたい場面の終了位置を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「シーン選択確認」画面が表示されます。

13 決定を←/→に動かして、[はい]を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「シーンリスト」画面が表示されます。
選んだ場面を再生して確認したい場合は、[確認再生]を選びます。
選んだ場面の開始位置を変更するには[イン点修正]、終了位置を変更するには[アウト点修正]を選びます。
選んだ場面のダビングをやめるには[いいえ]を選びます。

ご注意

- 短いシーンは録画できない場合があります。
- タイムコードが記録されていない部分はシーンに設定することができません。

14 ダビングしたい場面を追加する場合は、決定を↑/↓/←/→に動かして、[シーン追加]を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「イン点設定」画面が表示されます。
手順11〜13をくり返して、ダビングしたい場面を追加します。場面は50個まで選べます。

15 「シーンリスト」画面で、決定を↑/↓/←/→に動かして、[確定]を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「DVダビング タイトル名設定」画面が表示されます。

16 タイトル名を入力する。

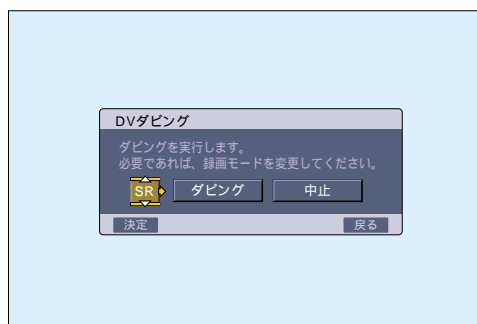
タイトル名の入力について詳しくは、「文字入力のしかた」(☞130ページ)をご覧ください。

17 「タイトル名入力」画面で、決定を↑/↓/←/→に動かして、[終了]を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「DVダビング」画面が表示されます。

18 決定を↑/↓に動かして録画モードを選ぶ。

次のページにつづく

他機との操作

デジタルビデオカメラをつないで録画する（つづき）

19 **◎を←/→に動かして、[ダビング] を選び、◎の真ん中を押して決定する。**
自動的に場面の開始位置の前まで巻き戻り、再生を開始し、本機は場面の開始位置から録画を開始します。
本機で取り込み中、デジタルビデオカメラで再生以外の操作をすると録画は停止します。

ちょっと一言
DVテープ上の不連続点（録画開始位置）および場面の開始位置（イン点）がインデックスとなってBDに記録されます。

ご注意
- デジタルビデオカメラを接続する場合は、必ず本機前面のDV端子に接続してください。本機のDV端子は、ソニー製家庭用DV方式のデジタルビデオカメラ、デジタルビデオデッキでのみ接続動作を確認しています。（2002年6月末日までに日本国内で発売した機器。DCR-VX700/VX1000、DHR-1000を除く。）MICROMV方式のデジタルビデオカメラとは接続できません。
- 録画モードで「DR」を選ぶことはできません。信号はMPEG-2 TSに変換して記録されます。

シーンリストから場面を削除するには

1 「場面を選んでダビングする（プログラムダビング）」の手順1〜14を行う。

2 ◎を↑/↓に動かして削除したい場面を選び、◎の真ん中を押す。
サブメニューが表示されます。

3 ◎を↑/↓に動かして [シーン消去] を選び、◎の真ん中を押して決定する。
「シーン消去」画面が表示されます。

4 ◎を←/→に動かして [はい] を選び、◎の真ん中を押して決定する。
場面が削除されます。

場面の順番を変更するには

1 「場面を選んでダビングする（プログラムダビング）」の手順1〜14を行う。

2 ◎を↑/↓に動かして移動させたい場面を選び、◎の真ん中を押す。
サブメニューが表示されます。

3 ◎を↑/↓に動かして [シーン移動] を選び、◎の真ん中を押して決定する。
「シーン移動」画面が表示されます。

4 ◎を↑/↓に動かして移動先を選び、◎の真ん中を押して決定する。
場面の順番が変更されます。

途中まで作成したシーンリストを保存するには

シーンリストの作成を途中で中止する場合、途中まで作成したシーンリストを保存することができます。

1 「場面を選んでダビングする（プログラムダビング）」の手順1〜14を行う。

2 「シーンリスト」画面で、◎を↑/↓/←/→に動かして [中止] を選び、◎の真ん中を押して決定する。
シーンリストが保存され、「DVダビング」画面に戻ります。
次にプログラムダビングをするときに「継続確認」画面が表示されます。
保存したシーンリストの続きを作成するときは [保存データ] を選びます。

プログラムダビングした内容のコピーを作る（複製ダビング）

操作に使用するボタンの位置について

使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

プログラムダビングでDVテープの内容をBDにダビングすると、「プログラムリスト」にプログラム（場面のイン点やアウト点）が記録されます（最大20個）。このプログラムを利用して、先にダビングしたものと同じ内容でダビングすることができます。
本機前面のDV端子で、デジタルビデオカメラと接続してください。

ご注意

あらかじめ、別冊の「接続と準備」編の「フロント扉の開閉動作を設定する」で「手動」に設定しておいてください。

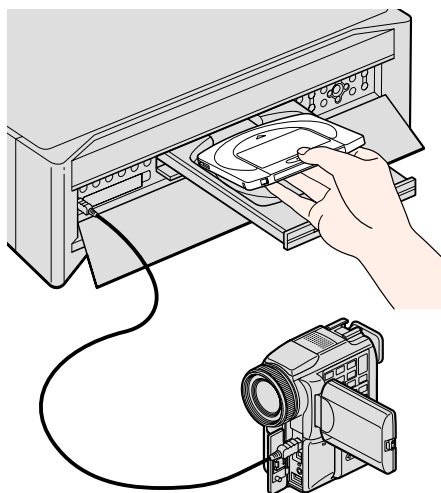
1 **テレビと本機、デジタルビデオカメラの電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

2 **本機のリモコンの［開／閉 ⏏］（Ⓐ）を押す。**

フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **本機前面のDV端子とデジタルビデオカメラをi.LINKケーブルでつなぐ。**

接続について詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「DV端子とデジタルビデオカメラをつなぐ」をご覧ください。

4 **BDをトレイにのせる。**

5 **本体のOPEN/CLOSE ⏏ ボタンを押して、トレイを閉じる。**

6 **デジタルビデオカメラにダビングしたいDVテープを入れ、再生できる状態にする。**

7 **［システムメニュー］（Ⓑ）を押す。**

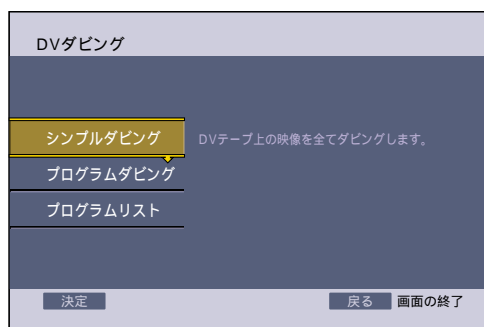
システムメニュー画面が表示されます。

他機との操作

次のページにつづく

デジタルビデオカメラをつないで録画する（つづき）

8 **（B）を↑/↓に動かして［DVダビング］を選び、の真ん中を押して決定する。**

本機の入力がDV入力に切り換わり、「DVダビング」画面が表示されます。

ちょっと一言

「ツール」で［DV入力音声設定］を選ぶと、記録する音声を設定できます。

9 **を↑/↓に動かして［プログラムリスト］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「DVダビング プログラムリスト」画面が表示されます。

10 **を↑/↓に動かしてダビングしたいプログラムを選び、の真ん中を押す。**

サブメニューが表示されます。

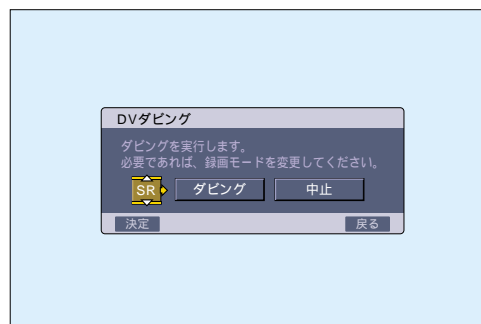
11 **を↑/↓に動かして、［複製ダビング］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「DVダビング タイトル名設定」画面が表示されます。

12 **タイトル名を入力する。**

タイトル名の入力について詳しくは、「文字入力のしかた」（☞130ページ）をご覧ください。

13 **「タイトル名入力」画面で、を↑/↓/←/→に動かして、［終了］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「DVダビング」画面が表示されます。

14 **を↑/↓に動かして録画モードを選ぶ。**

15 **を←/→に動かして、［ダビング］を選び、の真ん中を押して決定する。**

自動的に場面の開始位置の前まで巻き戻り、再生を開始し、本機は場面の開始位置から録画を開始します。

本機で取り込み中、デジタルビデオカメラで再生以外の操作をすると録画は停止します。

ちょっと一言

DVテープ上の不連続点（録画開始位置）および場面の開始位置（イン点）がインデックスとなってBDに記録されます。

ご注意

- デジタルビデオカメラを接続する場合は、必ず本機前面のDV端子に接続してください。本機のDV端子は、ソニー製家庭用DV方式のデジタルビデオカメラ、デジタルビデオデッキでのみ接続動作を確認しています。（2002年6月末日までに日本国内で発売した機器。DCR-VX700/VX1000、DHR-1000を除く。）MICROMV方式のデジタルビデオカメラとは接続できません。
- 録画モードで「DR」を選ぶことはできません。信号はMPEG-2 TSに変換して記録されます。
- プログラムリストを作成したときと違うテープを入れた場合でもダビングは実行されますが、プログラムとは違う内容になります。必ずテープの内容を確認してください。

デジタルビデオカメラに映像を出力する

操作に使用するボタンの位置について
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

本機前面のDV端子にi.LINKケーブルでデジタルビデオカメラを接続して、本機で再生する映像をデジタルビデオカメラで録画します。本機でBDを再生するとDV端子から再生信号が出力されます。

ご注意
あらかじめ、別冊の「接続と準備」編の「フロント扉の開閉動作を設定する」で「手動」に設定しておいてください。

1 本機とデジタルビデオカメラをi.LINKケーブルでつなぐ。
接続について詳しくは、別冊の「接続と準備」編をご覧ください。

2 デジタルビデオカメラで録画したいタイトルを本機で再生する。

3 デジタルビデオカメラで録画の操作をする。

ちょっと一言
DV端子から出力する場合、「ツール」の［オーディオ設定］で、出力する音声信号を［48kHz/16bit］と［32kHz/12bit］とから選ぶことができます。

ご注意
- デジタルビデオカメラを接続する場合は、必ず本機前面のDV端子に接続してください。本機のDV端子は、ソニー製家庭用DV方式のデジタルビデオカメラ、デジタルビデオデッキでのみ接続動作を確認しています。（2002年6月末日までに日本国内で発売した機器。DCR-VX700/VX1000、DHR-1000を除く。）MICROMV方式のデジタルビデオカメラとは接続できません。
- 本機でコピープロテクト信号が入ったタイトルを再生した場合、再生信号は出力されません。

他のBDレコーダーとi.LINKケーブルを使ってダビングする

BD

他のBDレコーダーとLINC（リンク）する

操作に使用するボタンの位置について
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

本機と他のBDレコーダーは、後面のi.LINK端子をi.LINKケーブルで接続しただけでは操作できません。
デジタル録画および再生する前に、必ず本機または相手機でLINCしてください。

「リンクする」とは？
「LINCする」とは、相手のi.LINK対応デジタル機器（この場合は、BDレコーダー）を1台選ぶことを意味します。詳しくは別冊の「接続と準備」編をご覧ください。

ちょっと一言
LINCとは、Logical INterface Connection（ロジカル・インターフェース・コネクション：「論理的な接続を行う」の意）の略です。

1 本機後面のi.LINK端子と他のBDレコーダーをi.LINKケーブルでつなぐ。
接続について詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「i.LINKで他のBDレコーダーとつなぐ」をご覧ください。

次のページにつづく

他機との操作

他のBDレコーダーとi.LINKケーブルを使ってダビングする（つづき）

2 **テレビと本機、他のBDレコーダーの電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

3 **入力切換（D）をくり返し押して本機の入力をi.LINK入力に切り換える。**

入力切換をくり返し押すたびに、BS放送（BSラジオ、BSデータ放送含む）→地上波放送→入力1→入力2→i.LINK入力→DV入力→BS放送→...
の順に切り換わります。

4 ツール
（B）を押す。

ツールが表示されます。

5 **（B）を↑/↓に動かして［i.LINK接続機器設定］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「i.LINK接続機器リスト」画面が表示されます。

6 **を↑/↓に動かしてLINCしたいBDレコーダーを選び、の真ん中を押す。**

確認画面が表示されます。

7 **を←/→に動かして［はい］を選び、の真ん中を押して決定する。**

LINCが完了します。
引き続き録画するには、「他のBDレコーダーのタイトルをダビングする」（☞次ページ）をご覧ください。

ご注意

- 本機はソニー製のBDレコーダー*のみとLINCすることができます。
  * 2003年2月現在、BDZ-S77のみ。
- 相手側のBDレコーダーでは、システムメニューやタイトルリストなどの画面を消しておいてください。相手機で画面を表示していると、本機から操作できません。
- 次のような操作はできません。
  – 著作権保護信号が記録されている市販のビデオソフト／レンタルビデオのダビング。
  – 著作権保護されたタイトルのダビング。
  – 本機後面のi.LINK端子から地上波放送やBS放送、入力端子につないだ機器の信号を出力する。
  – 本機後面のi.LINK端子と、デジタルビデオデッキやデジタルビデオカメラ、パソコンなどのDV入力／出力端子をつないで録画する・再生する。
- 再生機側で「連続再生」の設定を「入」にしてある場合、録画機側で1タイトルのみを選んで録画を始めると、次のタイトル以降も続けて録画します。

他のBDレコーダーのタイトルをダビングする

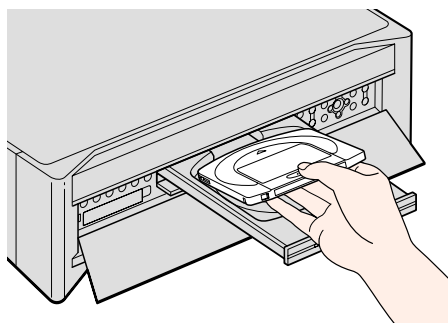
操作に使用するボタンの位置について

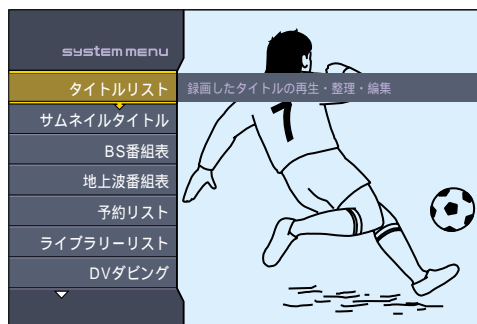
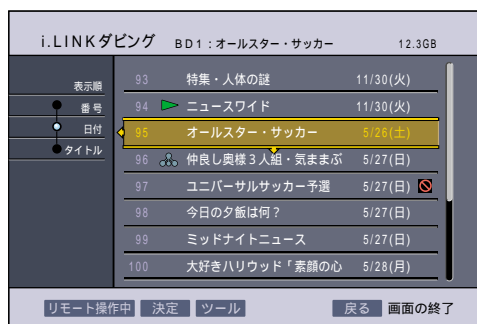
使用するボタンの位置は表紙裏の折り込みページ「リモコン概要」（☞2-2ページ）に記載されているⒶⒷⒸⒹⒺのブロックを参照します。

あらかじめ他のBDレコーダーをi.LINKケーブルでつなぎ、LINC**しておいてください**（☞145ページ）。
操作は録画機側から行います。

1 **テレビと本機、他のBDレコーダーの電源を入れ、テレビの入力を切り換える。**

2 **リモコンの開／閉（Ⓐ）を押す。**
フロント扉が下がり、トレイが開きます。

3 **BDをトレイにのせる。**

4 **もう一度開／閉を押して、トレイを閉じる。**

5 **システムメニュー（Ⓑ）を押す。**
システムメニュー画面が表示されます。

6 **決定（Ⓑ）を↑/↓に動かして［i.LINKダビング］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**
「i.LINKダビング」画面が表示されます。

ご注意
LINCしていないと、「i.LINKダビング」画面は表示されません。

7 **決定を↑/↓に動かしてダビングしたいタイトルを選び、決定の真ん中を押して決定する。**
サブメニューが表示されます。

8 **決定を↑/↓に動かして［ダビング］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**
ダビングが始まります。
ダビングが終わったら、自動的に停止します。

他機との操作

次のページにつづく

他のBDレコーダーとi.LINKケーブルを使ってダビングする（つづき）

ちょっと一言

タイトルの途中で録画を停止するときは、録画停止(D)を押します。

ご注意

i.LINKダビングで録画したタイトルの先頭部分または後ろの部分が録画されないことがあります。

複数のタイトルを一度にダビングするには

1 「他のBDレコーダーのタイトルをダビングする」（☞前ページ）の手順1～5を行う。

2 ツール(B)を押す。

ツールが表示されます。

3 を↑/↓に動かして［複数タイトルダビング］を選び、の真ん中を押して決定する。

「複数タイトルダビング」画面が表示されます。

4 を↑/↓に動かしてダビングしたいタイトルを選び、の真ん中を押して決定する。

続けて複数のタイトルを選びます。選んだ順にダビングされます。

一覧のすべてのタイトルを選ぶには、［全て選択］を選びます。選んだタイトルをダビングしないようにするには、［選択解除］を選びます。

［選択一覧］を選ぶと、選んだタイトルを一覧で確認できます。

［中止］を選ぶと「タイトルリスト」画面に戻ります。

5 を↑/↓に動かして［ダビング］を選び、の真ん中を押して決定する。

ダビングが始まり、終わったら自動的に停止します。

「ディスクが誤消去防止状態です」と表示されたら

誤消去防止つまみが開いています（☞165ページ）。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お客様ご相談センター、ソニーサービス窓口、またはお買い上げ店にお問い合わせください。

こんなメッセージが出たら

「追加購入」と表示されたら（BS放送のみ）

番組には、視聴している映像、字幕、音声、データ以外に有料の映像、音声、字幕、データのコンテンツが含まれていることがあります。
このような番組をDRモードで録画すると、視聴している映像、字幕、音声、データ以外に有料の映像、音声、字幕、データなどすべてを録画します。そのため、録画をするとき、有料コンテンツを購入する必要があります。
購入する場合は［購入手続き］を選び、(B)の真ん中を押します。
購入しない場合や、録画モードを変更する場合は［録画停止］を選び、の真ん中を押します。
録画モードの変更については、「録画モードを選ぶ」（☞18ページ）をご覧ください。
有料番組については、「有料番組を視聴／録画／予約する」（☞86ページ）をご覧ください。

「重複確認」と表示されたら

予約録画が他の予約と重なっています。
録画しようとしている番組はリストの一番上に表示されます。
録画するには［OK］を選び、(B)の真ん中を押します。
録画をやめるときは［予約取消］を選び、の真ん中を押します。
「重複確認」について詳しくは、「重なった予約の優先順位を変更する」（☞51ページ）をご覧ください。

「年齢制限」画面が表示されたら（BS放送のみ）

視聴／再生／録画／予約しようとしている番組は視聴年齢制限付きの番組です。視聴／再生／録画／予約するには、視聴年齢制限を解除する必要があります。（「視聴年齢制限を解除する」（☞89ページ）。

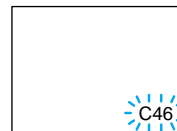
緊急放送の表示が出たときは（BS放送のみ）

緊急放送を行っているチャンネル番号が画面に表示されます。1～10(D)でチャンネル番号を入力したり、+/−(A)を使ってチャンネルを変えて番組を見ることができます。

「降雨対応放送」の表示が出たときは（BS放送のみ）

降雨時など、受信状態が悪くなると表示されます。［はい］を選んで決定すると、降雨対応放送に切り換わります。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下します。受信状態が良くなると、通常の放送に戻すことができます。

自己診断機能について
（アルファベットで始まる表示が出たら）

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、画面および表示窓にアルファベットと数字でサービス番号（例：C 46）が表示され、点滅します。その際は次のように対応してください。

サービス番号	これが原因です	次のことを確認してください
C 46	ドライブ内温度上昇	電源を切って1時間おく
E XX XX（XXは任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働きました。	お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください。 例：E 61 10

映像について

BSについては次のページをご覧ください。

症状		原因／対処のしかた
映らない／乱れる	**チャンネルが映らない／チャンネルを変えられない。**	• 画像を微調整してください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • 本機とテレビを離して設置してください。 • 本機から離してアンテナ線をたばねてください。 • 放送日や時間を確認してください。 • アンテナ線を正しく接続してください。接続が終わったら、「セットアップ」画面の「一覧設定」で「かんたん初期設定」を選び、かんたん初期設定をやり直してください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • 入力切換（D）を押して映像が映るように入力をBS放送か地上波放送に合わせてください（☞135ページ）。 • 本機の地上波アンテナ出力にテレビをつないでいる場合、本機のコンセントをつないでいないと地上波放送は映りません。
	+/−（A）で選局できない。	• 本機では、地上波放送とBS（テレビ、ラジオ、独立データ）放送の、それぞれのチャンネル内で順送り選局します。ご覧になっている放送の種類をご確認ください。 • チャンネルをとばすよう設定している場合は、+/−で選局できません（別冊の「接続と準備」編参照）。
	裏番組録画中、テレビでチャンネルを変えられない。	• テレビの入力切換を押して見たいチャンネルに切り換えてください。
	本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。	• 入力切換を押して、入力1端子につないでいるときは「入力1」を、入力2端子につないでいるときは「入力2」をテレビ画面に出します（☞137ページ）。 • S映像端子を使って本機の入力1または入力2端子につないだ場合は、「セットアップ」画面の「その他設定」の「映像入力1」または「映像入力2」を「S映像」に設定してください（別冊の「接続と準備」編参照）。
	チャンネルを切り換えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る。	• デジタルハイビジョン放送HDと標準テレビ放送SDなど映像の解像度が変化するときに、同期信号などの白い線が見えることがありますが、故障ではありません。
	本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。	• DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、デジタルCSチューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれています。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つないでください。
	画面の横縦比がおかしい。	• テレビの横縦比に画像を合わせてください（別冊の「接続と準備」編参照）。

BSについて

症状		原因／対処のしかた
BSが映らない／乱れる	BS**アンテナの受信設定ができない/衛星が受信できない。**	• 一部のBSアンテナは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。BSデジタル対応の推奨アンテナをお使いください。また、お手持ちのBSアンテナについては、BSアンテナ製造元のお客様窓口や、BSアンテナを購入した電気店などにお問い合わせください。 • アンテナの前方に障害物がない場所に設置してください。 • アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 • 取付金具は水平な位置に取り付けてください。 • 雨の強い日は衛星から電波が届きにくく、受信設定ができないことがあります。 • アンテナの方向・角度を調整してください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • アンテナと本機は、指定された別売りのサテライト用同軸ケーブルでつないでください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • 本機のBSアンテナ出力にテレビをつないでいる場合、本機のコンセントをつないでいないとBSデジタル放送は映りません。
	BS**が映らない/画像が乱れている。**	**アンテナを直接つないでいる場合** • ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください（別冊の「接続と準備」編参照）。 •「セットアップ」画面の「BS設定」で、［各種設定］を選び、「アンテナ電源」を「入」または「自動」にしてください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 • アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 • アンテナの方向・角度を調整してください（別冊の「接続と準備」編参照）。 **マンションなどの共同受信システムの場合** • ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • サテライト/UV分波器でVHF/UHFとBSを分波してください（別冊の「接続と準備」編参照）。 •「セットアップ」画面の「BS設定」で、［各種設定］を選び、「アンテナ電源」を「切」にしてください（別冊の「接続と準備」編参照）。 **テレビ入力に切り換えて**BS**テレビを見ている場合** • アンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。 • 本機のコンセントを抜くと、テレビ側のBSアンテナへの電源が供給されなくなります。 （次ページへつづく）

症状		原因／対処のしかた
BSが映らない／乱れる	BS**が映らない/画像が乱れている。（つづき）**	**その他** • 本機とテレビを離して設置してください。 • 本機から離してアンテナ線をたばねてください。 • 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。 – お住まいの地域またはBSを送信する放送衛星会社の地域が雷雨、強風などの悪天候のとき – BSアンテナに雪が付着しているとき – 強風などでアンテナの向きが変わったとき（BSアンテナの向きを調整してください） • 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。 • BS専用のケーブルを使ってください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • B-CASカードを正しい向きに入れてください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • ICカード挿入ふたを閉めてください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • 受信契約（加入申し込み）をしてください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • 加入申し込みが必要なBSチャンネルもあります（別冊の「接続と準備」編参照）。 • 長期間、コンセントやアンテナ、電話線を抜いたままにしないでください。視聴データなどの伝送ができなくなり、放送をご覧いただけなくなることがあります。
	有料番組が購入できない。	• 本機と電話回線が正しくつながれているか確認してください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • 電話回線の種類などが正しく設定されているか確認してください。 • 番組によっては購入可能時間が決まっているものがあります。 • 番組の購入可能件数を越えると購入できなくなります。 • 有料BS放送局に登録をしていない場合は、購入できません（別冊の「接続と準備」編参照）。 • B-CASカードを入れてください（別冊の「接続と準備」編参照）。

本機後面のi.LINK端子について

症状	原因／対処のしかた
LINCできない。	• 次のi.LINK機器は本機が対応していないためLINCできません。 － デジタルビデオカメラ － パソコン － MDデッキ － BS/CSチューナー － D-VHSビデオデッキ • 本機からLINCできるのは、本機と同じタイプのBDレコーダーのみです。 • i.LINKケーブルが正しくつながれているか確認してください。また、他機の電源ケーブルが正しくつながれているか確認してください。 • i.LINK対応機器が正しく接続されているか確認してください。ループになっていたり、ホップ数が制限を越えていると、i.LINK対応機器を使用することができません。
本機後面のi.LINK**端子につないだ機器の映像が映らない。**	• i.LINKケーブルをつないだだけでは映像は映りません。LINCしてください。 • 入力切換（D）を押して、本機の入力を「i.LINK」にしてください。
正しくダビングできない。	• ディスクの残量がなくなったので、不要なタイトルを消去してください（☞108ページ）。 • タイトル数が200を超えていないか確認してください（☞55ページ）。 • BDが誤消去防止状態になっているので、BDの誤消去防止つまみを戻して孔を閉じてください（☞165ページ）。 • ディスクに汚れや傷があります。 • 著作権が保護されているタイトルでは、記録できない場合があります。

本機前面のDV端子について

症状	原因／対処のしかた
本機前面のDV**端子につないだ機器の映像が映らない。**	• 入力切換を押して、本機の入力を「DV」にしてください。
正しくダビングできない。	• ディスクの残量がなくなったので、不要なタイトルを消去してください（☞108ページ）。 • タイトル数が200を超えていないか確認してください（☞55ページ）。 • BDが誤消去防止状態になっているので、BDの誤消去防止つまみを戻して孔を閉じてください（☞165ページ）。 • ディスクに汚れや傷があります。 • 著作権が保護されているタイトルでは、記録できない場合があります。 • デジタルビデオカメラのモードがビデオモードになっているか確認してください。

音声について

症状		原因／対処のしかた
音声が乱れる	音声が出ない/音声がおかしい。	• 音量の調節は、リモコンをテレビに向けて操作してください。 • 二か国語放送など二重音声番組で、2つの音が混ざって聞こえるときは、音声切換（A）を押して、音声を切り換えてください（☞84ページ）。 • 第二音声を選んでいます。音声切換を押して音声を切り換えてください（☞84ページ）。 • 接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。 • 接続コードが断線していないか確認してください。 • 映像・音声コードを正しくつないでください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • アンプをつないでいる場合、アンプの入力端子を間違えています。正しく接続してください。 • アンプをつないでいる場合、本機の音声が出るようにアンプの入力を切り換えてください。 • 録画するときに「セットアップ」画面の「地上波設定」で「各種設定」の「自動ステレオ受信」を「入」に設定してください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • 電波が弱いためモノラルまたは主音声だけで録画されています。アンテナの向きを調節するか、別売りのアンテナブースターで電波を増幅してください。 • 一時停止、スロー再生、早送りまたは早戻しになっているときは、音声は出ません。 • デジタル音声出力（OPTICALおよびCOAXIAL）端子から音が出ないときは設定画面を確認してください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • テレビまたはAVアンプなどの音量が「MIN」になっている場合はボリュームを上げてください。 • DTS収録のDVDの音声は、デジタル出力端子のみから出力されます。本機のデジタル出力をDTS対応アンプまたはデコーダーのデジタル入力端子へ接続してください。デジタル出力の設定が「入」になっているか確認してください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • ディスクに汚れや傷があります（☞165ページ）。
	雑音が多い。	• ディスクに汚れや傷があります（☞165ページ）。 • CDディスクのDTS音声を再生しているときは、LINE OUT AUDIO L/R（1、2、3）端子から雑音が出る場合があります。
	音がひずむ（割れる）。	• 接続している機器の音量を確認してください。

番組表（EPG）について

症状		原因／対処のしかた
番組表が表示されない	番組表が表示されない。	• 本機の映像が映るように、テレビの入力を切り換えてください。 • 接続と設置が終了しても、地上波番組表データを受信するまでは地上波番組表は表示されません。受信が終わるまでしばらくお待ちください。受信までに、1日程度かかることもあります。 • お住まいの地域によっては、番組表を受信できない場合があります。 • 日付や時刻を正しく設定してください。 • 番組表を更新していますので、更新が終わるまでしばらくお待ちください（地上波のみ）。 • 受信状態が悪いため、番組表を表示できません。 • 間違った地域番号が設定されています。「セットアップ」画面の「一覧設定」で「かんたん初期設定」を選び、正しい地域番号でかんたん初期設定をやり直してください。（別冊の「接続と準備」編参照） • Gガイドの番組情報送信放送局または送信時刻が変更された場合は、正しい放送局や時刻を設定してください。（別冊の「接続と準備」編参照）
	表示されない放送局／番組がある。	• 間違った地域番号が設定されています。「セットアップ」画面の「一覧設定」で「かんたん初期設定」を選び、正しい地域番号でかんたん初期設定をやり直してください。（別冊の「接続と準備」編参照） • ケーブルテレビ（CATV）の番組は、番組表に表示されません。 • 番組表で放送局を非表示に設定しています。（別冊の「接続と準備」編参照） • 番組表のデータに含まれない放送局は表示されません。 • 受信状態が悪いため、すべての番組表データを受信できませんでした。 • 短い番組（5分間の番組など）は、ズーミング1段階目では表示されず、2～3段階目では表示されることがあります。（B）を押して番組表を拡大してください（BS放送のみ）（☞16ページ）。 • チャンネルが選局できないように設定されています。（別冊の「接続と準備」編参照）
	番組表が更新されない。	• 更新時の受信状態が悪く、最新の番組表を受信できませんでした。 • Gガイドの番組情報送信放送局または送信時刻が変更された場合は、正しい放送局や時刻を設定してください。（別冊の「接続と準備」編参照）

録画について

<table>
<tr><th colspan="2">症状</th><th>対処のしかた</th></tr>
<tr><td rowspan="4">正しく録画できない</td><td>予約したのに録画されていない。</td><td>• 悪天候のため受信状態が悪く、番組を録画できませんでした。「お知らせ」画面で、受信状態に関するメールが届いているか確認してください。
• 予約待機中に1時間以上の停電があると、時計が止まることがあります。BS放送を受信している場合は、時計を合わせる必要はありません。
• ディスクの残量がなくなったので、不要なタイトルを消去してください(☞108ページ)。
• タイトル数が200を越えていないか確認してください（☞55ページ）。
• BDが誤消去防止状態になっているので、BDの誤消去防止つまみを戻して孔を閉じてください（☞165ページ）。
• 番組の途中でコピーガードがかかった場合、コピーガードがかかっている部分以降の録画ができないことがあります。
• 予約時間に他の番組を優先して録画しました（☞51ページ）。
• 番組の途中で信号が有料になった場合、有料部分以降の録画ができないことがあります。
• 番組の途中から視聴年齢制限が設定されている放送の場合、制限が設定されている部分以降の録画ができないことがあります。
• 番組の変更などがあり、予約していた番組が放送されませんでした。
• 不安定な場所で使用すると、本機が衝撃や振動を感知し、録画しない場合があります。</td></tr>
<tr><td>予約した内容が途中で切れている/途中で抜けている。</td><td>• 予約が重なっていたり、あとから設定した予約または優先予約が優先された場合、録画内容が途中で切れたり、抜けることがあります（☞51ページ）。
• 予約録画中に停電が起きた場合は、電源が切れていることがあります。
• 録画が禁止された映像を録画しようとしていないか確認してください。
• プロ野球中継など前の番組が延長され、チャンネルが切り換わりました。
• 番組の途中でコピーガードがかかった場合、コピーガードがかかっている部分以降の録画ができないことがあります。
• 番組の途中で信号が有料になった場合、有料部分以降の録画ができないことがあります。
• 番組の途中から視聴年齢制限が設定されている放送の場合、制限が設定されている部分以降の録画ができないことがあります。
• 番組の変更などがあり、予約していた番組が放送されませんでした。
• ディスクの残量がなくなったので、不要なタイトルを消去してください(☞108ページ)。
• 不安定な場所で使用すると、本機が衝撃や振動を感知し、録画しない場合があります。</td></tr>
<tr><td>予約した内容が途中から始まっている。</td><td>• 予約録画が始まる前に停電があると、回復時から録画が行われることがあります。「お知らせ」画面で、停電に関するメールが届いているか確認してください（☞98ページ）。
• 予約が重なり、先行していた予約録画が終了してから録画が行われた場合、内容が途中から始まることがあります（☞51ページ）。</td></tr>
<tr><td>録画が途中で終わった。</td><td>• 1つのタイトルの録画時間が12時間を越える録画はできません。
• ディスクの残量がなくなったので、不要なタイトルを消去してください(☞108ページ)。
• 不安定な場所で使用すると、本機が衝撃や振動を感知し、録画しない場合があります。
• 録画中に停電があった場合、録画は途中で終わります。</td></tr>
</table>

再生について

症状		原因／対処のしかた
正しく再生できない	**再生が始まらない／再生画像が映らない。**	• 本機の映像が映るように、テレビの入力を切り換えてください。 •「セットアップ」画面が出ています。戻る(B)を押して消してください。 • 番組表が出ています。番組表(B)を押して消してください。 • BDまたはDVD／CDに何も記録されていません。 • 本機のトレイにBDまたはDVD／CDをセットしてください。 • BDまたはDVD／CDが裏返しに入っているので、正しく入れ直してください。 • BDまたはDVD／CDが斜めにずれて入っているので、正しく入れ直してください（☞53、121ページ）。 • CD-ROMなどの、再生できないディスクを入れている場合、再生は始まりません。 • PAL/SECAM方式のディスクは再生できません。 • 本機で再生できない地域番号のDVDを入れています。DVDの場合、地域番号が一致しているか確認してください。（別冊の「接続と準備」編参照） • ディスクに汚れや傷があります（☞165ページ）。 • 結露しています。ディスクを取り出して電源を入れたままの状態で約30分放置し、再び電源を入れ直してから再生を始めてください。 • ハイビジョンテレビ専用のコンポーネントビデオ入力端子（Y, PB, PR）に本機を接続している場合は、DVDを見るにはS映像コードまたは映像コードで接続してください。
	再生がディスクの最初から始まらない。	• リジューム再生になっています（☞106ページ）。ツールで「頭出し再生」を選んでください。 • 自動的にタイトルメニューやDVDのメニューの画面が表示されるディスクを入れています。
	再生が自動的に始まる。	• 自動的に再生が始まるDVDディスクを入れています。
	再生が自動的に止まる。	• ディスクによってはオートポーズ信号が記録されているものがあります。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。 • 他機で再生禁止の制御信号が書き込まれたタイトルを再生した場合に止まります。
	音声が途切れる。	• ディスクに汚れや傷があります（☞165ページ）。
	画像が乱れる。	• 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続していると、一部のDVDプログラムに使用されているコピーガード信号が画像に悪影響を及ぼすことがあります。本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続してください。 • ハイビジョンテレビ専用のコンポーネントビデオ入力端子（Y, PB, PR）に本機を接続している場合は、DVDを見るにはS映像コードまたは映像コードで接続してください。 • 不安定な場所で使用すると、本機が衝撃や振動を感知し、再生しない場合があります。 • ディスクに汚れや傷があります（☞165ページ）。

症状		原因／対処のしかた
設定を変更できない	**音声言語を変更できない。**	• 再生しているBDのタイトルやDVDに複数の音声言語が記録されていない場合、音声言語は変更できません。 • 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している場合、音声言語は変更できません。
	字幕を変更できない。	• 再生しているBDのタイトルやDVDに複数の字幕が記録されていない場合、字幕は変更できません。 • 字幕の変更を禁止しているDVDを再生している場合、字幕は変更できません。
	字幕を消すことができない。	• 字幕表示を消すことを禁止しているBSデジタルの字幕放送、またはDVDを再生している場合、字幕を消すことはできません。

メニューやリモコンについて

症状		原因／対処のしかた
メニューが選べない／表示が消えない	**メニューで選べない項目がある。** **「ICカードとのアクセスが成立しません ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください」と表示される。**	• 黒く表示されている項目は選べません（見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています）。 • B-CASカードがロックするまでしっかり入っているか、入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度正しい向きで入れ直してください（別冊の「接続と準備」編参照）。 入れ直してもメッセージが表示されるときは、ご覧になっている各放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • B-CASカードが破損している場合は、ご覧になっている各放送局のカスタマーセンターまたはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。 • 付属のB-CASカード以外は使えません。
リモコンが働かない	**本機のリモコンで本機が動作しない。**	• リモコン用の乾電池が古くなっている場合、新しいものと取り換えてください。 • リモコンに乾電池が入っていません。乾電池を入れてください。 • 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください（別冊の「接続と準備」編参照）。 • 本機を操作するには、リモコン発光部を本機の受光部に向けて操作します。テレビを操作するにはテレビの受光部に向けてください。 • リモコン受光部に蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具またはチューナーの位置を調整してください。 • 本機とリモコンのリモコンモードが合っていないので、リモコンモードを合わせてください（別冊の「接続と準備」編参照）。
	本機のリモコンで操作したら、本機と他のBDレコーダーが同時に動いた。	• 本機と他機のリモコンモードが同じになっているので、本機のリモコンモードを変えてください（別冊の「接続と準備」編参照）。

その他

症状	原因／対処のしかた
表示窓に「－：－－」表示が点灯している。	• 時計を合わせてください。なお、BS放送を受信している場合は、時計を合わせる必要はありません（別冊の「接続と準備」編参照）。 • 停電が起きた場合は、電源が切れることがあります。1時間以内に停電が回復すれば時計は止まりませんが、1時間以上の停電で時計が止まったときは、時計を合わせ直してください。なお、BS放送を受信している場合は、時計を合わせる必要はありません（別冊の「接続と準備」編参照）。
表示窓に何も表示されない。	• セットアップの「表示パネル」で「切」を選んでいる。「明」または「暗」にしてください（別冊の「接続と準備」編参照）。
電源スタンバイ時にファンが回る。	• 故障ではありません。これは本機の電源が自動的に入り、番組情報などのデータを取得するためです（このとき表示窓には「DATA」と表示され、ファンが回ります）。 本機は風通しの良い場所で使用し、ビデオなど他の機器を直接重ねて置かないことをおすすめします。
本体の通風孔から音が出る。	• 使用中、本体の温度上昇を抑えるためにファンが回転します。 回転音が出ますが、故障ではありません。
電源が入らない。	• 電源プラグをコンセントからはずし、約1分後、もう1度コンセントに電源プラグを差し込み、電源を入れ直してください。
BD**が入らない。**	• BDが裏返しまたは前後逆になって入っているので、△のある面を上にして、△の先が本機に向くように入れ直してください。 • 本機のトレイに他のディスクがのっていないか確認してください。
トレイを閉めても出てきてしまう。	• BDが斜めにずれて入っているので、BDをトレイに正しく入れ直してください（☞53、121ページ）。 • ディスクに汚れや傷があります（☞165ページ）。 • 本機で再生できない特殊な形状をしたディスクを入れています（別冊の「接続と準備」編参照）。
正常に動作しない。	• 静電気などの影響で正常に動作しなくなることがあります。電源を入れ直してください。
タイトル詳細情報のサムネイル欄に「？」が表示される	• システムメニューから［サムネイルタイトル］を選び、「サムネイルタイトル」画面を表示してください。一度「サムネイルタイトル」画面を表示すれば、サムネイルが表示されるようになります（☞60、115ページ）。

電源スタンバイ時のデータ取得について

電源スタンバイ時に、本機の電源が自動的に入ります。
これはデータを取得するための動作です。このとき、同時にファンが回転することがあります。故障ではありません。
データ取得が終わったら、自動的にスタンバイ状態に戻り、ファンの回転も止まります。

ちょっと一言

データ取得中は、本体表示窓に DATA と表示されます。

リセットについて

万が一、本機が動作しなくなったり、電源の入/切ができなくなったりしたときは、本体のPOWER I/⏻（電源）ボタンを、ピッピーと音が鳴るまで10秒以上押してください。
本体をリセットすることで、正常に動作するようになります。

また、リセット後に異常が改善されない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお知らせください。

- 音が出ない。
- テレビ画面の映像が動かなくなった。
- 番組表やチューナーの表示窓の現在時刻が正確でない。

地上波番組表（Gガイド）について

本機では、電子番組表*の表示機能にGガイドシステムを採用しています。Gガイドシステムを利用した電子番組表は、特定の放送局（ホスト局）の地上波放送とともに送信されています。本機は、そのデータを1日数回受信して、テレビ画面に番組表を表示しています。
ホスト局からの放送を受信できる地域にお住まいの場合は、かんたん初期設定を行うだけで、この番組情報サービスを無料にてご利用いただけます。ただし、お住まいの地域や電波状況によっては、ご利用できない場合もあります。

* 当社では、Gガイドシステムを利用した電子番組表のサービスおよび番組表の内容には関与していません。

Gガイドシステムについて

Gガイドシステムは、（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドがサービス主体となり、特定の放送局の放送波を利用して番組表データを送信するサービスです。番組表のデータ送信は（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドと、データ送信を行う放送局側で行われているため、都合によりデータが送信されない場合もあります。また、お住まいの地域によっては、サービスを受信できない場合もあります。

Gガイドのサービス地域について

Gガイドシステムを利用した番組表データは、次の放送局より送信されています（2002年4月現在）。

- 北海道地域—北海道放送（HBC）
- 東北地域—青森テレビ（ATV）、秋田テレビ（AKT）、IBC岩手放送（IBC）、テレビユー山形（TUY）、東北放送（TBC）、テレビユー福島（TUF）
- 関東地域—東京放送（TBS）
- 中部地域—新潟放送（BSN）、信越放送（SBC）、静岡放送（SBS）、中部日本放送（CBC）、テレビ山梨（UTY）、チューリップテレビ（TUT）、北陸放送（MRO）、福井テレビ（FTB）
- 近畿地域—毎日放送（MBS）、朝日放送（ABC）
- 中国・四国地域—山陽放送（RSK）、中国放送（RCC）、テレビ山口（TYS）、山陰放送（BSS）、伊予テレビ（ITV）、テレビ高知（KUTV）
- 九州・沖縄地域—RKB毎日放送（RKB）、長崎放送（NBC）、大分放送（OBS）、熊本放送（RKK）、宮崎放送（MRT）、南日本放送（MBC）、琉球放送（RBC）

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 本機を設置する際は、本機およびケーブルの端子部分に触れないようご注意ください。故障の原因となります。
- 水平な所で使用してください。
- 本機の動作中に本機を動かさないでください。故障の原因となります。
- フロント扉が動作中に、フロント扉を手で押さえたりしないでください。
- フロント扉のみの開閉は必ずUP/DOWNボタンを使ってください。フロント扉を無理に開け閉めすると故障の原因となります。
- トレイを出したまま放置しないでください。内部にほこりが入り、故障の原因となります。
- トレイには、BDと指定の12 cmディスク、8 cmディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「再生できるディスクについて」をご覧ください。
- 市販の8 cmアダプターは使用しないでください。
- 本機前面のトレイ扉を押さえた状態で、トレイの出し入れをしないでください。故障の原因となります。
- 本機に磁石など磁気を持つものを近づけないでください。磁気の影響で、動作が不安定になることがあります。
- 揮発性の殺虫剤などがかからないように注意してください。外装ケースの変形や塗装がはげる原因となります。

移動や輸送するときは

- カートリッジやディスクを入れたまま、本体を動かさないでください。
  移動するときは、必ずディスクを取り出し、電源を切って、コード類をすべてはずしてください。
- 移動するときは、フロント扉を閉めてください。
- 引越しなどで輸送するときは、購入時の梱包材に入れてください。
- 移動や輸送するときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。

音量を調整するときは

本機と接続しているテレビやアンプのボリュームを上げすぎないようにご注意ください。特に、ディスクの無音部分や音が非常に小さい部分を再生しているときにボリュームを調節すると、必要以上にボリュームが大きくなってしまうことがあります。急に思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損する恐れがありますので、ボリュームは、音を聞きながら、小さな状態から少しずつ大きくしていくように心がけましょう。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。もし数時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

録画・再生できるディスクについて

詳しくは、別冊の「接続と準備」編の「録画・再生できるディスクについて」をご覧ください。

録画するときのご注意

- BDが裏返しまたは前後逆にならないように、△のある面を上にして、△の先が本機に向くように入れてください。
- DVD-RAMなど、本機が対応していないディスクを使用しないでください。
- BDとDVD／CDを同時にトレイにのせないでください。

再生するときのご注意

- BDが裏返しまたは前後逆にならないように、△のある面を上にして、△の先が本機に向くように入れてください。
- DVD-RAMなど、本機が対応していないディスクを使用しないでください。
- BDとDVD／CDを同時にトレイにのせないでください。
- DVD／CDは、トレイの溝に沿って正しくのせてください。
- DVD／CDを2枚以上トレイにのせないでください。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

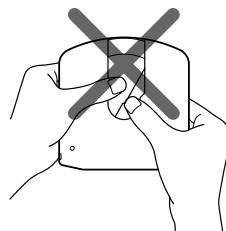
DVDのメニューや本機の設定画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイやプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買いあげ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

ディスクの取り扱い上のご注意

BDのとき

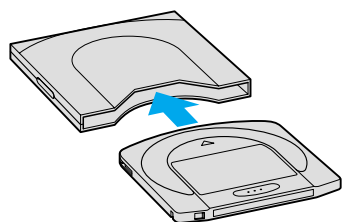
取り扱いかた

- BDはカートリッジに収納されているため、ほこりや指紋を気にせずに手軽に取り扱えるように設計されています。ただし、ほこりや傷などが誤動作の原因となることもあります。傷などがつくと録画できなくなったり、録画した内容を再生できなくなったりすることがありますので、取り扱いには充分注意し、大切に保管してください。
- カートリッジ内のディスクに直接触れないでください。
  シャッターを手で無理に開けると壊れます。

- カートリッジを分解しないでください。

保管のしかた

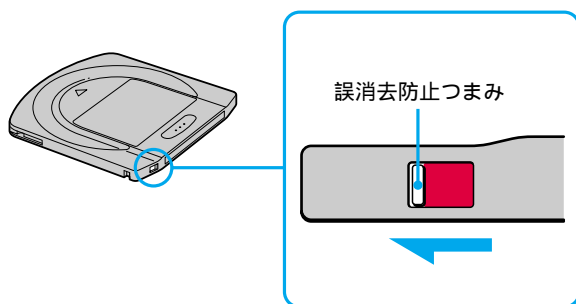
直射日光が当たるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、カートリッジにほこりなどが入る可能性のあるところには放置しないでください。

BD専用ケースについて

BDを使用しないときは、専用ケースに入れて保管してください。

お手入れのしかた

カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布で拭き取ってください。

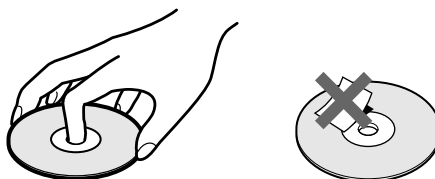
録画内容を間違って消さないために

誤消去防止つまみをずらして、孔が開いた状態にします。
再び録画するときはつまみを元に戻します。

ちょっと一言

- BD1枚ごとに暗証番号を設定して、暗証番号を入力しないとBDを使えないようにすることもできます（☞102ページ）。
- タイトルごとに消去プロテクト（タイトル保護）を設定することもできます（☞120ページ）。

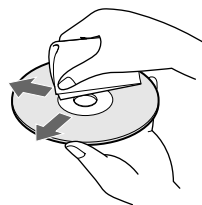
DVD/CDのとき

取り扱いかた

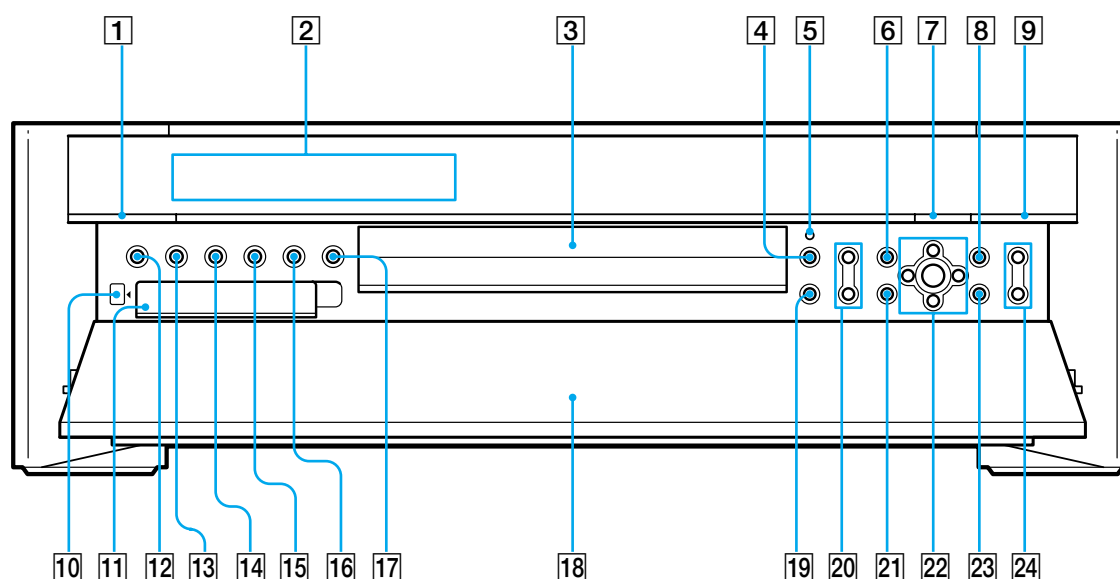
再生面に手を触れないように持ちます。

保管のしかた

- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、立てかけておくと変形の原因になります。

お手入れのしかた

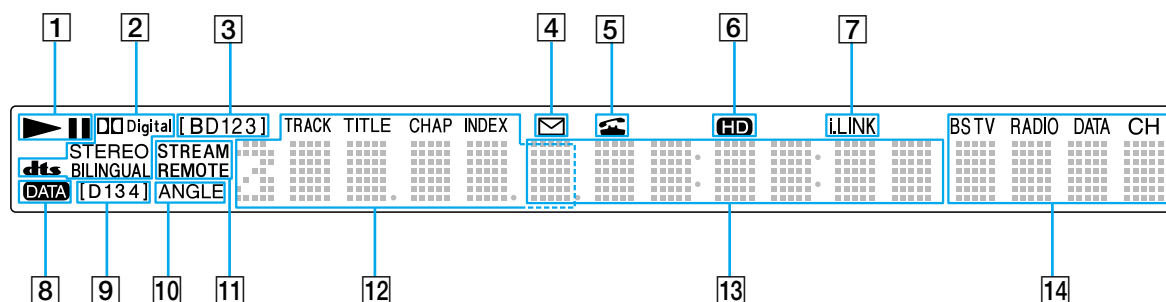
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

各部の名前

本体前面

1 POWER I/⏻（電源）ボタン
2 **表示窓**（☞**次ページ**）
3 **ディスクトレイ**
4 INPUT SELECT（**入力切換**）**ボタン**
5 D1/D3/D4**映像出力切換ボタン**
6 SYSTEM MENU（**システムメニュー**）**ボタン**
7 UP/DOWN（**アップ/ダウン**）**ボタン**
8 TOOL（**ツール**）**ボタン**
9 OPEN/CLOSE ⏏（**開/閉**）**ボタン**
10 DV IN/OUT**端子**
11 IC**カード挿入ふた**
12 REC ●（**録画**）**ボタン**
13 REC PAUSE ❚❚（**録画一時停止**）**ボタン**
14 REC STOP■（**録画停止**）**ボタン**
15 PLAY►（**再生**）**ボタン**
16 PLAY PAUSE ❚❚（**再生一時停止**）**ボタン**
17 PLAY STOP ■（**再生停止**）**ボタン**
18 **フロント扉**
19 REC MODE（**録画モード**）**ボタン**
20 CHANNEL ＋/－（**チャンネル＋/－**）**ボタン**
21 CURSOR MODE（**カーソルモード**）**ボタン**
22 ENTER（**決定**）↑/↓/←/→**ボタン**
23 RETURN**ボタン**
24 ZOOM ＋/－（**ズーム＋/－**）**ボタン**

本体のボタンは、リモコンにある同名のボタンと同じ働きをします。

* 上のイラストは、フロント扉を開けたときのものです。

表示窓

1 ディスク再生/再生一時停止表示
2 ドルビーデジタル/DTS/ステレオ/二か国語放送表示
3 リモコンモード表示
4 メール表示
5 電話回線表示
6 HD（デジタルハイビジョン放送）表示
7 i.LINK表示
8 データ表示
9 D端子表示
10 アングル表示
11 STREAM/REMOTE表示
12 タイトル/トラック/インデックス/チャプター表示
13 経過時間/残時間表示
14 チャンネル表示

本体後面

1 デジタル出力端子（COAXIAL）
2 デジタル出力端子（OPTICAL）
3 i.LINK端子（2系統、BD用）
4 デジタルBS入力端子
5 デジタルBS出力端子
6 VHF/UHF入力端子
7 VHF/UHF出力端子
8 S映像・映像・音声入力端子（入力1、2）
9 S映像・映像・音声出力端子（出力1、2）
10 音声出力端子（出力3）
11 D1/D3/D4映像出力端子
12 モジュラージャック
13 アース端子
14 AC IN端子

主な仕様

システム

録画方式	MPEG-2
録音方式	Dolby Digital (256 kbps) MPEG-2 AAC
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
最大録画時間	約12時間（☞18ページ）
映像受信方式	周波数シンセサイザー方式
音声受信方式	スプリットキャリア方式
受信チャンネル	VHF：1～12チャンネル UHF：13～62チャンネル CATV：C13～C38チャンネル BS デジタルテレビ、BS ラジオ、BS 独立データの各チャンネル

入・出力端子

アンテナ入出力	地上波: VHF/UHF一軸、75Ω F型コネクター BS-IF: 75Ω F型コネクター（コンバーター用電源出力DC15V 最大4W、芯線側＋、オート/入/切、メニュー切り換え
映像入力	入力1/入力2の2系統、 ピンジャック 1Vp-p（75Ω不平衡）
S映像入力	入力1/入力2の2系統、4ピンミニDIN、 輝度信号：1Vp-p（75Ω不平衡） 色信号：バースト286mVp-p（75Ω不平衡）
映像出力	出力1/出力2の2系統、 ピンジャック 1Vp-p（75Ω不平衡）
S映像出力	出力1/出力2の2系統、4ピンミニDIN、 輝度信号：1Vp-p（75Ω不平衡） 色信号：バースト286mVp-p（75Ω不平衡）
コンポーネント映像出力	D1/D3/D4 ボタンにより切り換え、 14ピンマルチコネクター、 輝度信号：1Vp-p（75Ω不平衡、0.3V負同期つき） CR/CB信号：±350mVp-p（75Ω不平衡）
音声入力	入力1/入力2の2系統（左、右）、 ピンジャック 入力レベル：2Vrms （入力インピーダンス：22kΩ以上）
音声出力	出力1/出力2/出力3の3系統（左、右）、 ピンジャック 出力レベル：2Vrms （負荷インピーダンス：10kΩ）
デジタル音声出力（光）	光出力コネクター、 出力レベル：-18dBm 発光波長：660nm
デジタル音声出力（同軸）	ピンジャック、 出力レベル：0.5Vp-p（75Ω終端）
i.LINK端子	2系統、IEEE1394準拠、4ピンコネクター、S200
電話回線端子	モデム通信速度：2400bps
DV入出力	1系統、IEEE1394準拠、4ピンコネクター、S100

電源部・その他

電源部	AC100V、50/60Hz
消費電力	65W（コンバーター用電源「切」時）
待機消費電力	9W（電源「切」時・表示窓「消灯」時）
時計方式	クォーツクロック
停電補償時間	1回 約1時間以内
許容動作温度	5℃～ 40℃
許容保存温度	−20℃ ～ 60℃
最大外形寸法	幅 430×高さ 135×奥行き 398mm（最大突起含む）
本体質量	約 14kg
付属リモコン	RMT-B001J 電源：DC 3V 単3形（R6）マンガン乾電池2個付属
付属品	別冊の「接続と準備」編の11ページをご覧ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書と アフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。
症状が改善されないときは、お客様ご相談センターへご相談ください。連絡先は添付の「ソニーご相談窓口のご案内」または裏表紙をご覧ください。
この商品は、修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきますので、あらかじめご了承ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はBSデジタルハイビジョンチューナー内蔵デジタルビデオディスクレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保存しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店かサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
- **型名：**BDZ-S77
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **再生していたディスクのタイトル名：**
- **再生していたディスクの種類**（BD、DVD、**ＣＤなど**）
- **お買い上げ年月日：**
- **お買い上げ店：**

This BS digital tuner-integrated digital video disc recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

その他

用語解説

五十音順

ア行

インターレース（飛び越し走査）
走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。

オーディオフィルター
音声帯域の上限の周波数(サンプリング周波数の1/2の周波数)よりも高い雑音成分をデジタルフィルタによって除去しています。このフィルタの特性を変えることによって、音質コントロールができます。本機では、シャープ、スローの2種類のモードがあります。

カ行

カーソルモードとページモード
番組表の表示範囲を変える場合、カーソルモードとページモードの2種類があります。カーソルモードでは一番組ずつの移動、ページモードでは時間軸方向やチャンネル軸方向にページ単位での移動ができます。

ガイドチャンネル
ジェムスター社が各放送局に割り当てている識別番号です。

クイックタイマー
録画ボタンを押して録画を始めたあとに、録画を終了するまでの時間を30分単位で最長6時間まで設定することができます。
ディスク残量によって設定できる時間は30分単位で変わります。

ゴースト
放送局からの電波が、テレビアンテナに届く前に、建物や地形の影響で妨害波となり、時間がズレて二重、三重に受信されることです。そのため、正しく送られてきた画像に妨害波の画像が重なって現れた、見にくい画面となります。

サ行

サムネイル
映像を縮小して表示した静止画のことです。

視聴年齢制限
BSデジタル放送の番組とDVDでは、暴力シーンなど教育上このましくないタイトルに視聴年齢制限を設けています。本機の「セットアップ」画面で暗証番号を設定すると、年齢制限付きの番組は暗証番号を入れないと見ることができなくなります。

シリーズ番組
BSデジタル放送で、連続ドラマなど何回かにわたって放送される一続きの番組です。

シャープネス
画像の輪郭部分を柔らかくしたりくっきりさせたりする機能です。

受信チャンネル
本機が放送局を受信したときのチャンネルです。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じです。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定されます。

ズーミング
番組表やタイトルリストの表示範囲を切り換える機能です。＋キーを押すとズームイン（拡大）し、－キーを押すとズームアウト（縮小）します。

タ行

タイトル
録画済みの番組のことを呼びます。本機で、放送中のテレビ番組と、録画した番組を区別するために使用している用語です。

ディスクマネジメントID
BDのカートリッジ上に表示されている5桁のID。ライブラリーリスト上に表示されるので、本機にBDを入れなくても、再生したいタイトルが入ったBDを容易に探すことができます。

デジタル録画制限
BSデジタル放送は、放送局が番組によって、次の3段階に設定して、信号を送っています。「番組説明」画面の番組情報欄で「コピーコントロール」情報を確認してください。
1. デジタル録画不可
デジタルハイビジョン信号（HD）・標準テレビ信号（SD）のいずれでもデジタル録画できません。ただし、番組によっては、本機後面のアナログ出力端子につないだビデオで録画（アナログ）できます。
2. デジタル録画可
録画した番組を、さらにデジタルで録画（ダビング）・再生できます。
3. デジタル録画1回可（コピーワンス）
デジタル録画できますが、デジタル録画した番組をさらにデジタルで録画（ダビング）はできません。ただし、番組によっては本機後面のアナログ出力端子につないだビデオで録画（アナログ）できます。

ドルビーサラウンド*
ドルビーラボラトリーズ社がサラウンド音声のために開発した音声信号の処理技術です。入力信号にサラウンド信号があるとき、プロロジック処理をして、フロント、センター、リアに信号を出力します。リアチャンネルはモノラルになります。

ハ行

表示チャンネル
本機で放送局を選ぶとき表示されるチャンネルです。通常は受信チャンネルと同じですが、変更することもできます。

プログレッシブ（順次走査）
飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）しないで、1フレーム目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフレームも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順走査のことです。

プロテクト
(ア) 消去プロテクト
誤ってタイトルを削除しないよう、タイトル毎に消去プロテクト（防止）を設定することができます。
(イ) ライトプロテクト（誤消去防止）
BDカートリッジについている誤消去防止つまみです。つまみをずらして孔があいた状態にするとライトプロテクトされ、そのディスク内のタイトル消去ができなくなったり、そのディスクを使って録画をすることができなくなります。

マ行

マルチビュー放送
標準テレビ信号（SD）の多チャンネル放送を利用した放送です。 生中継の番組などで、最大3つの映像を同じチャンネルで楽しめます。
それぞれのカメラからの映像を、本機のリモコンの映像ボタンで切り換えたり、1画面に同時に表示して見ることができます。

メール（お知らせ）
放送局から送信されるお知らせ（BSメール）や、本機からのお知らせ（自己メール）を見ることができます。

ヤ行

有効走査線数
走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。通常の地上波放送では、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。BSアナログのハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、デジタルハイビジョン信号では、1125本中1080本となっています。
なお、有効走査線数に含まれていない残りの走査線（映像信号の載っていない走査線）には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

ラ行

リジューム再生
「再び続ける」という意味です。再生をとめたあと、その続きから再生できる機能です。トレイを開けない限り、本機がスタンバイモード（待機状態）になってもリジューム再生が働きます。
リジュームポイントは1タイトルに1個記録されます。

ワ行

ワープモード
再生中のタイトル内にバーとワープインジケーターを表示し、おおよその見当をつけた位置にインジケータを動かしてその場面にすばやく跳ぶことができます。

*ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logicおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

アルファベット/数字順

アルファベット

AAC
BSデジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング（Advanced Audio Coding）」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現します。

BSデジタル放送
放送衛星BS-4後発機を利用したデジタル衛星放送（BS：Broadcasting Satellite）です。地上波放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と違い、映像をデジタル化して大容量の情報を扱えるため、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しめます。幅広いジャンルの番組内容で、デジタルハイビジョン放送を中心に、ラジオ放送、データ放送（双方向サービス）が楽しめます。

BSデジタル用ICカード（B-CASカード）
B-CASとは「BS-Conditional Access Systems」の略で、１枚ずつ固有のID番号を持ったカードです。双方向サービスを受けたり、有料放送を契約して視聴したり、NHKと視聴者との受信確認などに必要です。

CATV
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送のことです。地上波放送やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。
CATVはCable Television（ケーブル・テレビジョン）の略。

DNR
電波状態によって生じる弱電界ノイズやMPEG映像特有のノイズ（ブロック状ノイズ、フリッカー状ノイズ）を低減する機能のことです。Digital video Noise Reduction（デジタル・ビデオ・ノイズ・リダクション）の略です。

ー録画DNR
記録時に、元の映像（ソース）に含まれる弱電界ノイズを低減します。HR、SR、LRモードで録画する番組をMPEG映像に変換する前にノイズを低減するために、MPEGエンコーダーの実力を最大限に引き出せます。低減レベルは元の映像のノイズレベルに応じてリアルタイムに自動制御されます。

DTS*
Digital Theater Systemの略です。デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術で、5.1Chサラウンドに対応しています。DTSディスクを楽しむには、本機のデジタル出力端子とDTS対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続することが必要です。

DVD**ビデオ**
CDと同じ直径で最大8時間までの動画が記録できるディスクです。
片面1層で4.7GB(Giga Byte）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できます。
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルやDTSを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめます。
またマルチアングル、マルチランゲージ、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができます。

DVD-RW
DVDビデオと同じサイズで、記録や書き換えができるディスク（Ver.1.1）。
DVD-RWにはVRモード、ビデオモードという2つの記録モードがあります。
VR（ビデオレコーディング）モードは、ビデオモードではできない様々な録画、編集が可能です。
ビデオモードは、DVDビデオフォーマットと互換性があり、DVD-RWに対応しているプレイヤーで再生できます。

D**端子**
BSデジタル放送などに対応したコンポーネント映像端子です。D映像入力端子付きのテレビなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号をやりとりして、より高画質な画像を楽しめます。D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。
本機にはD1/D3/D4**映像出力端子が付いています。**
- D1端子:525i（480i）の信号に対応
- D2端子:525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子:525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子: 525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

EPG**（番組表）**
電子番組表と呼ばれ、一般にテレビ画面上に表示されるテレビ番組表のことを呼びます。EPGはElectronic Program Guide（エレクトロニック・プログラム・ガイド）の略です。本機では、BSデジタル放送や地上波放送の電波といっしょに送信されている情報を受信して表示します。お住まいの地域や電波状況によって、EPGを受信できない場合があります。

GB
ギガバイトと読みます。ディスクの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量です。

GR**（地上波ゴーストリダクション）**
GRはゴースト・リダクションの略です。地上波の場合、周囲に建物や山などの障害物があると、直接アンテナに届く電波と、障害物に反射して遅れて届いた電波が重なって、ゴーストと呼ばれる映像のズレが生じる場合があります。電波は光の速さで進むため、遠回りしてきたほうが時間的に遅れて到着します。そのため、横にずれて重なって見えます。本機はこの状態を低減するゴーストリダクション機能をもっています。

G**ガイド**
特定の放送局から地上波番組表データを送信するサービスです。テレビ画面に地上波番組表を表示して見ることができます。

HD**信号**
デジタルハイビジョン放送の略です。1125iと750pの画像方式があり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

MPEG-2 TS
MPEG-2トランスポートストリームの略です。全世界的にデジタル放送で採用されている映像・音声・データの多重化伝送方式です。MPEG-2 TSは、伝送路での障害による欠落が少ないことや、複数のチャンネルを多重化できるなど、デジタル放送に適した多重化方式となっています。

PCM
Pulse Code Modulationの略です。アナログ音声をデジタル音声に変換する方式です。手軽にデジタル音声を楽しめます。

数字

5.1Ch**サラウンド**
左フロント、右フロント、センター、左リア、右リアの5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。本機のデジタル音声出力は、MPEG-2 AAC（Advanced Audio Codingの略。BSデジタル放送の5.1チャンネルサラウンド）、ドルビーデジタル、およびDTSのサラウンド方式に対応しています。それぞれの方式のデコード機能がある機器に接続すれば、AAC音声方式で放送されるBSデジタル放送やDVDを5.1Chのサラウンドで楽しむことができます。

* DTSおよびDTS Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

索引

五十音順

索引（つづき）

アルファベット

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*……………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX…………………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。
1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙を使用しています。

Printed in Japan